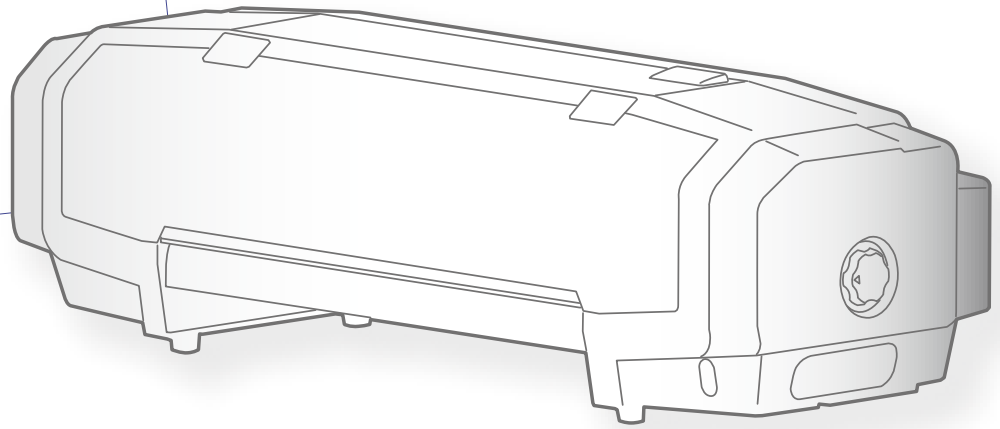
MUTOH

XPJ-C641SR-P

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



XPJC641SRPJ-A-06

免責事項、商標、法規

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

目次

安全にお使いいただくために 7

安全上のご注意 8
- 安全表示について 8
- 感電・ショート・火災について 9
- 設置について 11
- 取り扱いについて 12
- インクと廃液について 14
- 警告ラベル 15
- 操作ラベル 16

ご使用の前に 18

各部の名称・はたらき 19
- 正面 19
- 背面 21
- 操作パネル 22

コンピューターとの接続 24

本製品のシステム構成 26

MSM の起動 / 表示 / 終了の方法 27
- MSM の起動方法 27
- MSM の表示方法 27
- リモートパネルの表示方法 28
- IP アドレスの変更方法 29
- MSM の終了方法 36

VerteLith の起動方法 37

本製品ができること 38

本製品の印刷エリア 39

使用できるメディアの条件 40
- メディアサイズ 40
- メディアの取扱上の注意 41
- メディアの使用後の注意 41

ご使用上のお願い 42
- 定期的に使用してください 42
- インクカートリッジの取扱いに注意してください 42
- 定期メンテナンスを実施してください 43
- 定期的に交換が必要な部品があります 43

目次

基本的な使い方 44

作業の流れ 45
電源のオンオフ 46
電源をオンにする 46
電源をオフにする 47
スリープモード 48
スリープモードの開始と終了 48
メディアをセットする 52
ロール紙のセット方法 52
カットメディアのセット方法 57
ノズルチェックとクリーニング 58
ノズルチェック 58
クリーニング 62
印刷前の調整 64
画質調整（調整印刷） 64
メディア送り補正 72
印刷を開始する 79
印刷の一時停止／再開 85
印刷のキャンセル 86
プリンター側で印刷をキャンセルする 86
コンピューター側で印刷をキャンセルする 86
メディアの送り／巻き戻し 88
メディアのカット 90
プリンター側でカットする 90
コンピューター側でカットする 91
手でカットする 92
自動でカットする 93
大容量パックアダプターについて 94
はじめて大容量パックアダプターを使用するとき 94
プラグ交換について 94
ヘッド高さを調整する 95
ヘッド高さについて 95
詳しい設定方法 97
オートカットの設定 97
吸着ファンの設定 100
ヒーターの設定 102
クールダウン設定 104
インク乾燥時間の設定 106
ロール紙残量管理 108
原点設定 110
リア・エッジセンサー調整 113
エンド検出 116

目次

カット出力 117

カットの準備 118
- カットの準備の流れ 118
- カッター刃をカッターホルダーにセットする 119
- 刃先突き出し量の調整 121
- カッターホルダーをプリンターにセットする 123
- カットテスト 126
- 輪郭カット位置の調整 134
- カットの種類 137
- カッティング用データの作成方法 139
- クロップマークについて 140
- マークの検出順番 141

プリントとカットを個別に行う 142
- 作業の流れ 142
- Step1. プリント 143
- Step2. カット 149

プリント＆カット（連続） 151

カットのみ 153

カット品質の最適化 155
- カッティング条件を設定する 155
- 曲線部分のカット品質 160
- カット長補正 162

メンテナンス 167

メンテナンスについて 168

インクの確認と交換 170
- インク残量を確認する 170
- インクの交換が近づいたら 171
- インクの交換 172

廃液タンクを空にする 177

各部のクリーニング 180
- ヘッドクリーニング 180
- 漬け置きクリーニング 183
- 各部の清掃 187
- プリントヘッド外周の清掃 190
- クリーニングワイパーの清掃 193
- キャップ外周の清掃 195
- カラーセンサーの清掃 197
- カッターホルダーの清掃 199
- 輪郭カット用カッター刃の清掃 201
- 内部の清掃 202

消耗品の交換 204
- フラッシングボックス用吸収材の交換 205
- メディア裁断用カッター刃の交換 208
- 大容量パックアダプターのプラグ交換 210

目次

カッティングマットの交換 214
輪郭カット用カッター刃の交換 216
カッターホルダーの交換 217
クリーニングワイパーの交換 218

輸送と長期保存 220
輸送するとき 220
初期充てんの方法 226
長期保存するとき 231

困った時は 232

メッセージとエラーメッセージ 233
メッセージ／エラーメッセージへの対応 233
エラー表示と対処方法 237
スマートチップリカバリー 241

トラブルシューティング 242
設置・導入時のトラブル 242
動作に関するトラブル 244
メディアに関するトラブル 245
印刷に関するトラブル 248
カッティングに関するトラブル 252
メディアが詰まった場合 255

付録 257

本製品の仕様 258
オプション・サプライ品リスト 260
インク 260
サプライ品 261
オプション品 262
改訂履歴 263
お問い合わせ先 264

安全にお使いいただくために

ご使用の前に
安全上のご注意
基本的な使い方
カット出力
メンテナンス
困った時は
付録

安全上のご注意

安全表示について

本書では、人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたい内容をマーク表示しています。
各マークが持つ意味を理解し、本製品を安全に正しくお使いください。

■指示を無視したり誤った取り扱い方で生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警　告	回避しないと死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注　意	回避しないと軽傷または中程度の傷害、または製品などの損害に結びつく可能性がある内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分して説明しています。

	してはいけない「禁止」です。 この中に描かれた図は、具体的な禁止の内容を示しています。
	必ず実行しなければならない「強制・指示」です。 この中に描かれた図は、具体的な強制・指示の内容を示しています。

■その他のマーク表示

Important !!	とくに注意したり、お守りいただきたい内容を示しています。
Note	補足説明や参考情報を示しています。
☞	関連した内容の参照先を示しています。

Note

マーク表示中の本体の各部名称については、「各部の名称・はたらき」P.19 をご参照ください。

感電・ショート・火災について

警　告

	湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。 感電・火災のおそれがあります。		**必ず指定の電源コンセントを使用してください。** 指定外の電源コンセントを使うと、感電・火災の原因となります。
	破損した電源ケーブルを使用しないでください。 感電・火災の原因になります。		**電源コンセントから直接電源を取ってください。** タコ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。		**電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。** アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
	以下の場所には、アース線を接続しないでください。 • **ガス管** 引火や爆発するおそれがあります。 • **電話線用アース線および避雷針** 落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。 • **水道管および蛇口** T 配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。		**アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。** • **電源コンセントのアース端子** • **銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線** • **D 種接地工事を行っている接地端子**
			インクは、火気や高温のものから遠ざけた冷暗所に保管してください。 インクは危険物第 4 類第 3 石油類（非水溶性液体）に該当します。引火すると火災の原因となります。

	通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。		**必ず指定の電源ケーブルを使用してください。** • 指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。指定の電源ケーブルについては、販売店までお問い合わせください。 • 電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。 • 電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。
	毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。		
	ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。 感電または故障するおそれがあります。		
	本製品内部に水気が入らないように注意してください。 電気回路がショートするおそれがあります。		**各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。** 配線を誤ると、火災のおそれがあります。
	異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。		
	電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。 • **電源ケーブルを加工しないこと。** • **電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。** • **電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。** • **電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。**		**電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。** 取り扱いを誤ると火災の原因となるおそれがあります。 • **電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。** • **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。**

設置について

⚠ 警　告

❗	本製品は、以下のような場所に設置してください。 • 水平な場所 • 他の機器の振動が伝わらない場所 • 湿気やホコリの少ない場所 • 温度・湿度の変化が小さい場所 • 直射日光が当たらない場所 • 水などがかからない場所 • 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所 • 電磁波などのノイズが少ない場所	❗	**換気ができる場所に設置してください。** **作業場を十分換気してください。** インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。 頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。
		🚫	**この機器は子供がいる可能性がある場所での使用には適していません。**
❗	**本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外してください。** ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させるおそれがあります。		

⚠ 注　意

❗	**本製品を移動する場合は、必ず 2 人以上で作業してください。また、水平の状態を保ったまま移動してください。**	🚫	**本製品を傾けたりしないでください。** 内部のインクが漏れるおそれがあります。また、正常動作が保証できません。

取り扱いについて

⚠ 警　告

	本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 転倒・転落により、けがをするおそれがあります。
	可動部に触れないでください。 負傷や製品の故障の原因になります。
	本製品にインクを充てん後は、インクが漏れるおそれがあるため、衝撃を与えないようにゆっくり動かしてください。

⚠ 注　意

	インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。 • **本製品の電源をオフにする** • **本製品の電源ケーブルを抜く** • **フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける** • **メディア固定ハンドルを解除する。**		**クリーニングワイパーを清掃するときは、クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。** 油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなるおそれがあります。
	本製品の初期動作中および印刷中は、メディア固定ハンドルを操作しないでください。 プリントヘッド部と加圧ローラー部が干渉し、故障するおそれがあります。		**ヒーターの動作中は給紙スロット、プラテンおよびメディアガイドに触れないでください。** 給紙スロット、プラテンおよびメディアガイドは高温になっており、やけどするおそれがあります。
	シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。 塗装を傷める原因となります。		**印刷中はメディアガイドに触れないでください。** メディアガイドは高温になっており、やけどするおそれがあります。

	カッターのつまみを強く押したり、急に離したりしないでください。 カッターの下にバネがありますので、カッターが飛び出す可能性があります。		**カッターの刃先には触れないでください。** けがをするおそれがあります。
	プリントヘッド外周を清掃するときは、プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。 プリントヘッドが破損するおそれがあります。		**印刷終了直後は、メディアガイドが高温になっています。** **メディアガイドが十分に冷めてから作業を行ってください。**
	本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。 故障の原因となります。		

インクと廃液について

⚠ 警　告

❗	**インクカートリッジをはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。**
❗	**インクカートリッジおよび廃液は、以下のような場所に保管してください。** **• 子供の手の届かない場所** **• 火気や高温から遠ざけ、直射日光を避けた冷暗所**
❗	**• インクや、本製品から出る廃液、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。**

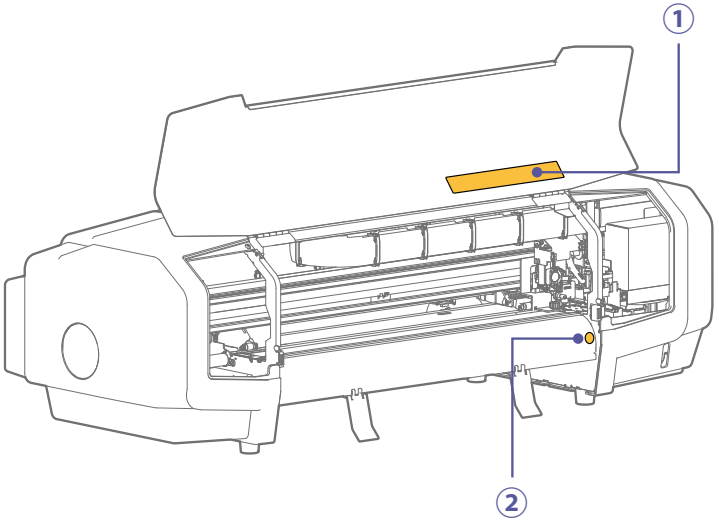
⚠ 注　意

🚫	**インクカートリッジの取り扱いは以下を守ってください。** **• 分解しない** **• 落としたり強くたたいたりしない** 分解したり衝撃を与えるとインクが漏れるおそれがあります。	❗	**インクは純正品を使用してください。** 本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。 非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。この場合には保証の対象外となります。
❗	**インクは使用期限内に使い切ってください。** **• 消費期限の切れたインクの使用は本製品の破損を引き起こすおそれがあります。** **• 使用中に消費期限が切れた場合は、インクが残っていても消費期限内のインクに交換してください。** **• 使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクパックはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。**		
❗	**インクを取り扱うときは、手袋・保護メガネ・マスクを着用してください。** **インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。** • 目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。 • そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。		

警告ラベル

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、必ずお守りください。

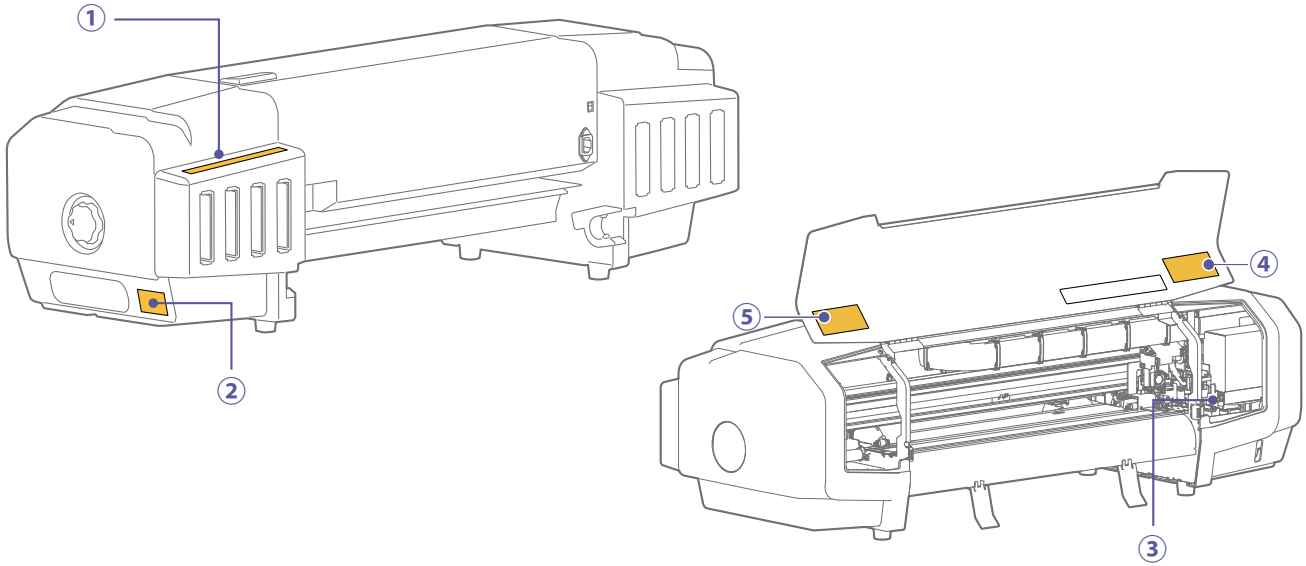
ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。

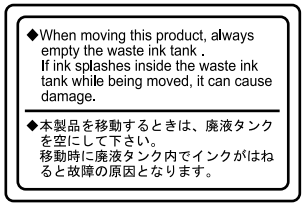


	ラベル種類	名称 / 意味
①		**カッター注意ラベル** • カッター刃でけがをする可能性がありますので、指を入れないでください。
②		**手挿入注意ラベル** • キャリッジと接触してけがをするおそれがありますので、手を入れないでください。

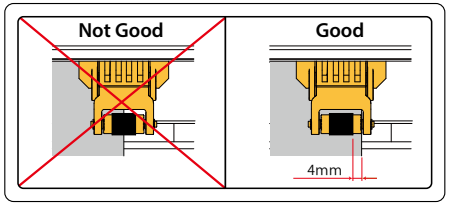
操作ラベル

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。



	ラベル種類	名称 / 意味
①		**インク色表示ラベル** • ラベルに対応するインクカートリッジをセットしてください。
②		**移動時取扱説明ラベル**
③		**ORIGIN ラベル** • 原点位置を示しています。

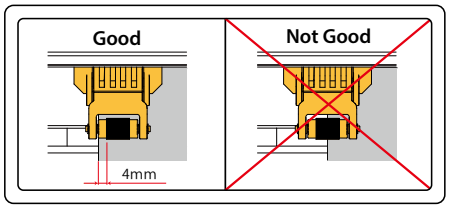
④



メディアセット位置ラベル R（原点側）

- メディアの端からピンチローラーのゴム部分の端までが約 4mm になるようにセットしてください。

⑤



メディアセット位置ラベル L（反原点側）

- メディアの端からピンチローラーのゴム部分の端までが約 4mm になるようにセットしてください。

Note

メディアセット位置の詳細については、以下を参照してください。

☞「メディアをセットする」P.52

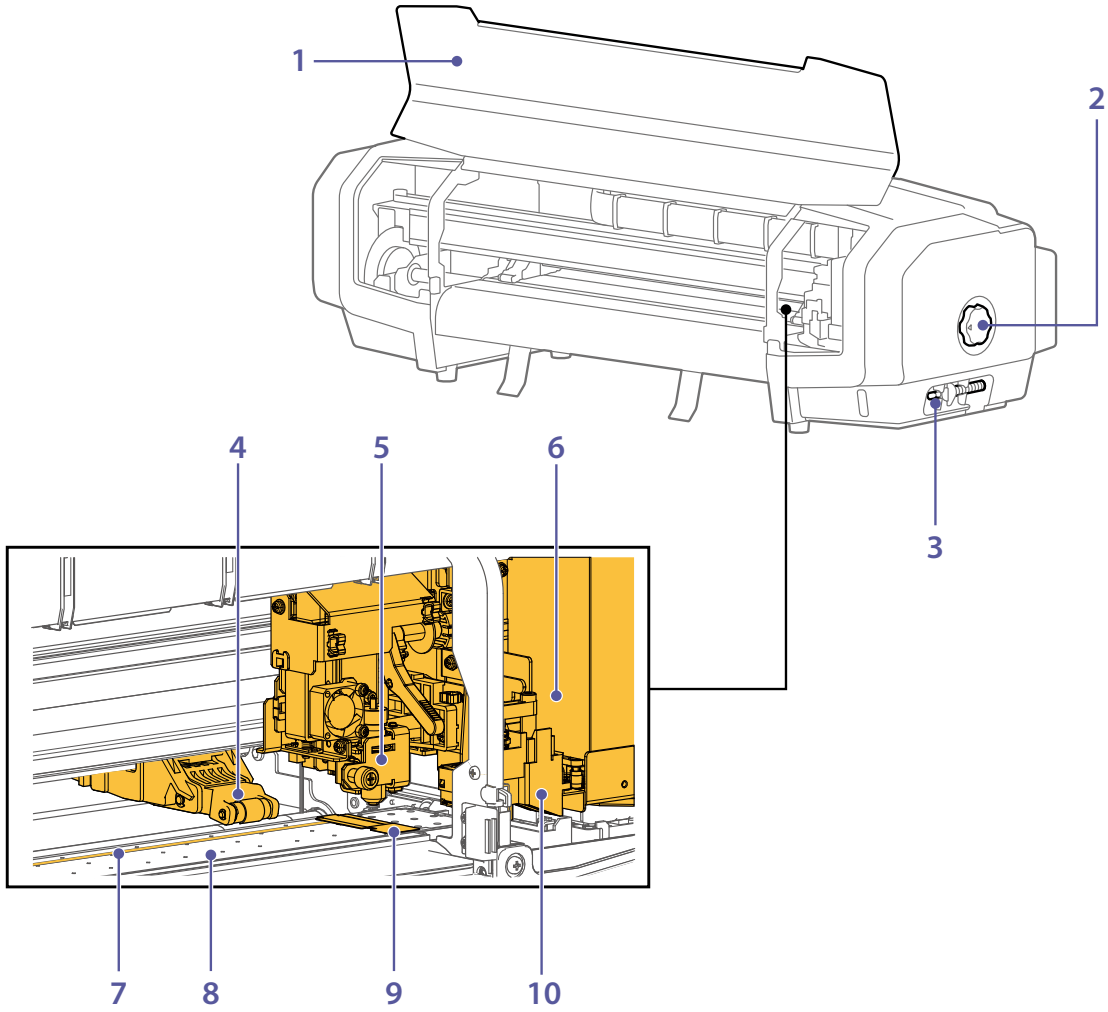
☞同梱品「ピンチローラーとメディアセット位置について」

ご使用の前に

各部の名称・はたらき 19
コンピューターとの接続 24
本製品のシステム構成 26
MSM の起動 / 表示 / 終了の方法 27
VerteLith の起動方法 37
本製品ができること 38
本製品の印刷エリア 39
使用できるメディアの条件 40
ご使用上のお願い 42

各部の名称・はたらき

正面



1	**フロントカバー**	メディアを取り付けるときや、メンテナンスを行うときなどに開きます。
2	**メディア固定ハンドル**	メディアの取り付けと取り外しを行うときに回します。

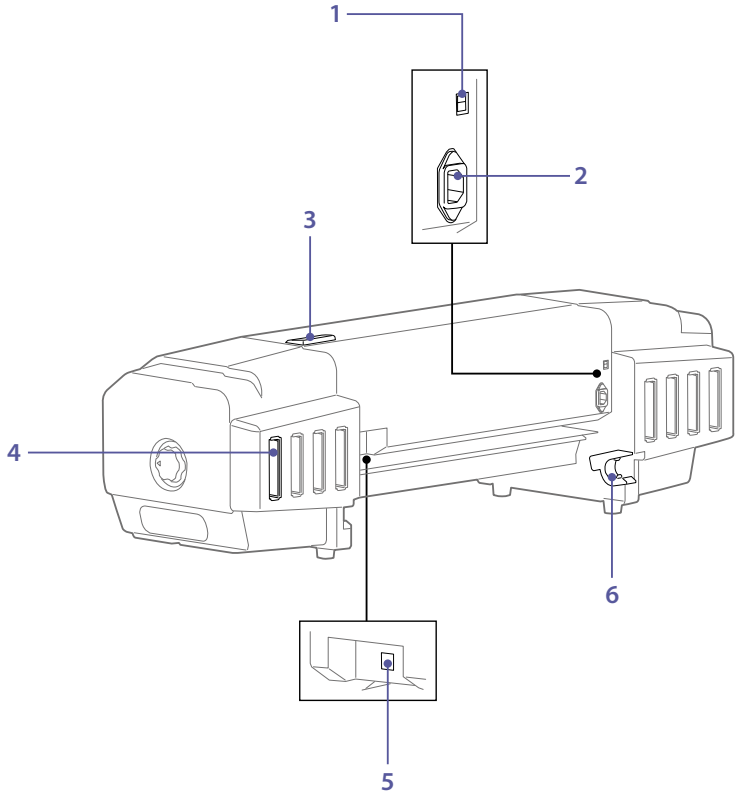
Important !!

以下をお守りください。

- 本製品を使用しないときは、メディア固定ハンドルのロックを解除しておいてください。メディア固定ハンドルがロックされた状態で、30 分以上印刷やカッティングが行われなかったり、または電源をオフにした場合、警告ブザーが鳴りエラー LED が点灯します。
- メディア固定ハンドルのロックを解除したら、メディアも取り外しておいてください。メディアをセットしたままにすると、オートクリーニング有効時にキャリッジが接触してメディアが詰まるおそれがあります。

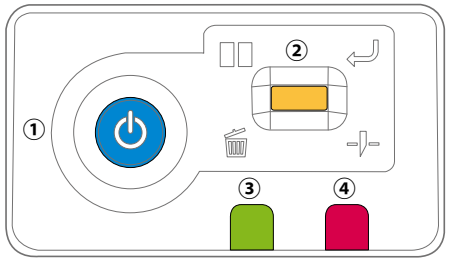
3	**廃液チューブ**	廃インクを排出するためのチューブです。
4	**メディア加圧アーム**	メディアをプラテンに押さえつけます。メディア固定ハンドルと連動しています。
5	**輪郭カットカッター**	プリントした線に沿って切り抜くカッターです。
6	**キャリッジ**	プリントヘッドとカッターを内蔵しています。
7	**カッティングマット**	輪郭カットカッターの先端を保護します。
8	**プラテン**	この上でメディアが印刷されます。内部に吸着ファンとヒーターがあります。
9	**メディア押さえプレート**	メディアの両端に取り付けると、メディアの反りをある程度抑えられます。
10	**メディア裁断カッター**	ロール紙をまっすぐカットするためのカッターです。

背面



1	電圧切り替えスイッチ	国、地域の電圧に合わせてください。⇒「スタートアップガイド」
2	電源コネクター	
3	操作パネル	☞「操作パネル」P.22
4	カートリッジスロット	インクカートリッジや洗浄カートリッジを取り付けます。
5	ネットワークコネクター	イーサネットケーブルを接続します。
6	スクローラー受け	ロールメディアを取り付けます。

操作パネル



①

電源ボタン：

- 電源オン状態のときは、青く点灯します。

> **Note**
>
> ⏻ マークはスタンバイを意味します。本製品は電源ボタンがオンでなくても、電源ケーブルが接続されていれば微量の電力を消費します。本書では、この状態を「電源オフ」と表記しています。

②

オペレーションキー：

状況によって、さまざまな機能になります。

印刷中または輪郭カット中

- （短押し）一時停止 / 再開
- （長押し）キャンセル（データ削除）

待機中

- （長押し）メディアのカット
- （2回連続短押し）ノズルチェックを印刷
- （短押しの後、長押し）通常クリーニングを開始

MSM との連携時で、確定待ちのとき

- （短押し）確定

ウォームアップ中

- （短押し）印刷の強制開始[*1]
- （長押し）印刷のキャンセル（データ削除）

クールダウン中

- （短押し）輪郭カットの強制開始[*2]
- （長押し）輪郭カットのキャンセル（データ削除）

メディアフィード中
- （短押し／長押し）フィードの停止

エラー発生中
- （短押し）ブザー停止

③

データ LED：
緑の点滅で、印刷データの受信・解析中を表示します。

④

エラー LED：
赤の点灯や点滅で、エラーや警告を表示します。

Important !!

- ＊1 ウォームアップ中に印刷を開始した場合、印刷品質は保証できません。
- ＊2 クールダウン中に輪郭カット動作を開始した場合、輪郭カット品質は保証できません。

コンピューターとの接続

Important !!

コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

OS：Windows 11、Windows 10

CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上

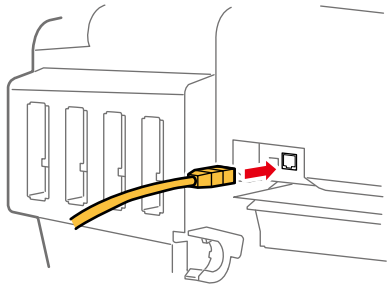
メモリ：16GB 以上

ネットワーク：イーサネットに対応したネットワークポート

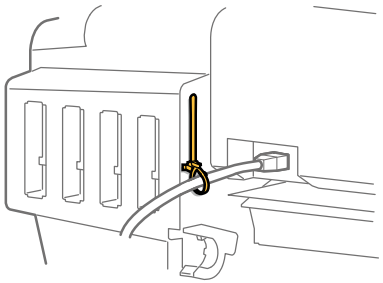
Note

- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

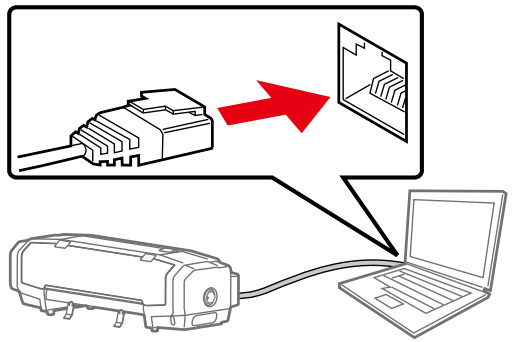
1 イーサネットケーブルを本製品に接続します。



2 イーサネットケーブルを結束バンドで固定します。



3 イーサネットケーブルを、コンピューターに接続します。



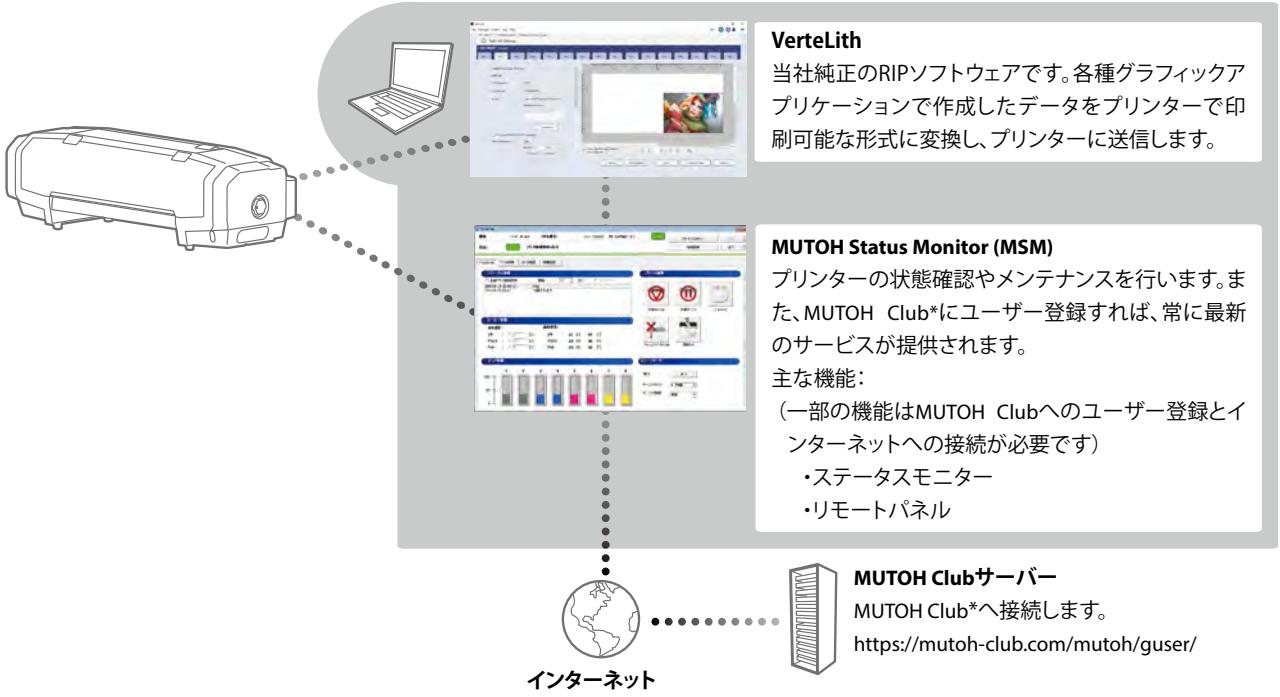
4 MSM で、本製品の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

Note

- 上図は本製品とコンピューターを 1 対 1 接続した例です。接続方法はご使用の環境により異なります。
- 本製品を LAN で使用する場合は、接続先のコンピューターと同じサブネットになるようにしてください。

本製品のシステム構成



VerteLith
当社純正のRIPソフトウェアです。各種グラフィックアプリケーションで作成したデータをプリンターで印刷可能な形式に変換し、プリンターに送信します。

MUTOH Status Monitor (MSM)
プリンターの状態確認やメンテナンスを行います。また、MUTOH Club*にユーザー登録すれば、常に最新のサービスが提供されます。
主な機能：
（一部の機能はMUTOH Clubへのユーザー登録とインターネットへの接続が必要です）
・ステータスモニター
・リモートパネル

MUTOH Clubサーバー
MUTOH Club*へ接続します。
https://mutoh-club.com/mutoh/guser/

***MUTOH Club**
ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供するWebサービスです。ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。
主な機能：
・最新アプリ、マニュアルのダウンロード
・メディアプロファイルのダウンロード
・プリンター状態の確認（MSMのプリンター情報提供サービス使用時）

< 印刷サポートソフトについて >
本製品のスペックを最大に発揮するためには、MSM をご利用ください。
最新の MSM は、MUTOH Club からダウンロードできます。

MSM の起動 / 表示 / 終了の方法

MSM の起動方法

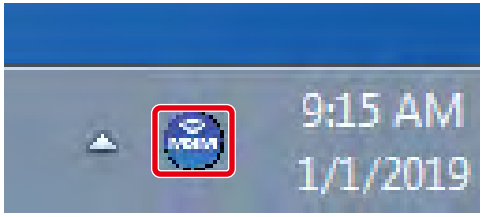
Windows 11 / Windows 10

1. デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

Note

Windows のスタートメニューから起動する方法
Windows 11 / Windows 10
• ［スタート］ メニューから［すべてのプログラム］（または［すべてのアプリ］）-［MUTOH］-［MUTOH Status Monitor］ の順にクリックします。

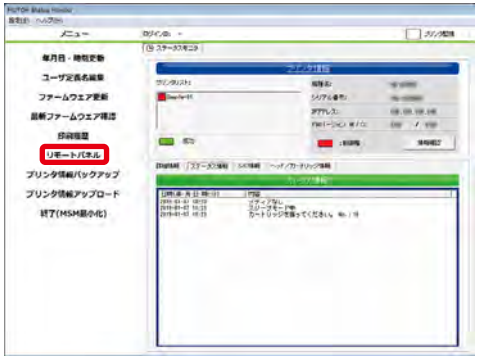
MSM の表示方法



1. タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックします。

リモートパネルの表示方法

リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。

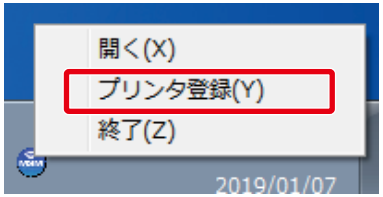


1. リモートパネルをクリックします。
   - リモートパネルが開きます。

IP アドレスの変更方法

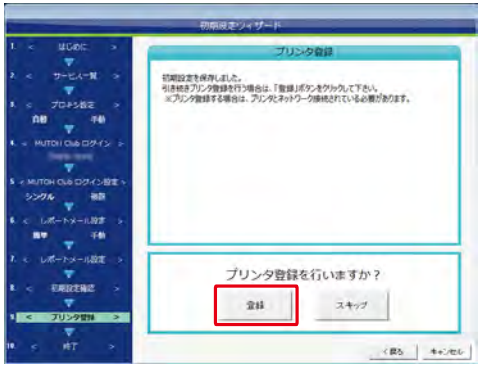
プリンターを登録した後に、MSM でプリンターの IP アドレスを変更することができます。

1. MSM を起動します。



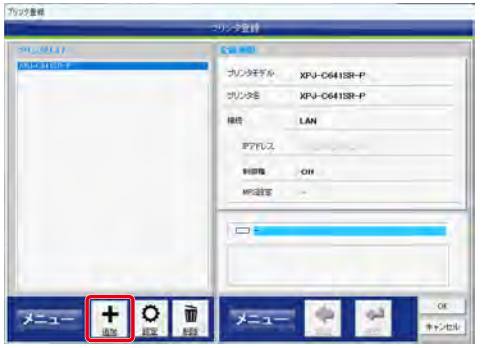
タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、［プリンタ登録］をクリックします。

- [プリンタ登録] 画面が開きます。

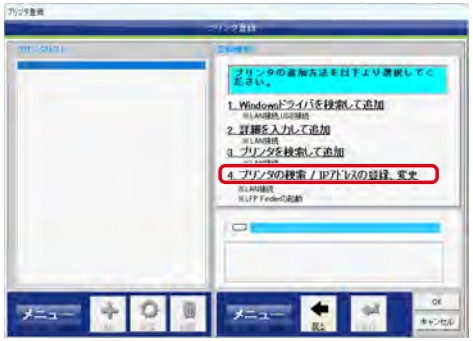


2.［登録］をクリックします。

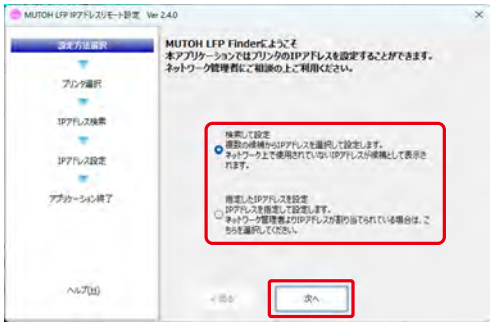
> **Note**
> クリックする前に、プリンターの電源をオンにし、同一セグメント内のネットワークに接続してください。



3. [追加] をクリックします。



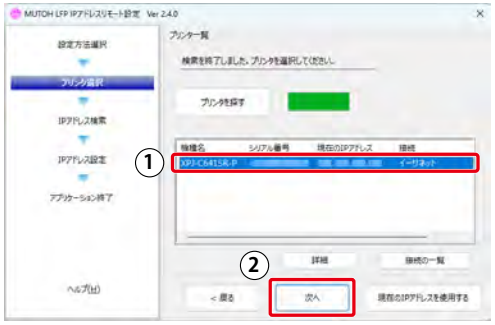
4. [プリンタの検索 /IP アドレスの登録、変更] をクリックします。



5. MUTOH LFP Finder が表示されます。IP アドレスの設定方法を選択し、[次へ] をクリックします。

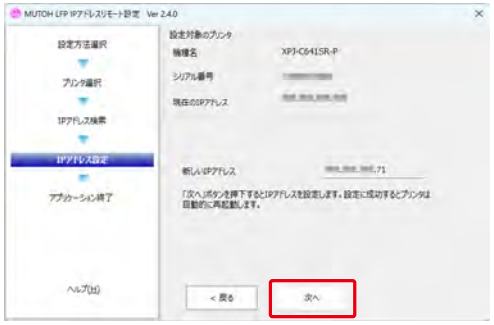
「「検索して設定」の場合」P.31
「「指定した IP アドレスを設定」の場合」P.32

「検索して設定」の場合

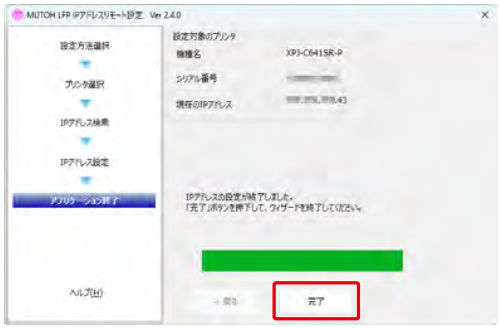


1. IP アドレスを変更したいプリンターを選択し（①）、[次へ] をクリックします（②）。

2. 新しい IP アドレスを探します。
   - 探す方式を選択します（③）。
   - [実行] をクリックします（④）。
   - 候補一覧から IP アドレスを選択し（⑤）、[次へ] をクリックします（⑥）。



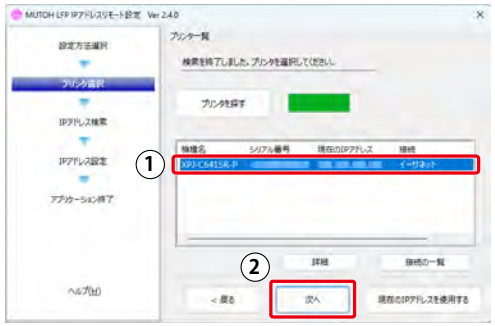
3. [次へ] をクリックします。
   - 変更が始まります。しばらく待ちます。



4. IP アドレスが変更されました。[完了] をクリックして、MUTOH LFP Finder を終了してください。
5. プリンターの IP アドレスを変更したら、MSM に登録されたプリンターの IP アドレス設定も変更する必要があります。下記に進んでください。

☞「MSM に登録の IP アドレス変更方法」P.33

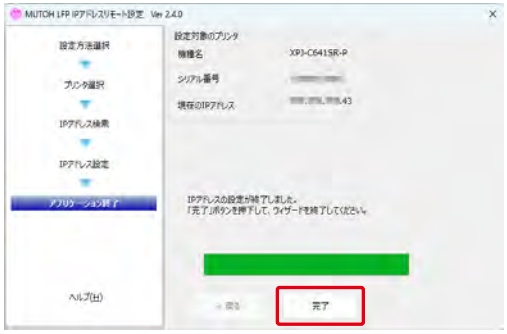
「指定した IP アドレスを設定」の場合



1. IP アドレスを変更したいプリンターを選択し（①）、[次へ] をクリックします（②）。

2. 新しい IP アドレスを直接入力します（③）。
   - [実行] をクリックし（④）、入力した IP アドレスが設定可能か確認します。

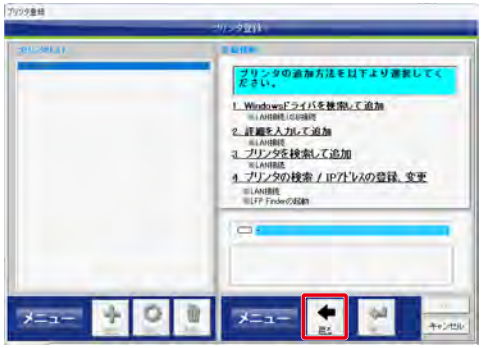
3. OK が表示されたら使用可能な IP アドレスです（⑤）。[次へ] をクリックしてください（⑥）。
   - 変更が始まります。しばらく待ちます。



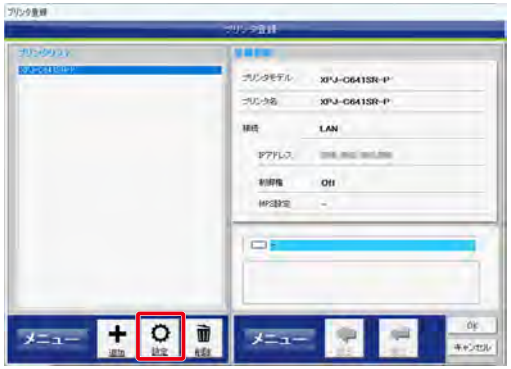
4. IP アドレスが変更されました。[完了] をクリックして、MUTOH LFP Finder を終了してください。
5. プリンターの IP アドレスを変更したら、MSM に登録されたプリンターの IP アドレス設定も変更する必要があります。下記に進んでください。

☞「MSM に登録の IP アドレス変更方法」P.33

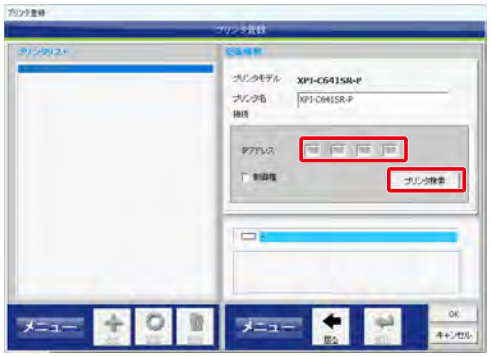
MSM に登録の IP アドレス変更方法



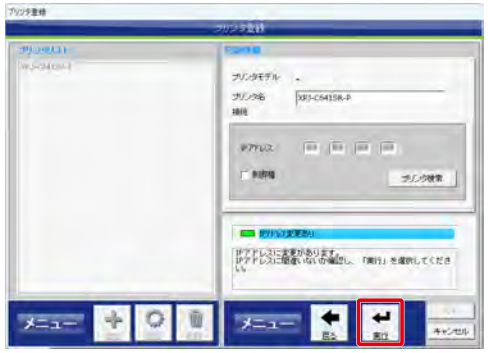
1. [戻る] をクリックします。



2. [設定] をクリックします。

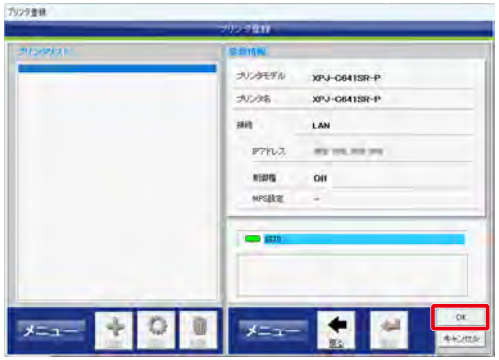


3. IP アドレスを変更したプリンターの IP アドレスを検索します。



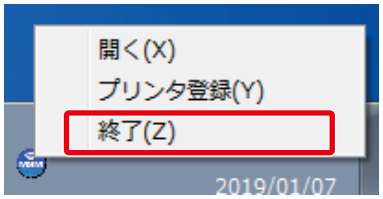
4. [実行] をクリックします。

5.「変更」の確認ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。



6. IP アドレスの変更が完了しました。[OK] をクリックして終了します。

MSM の終了方法



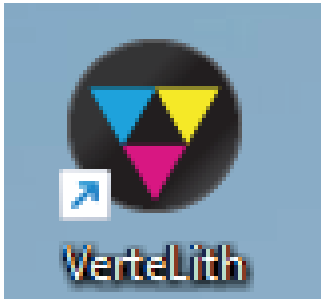
Windows 11 / Windows 10

1. タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、［終了］をクリックします。

Note

通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの［設定］-［閉じる］の順にクリックします。

VerteLith の起動方法



Windows 11 / Windows 10

1. デスクトップの VerteLith アイコンをダブルクリックします。

Note

Windows のスタートメニューから起動する方法
Windows 11 / Windows 10
• ［スタート］ メニューから［すべてのプログラム］（または［すべてのアプリ］）-［MUTOH］-［VerteLith］ の順にクリックします。

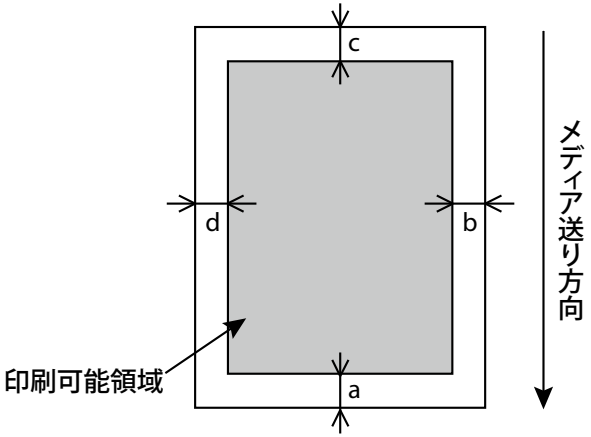
本製品ができること

本製品は、以下の 4 つの方法で出力できます。

印刷のみ	インクを使って印刷します。 ☞「作業の流れ」P.45
プリントとカットを個別にする	印刷後、ユーザーがメディアを取り外しラミネート加工などを行ってから、再セットしてカッティングするような場合に使用します。再セット時の位置合わせに「クロップマーク」を使います。 印刷用とカッティング用の出力データが必要です。 ☞「プリントとカットを個別に行う」P.142 **Important !!** メディアの先端と後端にカットに必要なマージンを確保してください。
プリント & カット（連続）	印刷後、続けてカッティングを行います。 印刷用とカッティング用の出力データが必要です。 ☞「プリント＆カット（連続）」P.151 **Important !!** メディアを十分に乾燥させた状態でカットを行ってください。
カットのみ	シールの型抜きなどの切り抜きを行います。 カッティング用の出力データが必要です。 ☞「カットのみ」P.153

本製品の印刷エリア

印刷は常に原点位置（印刷開始点）から開始します。下図は印刷結果の例です。



a=5mm *1 *2
b=20mm~30mm *3
c=5mm
d=20mm~30mm *3

*1 メディア検出、マニュアルバックフィード後、貼り付き防止処理後は15mmで印刷を開始。

*2 メディア検出先端オン時、オートカット時は40mmで印刷を開始。

*3 リモートパネル設定による。

使用できるメディアの条件

本製品は、以下のメディアを使用できます。

メディアサイズ

幅 *1		• 198 ～ 228mm • 283 ～ 313mm • 344 ～ 374mm • 394 ～ 424mm • 444 ～ 474mm • 494 ～ 524mm • 602 ～ 630*2mm *1 カットメディア、ロール紙共通 *2 最大幅（ロール紙の場合、紙管>メディア幅なら紙管幅 ）
最大厚さ	プリントのみの場合　ヘッド高さ Low 時	0.4 mm （通紙可能最大厚さ：0.8 mm）
	カットする場合	0.4 mm（台紙、フィルム層 *3 含む） *3 : フィルム層最大厚さ 0.22 mm
ロール外径		150 mm 以下
紙管径		2 インチまたは 3 インチ
重量		9 kg 以下

Important !!

出荷時のヘッド高さは「Low」に設定されています。
ヘッド高さ「Low」設定時、使用可能なメディアの最大厚さは 0.4 mm です。

Note

推奨メディアにつきましては、お買い求めの MUTOH 製品取扱店へご確認ください。

メディアの取扱上の注意

メディアを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。

- メディアは、適切な環境下でご使用ください。印刷に適した温度・湿度は次のとおりです。

本体精度保証環境	温度：22℃～ 30℃ 湿度：40% ～ 60%、結露なきこと
変化率	温度：1 時間あたり 2℃以内 湿度：1 時間あたり 5% 以内

- 折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用しないでください。
- メディアは、印刷環境の湿度変化により、一定の割合で寸法が変化することがあります。
  メディアの使用前には、印刷環境に約 1 時間放置して、印刷環境に慣らしてください。
  印刷環境に慣らさないうちに印刷を行うと、印刷メディアのズレ、シワなどにより紙ジャムが発生するおそれがあります。また、印刷品質にも悪影響があります。
- 低湿時の環境で使用する場合は、メディアの貼付きによってカットしたメディアが落ちない場合があります。
  その場合、メディア先端カット後、フロントカバーを開けてメディアを取り除いてください。
- メディアの印字面には手を触れないでください。手についた水分・油脂が、印刷品質に影響します。
- メディアをセットした状態で、長時間放置しないでください。
  メディアによっては癖がつき、紙浮き、紙ジャム、印字品質低下の原因となります。特に冬季・乾燥期には、こうしたメディアの使用は避けてください。
- メディアの個装箱・個装袋は、メディアの保管時に使用するため、紛失しないでください。

メディアの使用後の注意

メディアの使用後は、シワなどによる品質低下を防ぐために、以下の点に注意して保管してください。

- 使用後のロール紙は、スクローラから取り外し、きちんと巻きなおしてから、梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- メディアを濡らさないでください。

ご使用上のお願い

定期的に使用してください

本製品は 1 週間に 1 度は使用することをおすすめいたします。

長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

インクカートリッジの取扱いに注意してください

- インクカートリッジをはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。
- インクカートリッジを分解しないでください。
  分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
  目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクカートリッジを落としたり、強く叩いたりしないでください。インクが漏れる場合があります。
- インクは使用期限内に使い切ってください。
  使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクカートリッジはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
- インクは純正品をご使用ください。
  本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能をフルに発揮できるよう製造されています。非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響が出る場合があります。

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- 印刷前と印刷後に、ノズルチェックを行ってください。
  ノズルの目詰まりがある場合はヘッドクリーニングを行ってください。
- 1 週間に 1 度はクリーニングワイパー、プリントヘッド外周を清掃してください。
- 1 か月に 1 度は内部の清掃を行ってください。

定期的に交換が必要な部品があります

本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

- ユーザーによる交換が必要な部品：
  フラッシングボックス用吸収材、メディア裁断用カッター刃、輪郭カット用カッター刃、カッターホルダ、カッティングマット、クリーニングワイパー、大容量パックアダプターのプラグ
- サービスマンによる交換が必要な部品：
  各種モーター、各種ポンプ、プリントヘッド

基本的な使い方

作業の流れ 45
電源のオンオフ 46
スリープモード 48
メディアをセットする 52
ノズルチェックとクリーニング 58
印刷前の調整 64
印刷を開始する 79
印刷の一時停止／再開 85
印刷のキャンセル 86
メディアの送り／巻き戻し 88
メディアのカット 90
大容量パックアダプターについて 94
ヘッド高さを調整する 95
詳しい設定方法 97

作業の流れ

印刷をするときの基本的な作業の流れは次のとおりです。

1. 電源を入れます。

☞「電源をオンにする」P.46

2. メディアをセットします。

☞「メディアをセットする」P.52

3. ノズルチェックとクリーニングをします。

☞「ノズルチェックとクリーニング」P.58

4. 印刷前の調整をします。（必要なとき）

☞「印刷前の調整」P.64

5. データを印刷します。

- 当社の純正 RIP ソフトウェアー「VerteLith」を使った印刷方法を説明します。

☞「印刷を開始する」P.79

6. 作業を終了します。

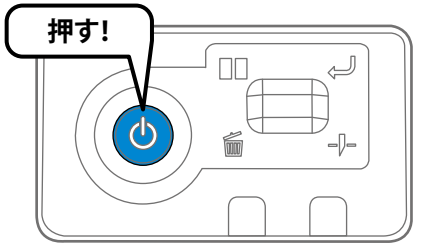
電源のオンオフ

電源をオンにする

1 フロントカバーを閉じます。

2 本製品の電源ボタンを押します。

- 青色のランプが点灯します。
- 本製品が初期動作を開始します。

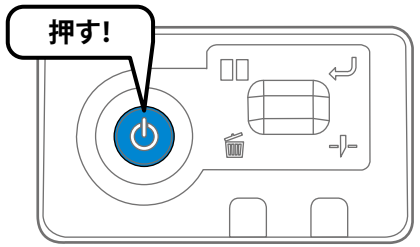


電源をオフにする

1 印刷が終わっていることを確認します。

2 本製品の電源ボタンを押します。

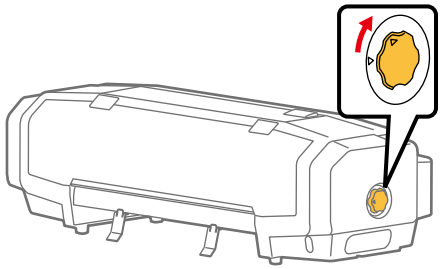
- 青色のランプが消灯します。
- 本製品が電源オフ動作を開始します。



3 メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

Important !!

- メディア固定ハンドルがロックされたままの場合、エラー LED が点灯し、電源をオフにすることができません。メディア固定ハンドルのロックを解除してください。
- 電源オフにかかわらず、本製品を使用しないときは、メディア固定ハンドルのロックを解除し加圧アームを上げておいてください。



スリープモード

スリープモード中は以下の動作を行います。

- 本製品の消費電力を少なくします。
- タイマーセットメニューで設定した時間が経過すると、自動でヘッドクリーニングを行います。

Important !!

スリープモードを 7 日間以上継続する場合は、7 日間が経過した時点で以下を行ってください。

- インクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。
- ノズルチェックをしてください。ノズルの目詰まりがあるときは、クリーニングをしてください。

スリープモードの開始と終了

1. スリープモードの開始方法

1 製品の動作状態について以下を確認します。

- フロントカバーが閉じていること。
- インクカートリッジの残量が十分にあること。
- 廃液タンクの空き容量が十分にあること。
- メディア固定ハンドルのロックが解除されていること。

Important !!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃インクを排出してください。

2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

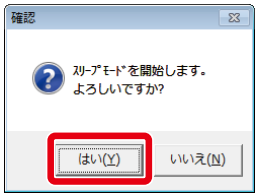
☞「リモートパネルの表示方法」P.28

3 ［スリープモード］-［スタート］をクリックします。
- 確認ウィンドウが開きます。

4 ［はい］をクリックします。
- スリープモードを開始します。

Note

スリープモード中は、データ LED が点滅します。



Important !!

メディア固定ハンドルがロックされたままの場合、エラー LED が点灯し、スリープモードを開始することができません。メディア固定ハンドルのロックを解除してください。

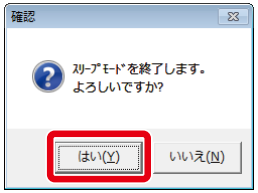
2. スリープモードの終了方法

1 スリープモードを終了するには、スリープモード中に［スリープモード］-［ストップ］をクリックします。

- 確認ウィンドウが開きます。

2 ［はい］をクリックします。

- スリープモードを終了します。



Note

本製品は、スリープモードからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充てんを行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。

3. タイマーのセット方法

スリープモード中に自動でヘッドクリーニングを行う間隔を設定できます。

1 スリープモード中のクリーニング間隔を変更する場合は、［スリープモード］-［クリーニングタイマー］から時間を選択します。

2 ［変更］をクリックします。

- タイマーがセットされます。

Note

ヘッドクリーニングの強さは、MSM のリモートパネルの［詳細設定］タブにある、［クリーニング種類］で変更できます。

メディアをセットする

以下の手順に従って、本製品にメディアをセットします。

ロール紙のセット方法

1. メディアをセットする

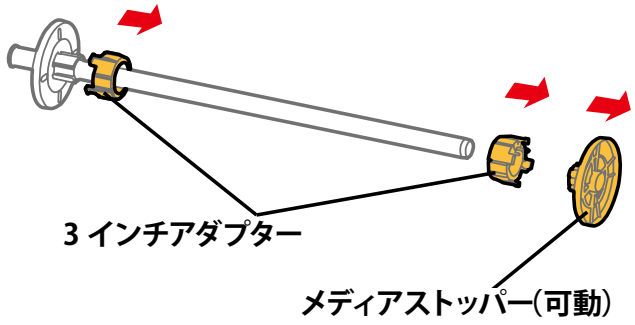
必要なもの：

- メディア：１本
- スクローラー：１個

1 スクローラーから、3 インチアダプターとメディアストッパー（可動）を取り外します。

Note

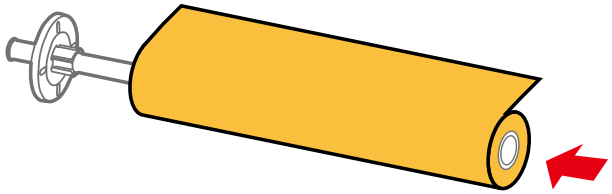
紙管径が 3 インチのロールメディアを使用するときは、3 インチアダプターをつけたままにしておいてください。



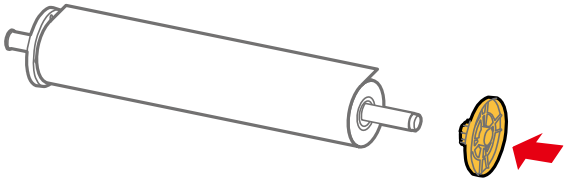
2 ロールメディアをスクローラーに取り付けます。

Note

メディアの巻き方向が、この図と同じになるように取り付けてください。



3 メディアストッパー（可動）をロールメディアとのすき間がなくなるまで押し込みます。

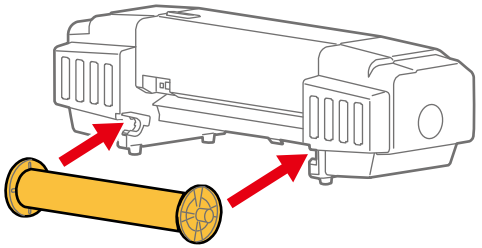


2. スクローラー受けにメディアを取り付ける

1 スクローラーをスクローラー受けに取り付けます。

Note

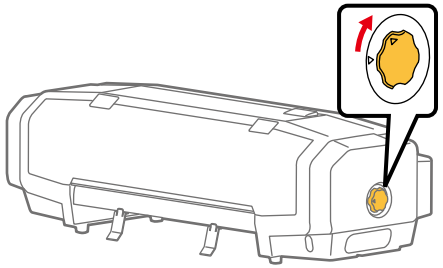
本製品を背面から見たときに、メディアストッパー（可動）が右側になるように取り付けてください。



3. 本製品にメディアをセットする

1 メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

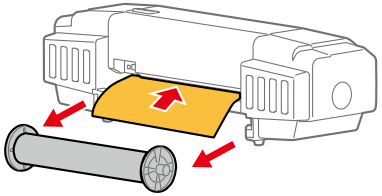
- 加圧アームが上がります。

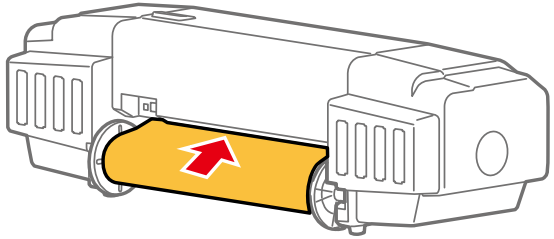


2 給紙スロットにメディアを通します。

Important !!

カットメディアの場合は、スクローラーおよびロール紙を取り外した状態でセットしてください。



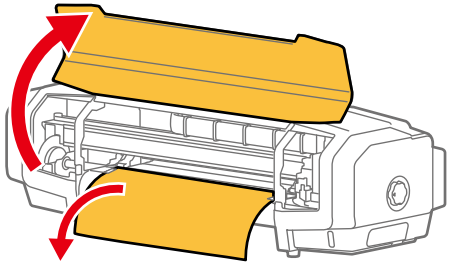


3

- フロントカバーを開きます。
- メディアを本製品の前側から引き出します。

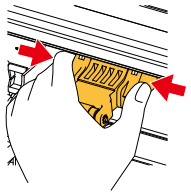
Note

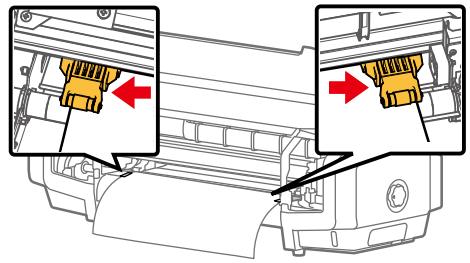
メディアのたるみをなくしてください。
ロール紙の場合は、スクローラーを巻き戻してたるみをなくしてください。



4 加圧アームをメディアの両端に移動します。

- 必ず、加圧アームが上がっている状態で行ってください。
- 加圧アームの根本側を持ってゆっくり移動させてください。移動が重い場合は、本製品を押さえながら移動させてください。



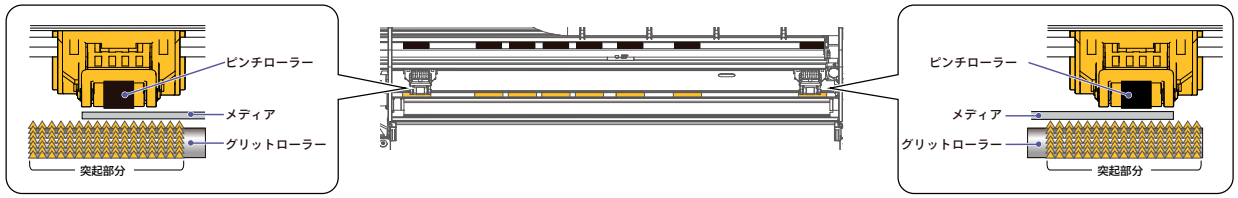


Important !!

ピンチローラーとメディアセット位置について、以下の注意事項をご確認ください。適切な位置にセットしないと、ピンチローラーが破損する可能性があります。

● ピンチローラーとメディアがグリットローラー突起部分の上部にあること。

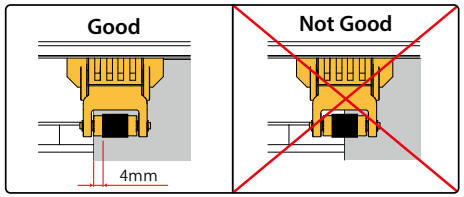
（Y レール上の黒色のラベルは、グリットローラーの突起部分の位置に対応しています。確認時の目安にしてください。）



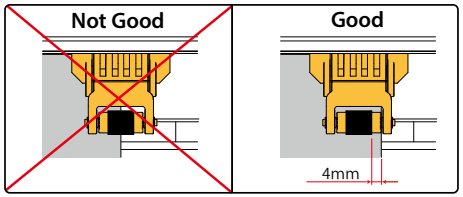
● メディアの端からピンチローラーのゴム部分の端までの距離が約 4mm になるようにセットしてください。4mm を超える場合は、次ページを参照してサイドマージンの設定をしてください。

● ピンチローラーのゴム部分がメディアからはみ出していないことを確認してください。ピンチローラーとグリットローラーの突起部分が接触した状態でメディアフィードを行うと、ピンチローラーが破損する可能性があります。

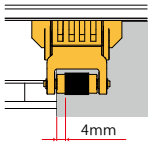
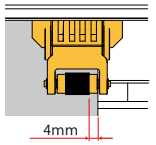
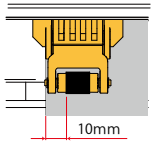
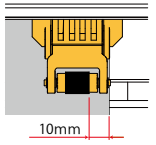
反原点側



原点側



● メディアの端とピンチローラーのゴム部分の端の距離が 4mm を超える場合は、サイドマージン設定値を調整してください。下図は、4mm の場合、10 mmの場合の例です。

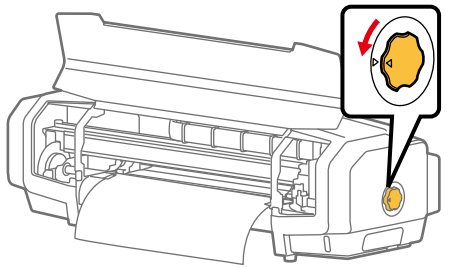
サイドマージン設定値	反原点側	原点側
・ピンチローラーセット位置が 4 mmの場合 サイドマージン＝20 mm（初期値）以上		
・ピンチローラーセット位置が 10 mmの場合 サイドマージン＝26mm（初期値 20 mm＋6mm）以上		

Note

サイドマージン設定値は MSM の「メディア設定」で変更できます。詳細は「MUTOH Status Monitor 取扱説明書」を参照してください。

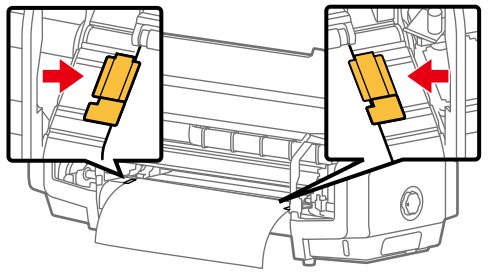
5 メディア固定ハンドルを回して、ロックします。

- 加圧アームが下がります。

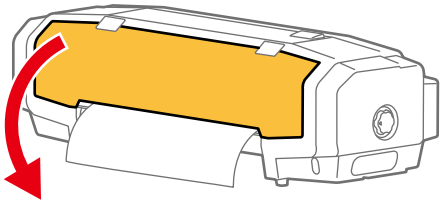


6 メディア押さえプレートをメディアにセットします。

- プラテンの両側からスライドし、セットしてください。



7 フロントカバーを閉じます。



カットメディアのセット方法

カットメディアのセット方法は、ロールメディアのセット方法「3. 本製品にメディアをセットする」と同様の手順です。

☞「3. 本製品にメディアをセットする」P.54

クロップマーク付きのカットメディアをセットする場合は、位置合わせをする必要があります。

☞「Step2. カット」P.149

Important !!

クロップマーク付きカットメディアに必要な大きさや余白については、下記をご参照ください。

☞「クロップマークの自動検出に必要なメディアの大きさ」P.142

ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェック

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズルの目詰まりがあるときは、クリーニングをしてください。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

- ノズルチェック：MSM の [詳細設定] タブの [自動ノズル選択] の設定を反映したノズルチェックパターンを印刷します。
  ☞「ノズルチェックの手順」P.60
- ノズルチェック F：すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。
  ☞「ノズルチェック F の手順」P.58

ノズルチェック F の手順

1 ノズルチェックで使用するメディアをセットします。
☞「メディアをセットする」P.52

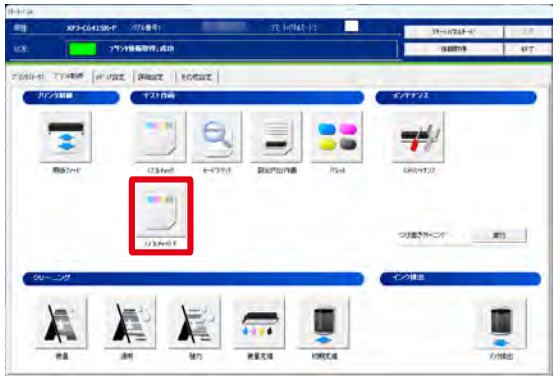
2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

3 [プリンタ制御] タブをクリックします。

- ［プリンタ制御］画面が表示されます。

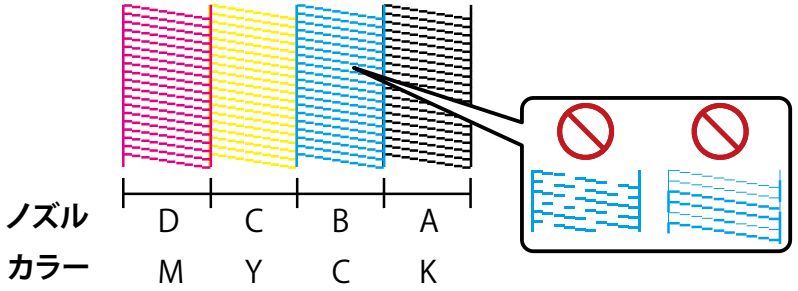
4 [テスト作画] から [ノズルチェック F] をクリックします。

- ノズルチェックパターンを印刷します。



5 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まり（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合は、「クリーニング」 P.62 に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

ノズルチェックの手順

1 ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

☞「メディアをセットする」P.52

2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

3 [プリンタ制御] タブをクリックします。

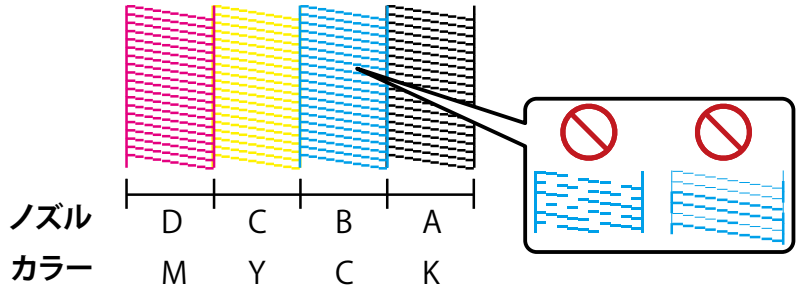
- ［プリンタ制御］画面が表示されます。

4 [テスト作画] から [ノズルチェック] をクリックします。

- ノズルチェックパターンを印刷します。

5 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まりがある場合は、「クリーニング」P.62 に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

- 上記のパターンは、ノズル選択がノズルオールの場合です。
- 「ノズル選択」については MSM から設定してください。
- プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン、ノズル選択設定）が印刷されます。

Important !!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- 印刷した線がかすれる
- 部分的に印刷されない

このような場合には、MSM の [プリンタ制御] ー [クリーニング] で微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。
微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。
それでも印刷結果に変化が無い場合「お問い合わせ先」P.264 までご連絡ください。

クリーニング

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 [プリンタ制御] タブをクリックします。

- ［プリンタ制御］画面が表示されます。

3 [クリーニング] からクリーニングモード (通常) をクリックします。

- クリーニングを開始します。

4 もう一度、ノズルチェックを行います。

☞「ノズルチェック」P.58

- ノズルの目詰まりが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。
- [微量][強力][微量充填][初期充填] については、「ヘッドクリーニング」P.180 を参照してください。

Note

[強力] や [微量充填] を行ってもノズルの目詰まりが直らない場合は、MSM の [詳細設定] ー [ノズル選択] で目詰まりのないノズルを選択することができます。

印刷前の調整

初回の印刷を開始する前に、印刷精度の調整を行ってください。

画質調整（調整印刷）

次の場合には、この調整をかならず行ってください。

- 本製品をはじめて使用するとき
- メディアの種類を変更するとき

これらに該当しない場合は、行う必要はありません。「ノズルチェックとクリーニング」P.58 に進んでください。

画質調整は、双方向印刷時にできる印刷のズレを補正します。以下の種類があります。

オート	カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動で調整を実行します。
カスタム	調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。 すべての作画モードを調整します。RIP 側とユーザー定義の作画モードが異なっても、最適な画質で印刷されます。

Note

調整パターンを印刷します。印刷可能領域の幅が 550mm 以上です。550mm 未満の場合、調整できません。

●作画モードに対応する印刷パターン

作画モード	印刷パターン
Super Quality	パターン F
High Quality	
Production	
High Speed	パターン D

画質調整（調整印刷）の手順

オートの場合

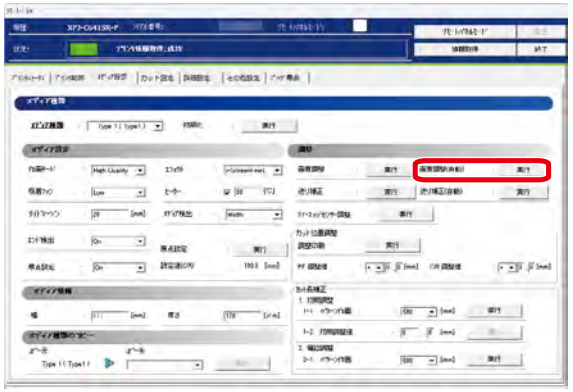
1 メディアをセットします。

☞「メディアをセットする」P.52

2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

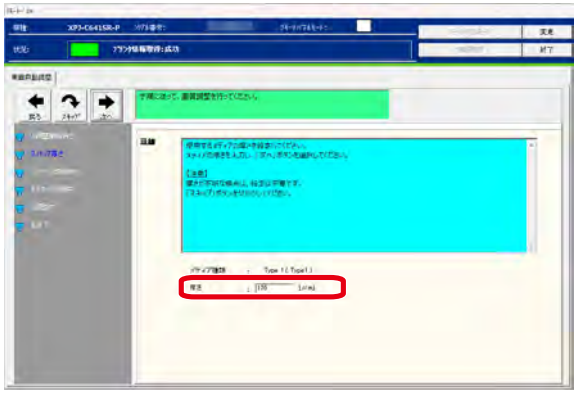
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

3 [メディア設定] ー [画質] ー [画質調整(自動)] ー[実行] をクリックします。

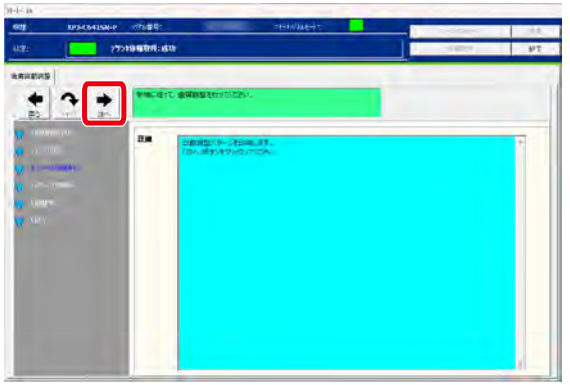


4 メディアの厚さを設定します。

- セットしたメディアの厚さ（[μ m]）を入力します。

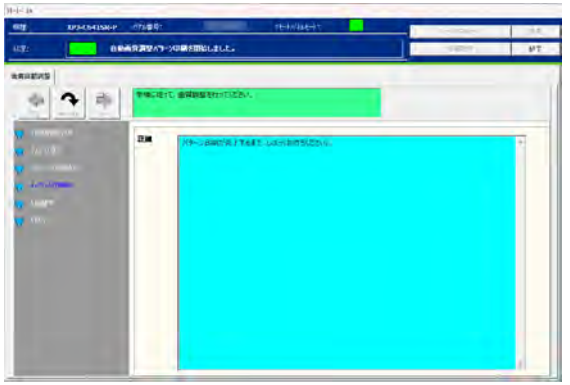


5 [次へ] をクリックします。



6 パターンが印刷されます。

- カラーセンサーが印刷結果を読み取り、自動で調整します。



Note

- 途中で調整に失敗した場合は、失敗したパターンとそれ以降のパターンの調整値は反映されません（失敗したパターンの直前のパターンの調整値は有効です）。
- オート調整を行っても画質が向上しないとき（バンディングや粒状感が見られる時）は、オート調整をやり直すか、カスタムで調整を行ってください。

☞「カスタムの場合」P.67

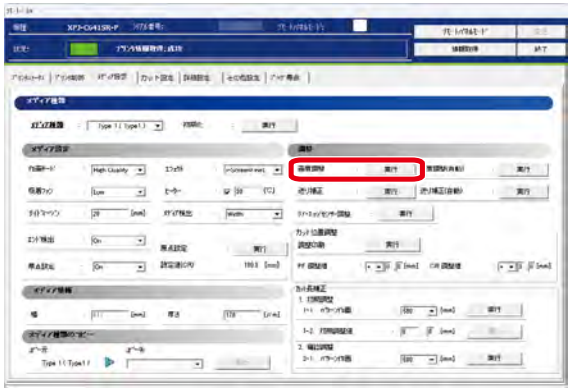
- ヘッド高さ（PG）が High に設定されている場合は、オート調整を実行できません。ヘッド高さを Low に変更してから実行してください。

☞「ヘッド高さを調整する」P.95

カスタムの場合

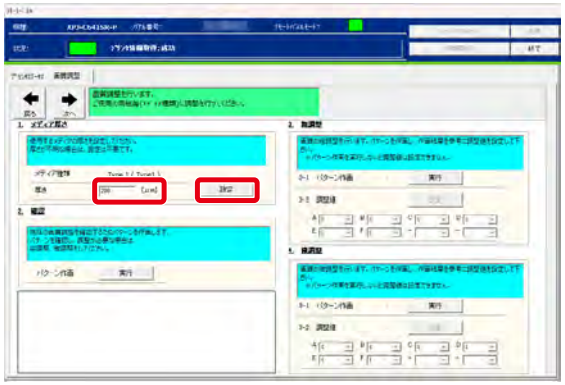
1. 画質の確認

1 ［メディア設定］ー［画質］ー［画質調整］ー［実行］をクリックします。



2 **[1. メディア厚さ] でメディアの厚さを設定します。**

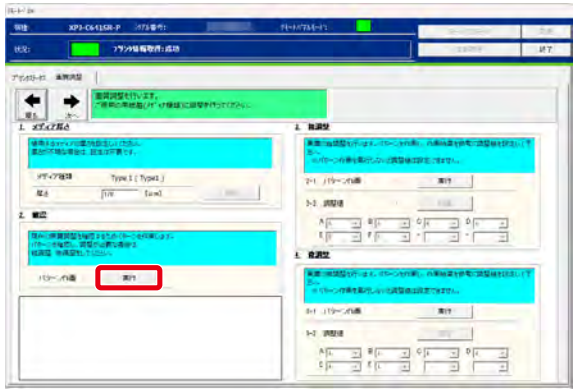
- セットしたメディアの厚さ（[μ m]）を入力し、［設定］をクリックします。



3 ［2. 確認］で［実行］をクリックします。

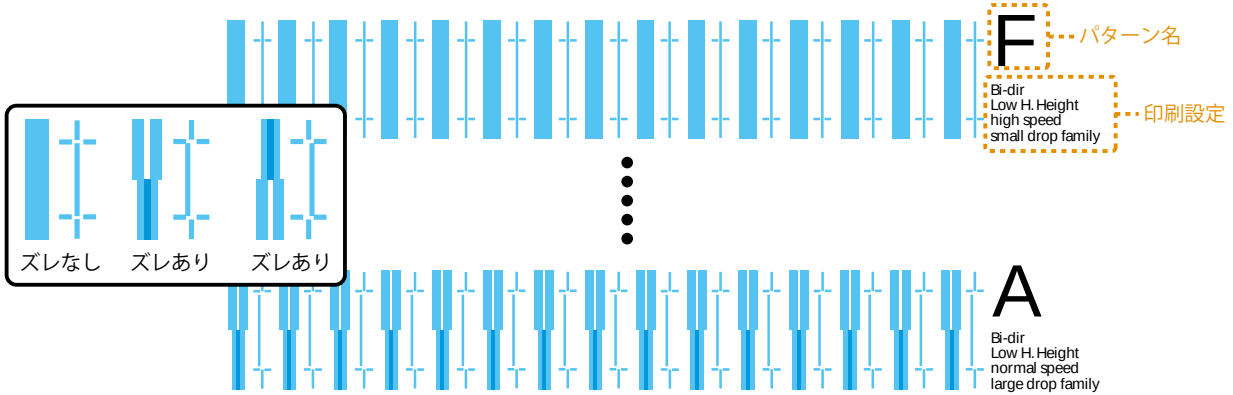
- パターンを印刷します。

☞「作画モードに対応する印刷パターン」P.64



4 パターン A からパターン F を見て、ズレがあれば「2. 画質粗調整」P.69に進みます。

- 下の例では、パターン A にズレがあります。



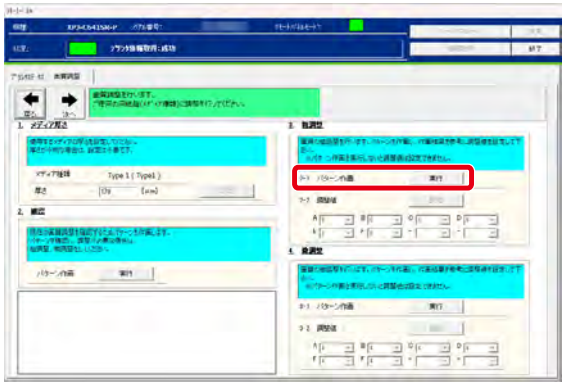
Note

画質粗調整、画質微調整のパターン色も同様です。

2. 画質粗調整

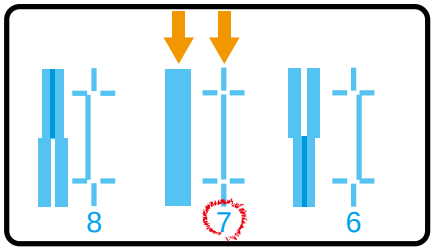
1 ［3. 粗調整］で［3-1 パターン作画］の［実行］をクリックします。

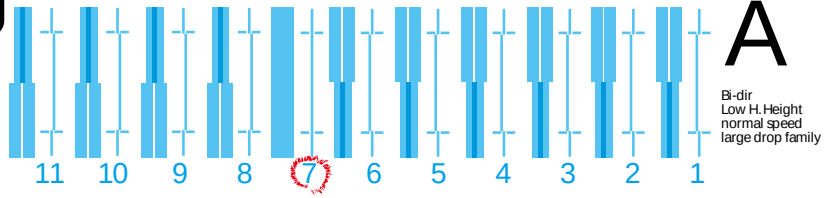
- パターンを印刷します。



2 パターン A の中で、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探して印をつけます。

- メディアの両端と中央に同じパターン（A ～ F）が繰り返し印刷されています。





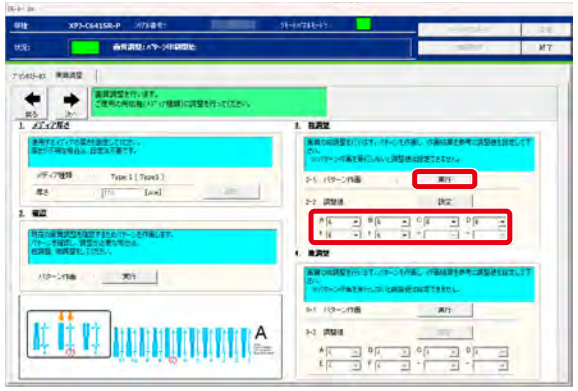
Note

同じパターン名でも、メディアの両端と中央ではズレがない番号が違うことがあります。
その場合は、平均するともっともズレが少なく思える番号を探してください。

3 B から F のパターンについても同様に、番号に印をつけます。

4 印をつけた値を、［3. 粗調整］で、［3-2 調整値］の A から F に入力して、［実行］をクリックします。

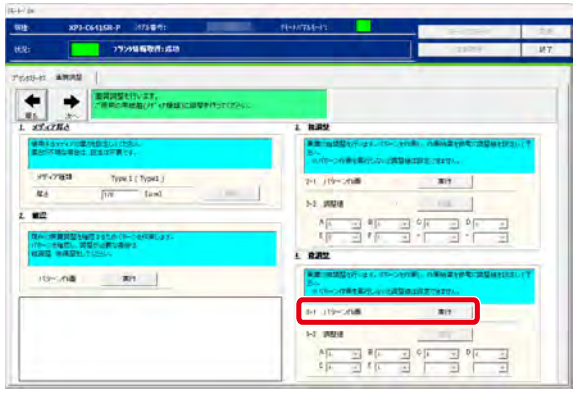
・「3. 画質微調整」P.70 に進みます。



3. 画質微調整

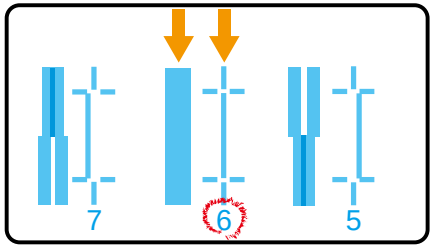
1 ［4. 微調整］で［4-1 パターン作画］の［実行］をクリックします。

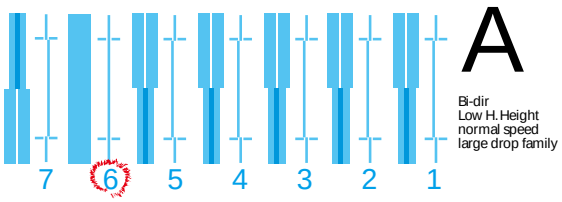
・パターン A から F を印刷します。



2 「3. 画質粗調整」と同様に、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探して印をつけます。

- A から F のパターンについて行います。





3 印をつけた値を、［4. 微調整］で、［4-2 調整値］の A から F に入力して、［実行］をクリックします。

- 画質調整が完了しました。

メディア送り補正

メディアの送り量を調整します。

次の場合には、必ず調整してください。

- 本製品をはじめて使用するとき。
- メディアの種類を変更するとき。

印刷結果に以下の症状が見られる場合は、調整してください。

- 画像が重なっている。
- 画像に白いスジが入っている。

これらに該当しない場合は、調整の必要はありません。「ノズルチェックとクリーニング」P.58 に進んでください。

この調整には定規を使用します。市販の定規をご用意ください。

送り補正の手順

Note

調整パターンを印刷します。印刷可能領域の幅が 400mm 以上です。400mm 未満の場合、調整できません。

1 メディアをセットします。

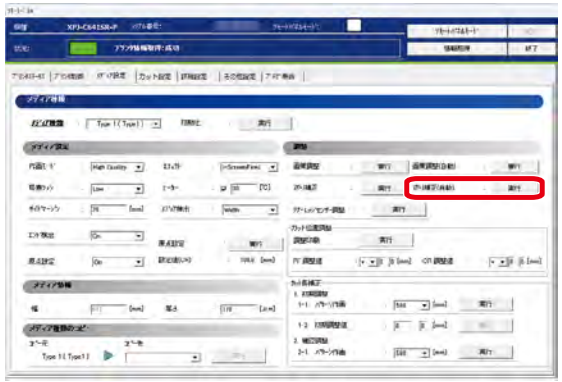
☞「メディアをセットする」P.52

2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

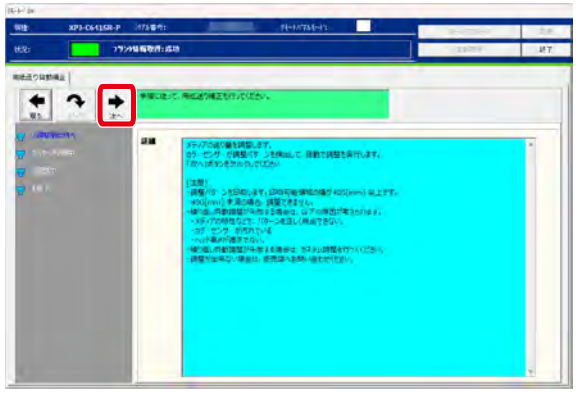
3 ［メディア設定］ー［画質］ー［送り補正（自動）］ー［実行］をクリックします。

- ［送り補正］ウィンドウが開きます。



4 ［次へ］をクリックします。

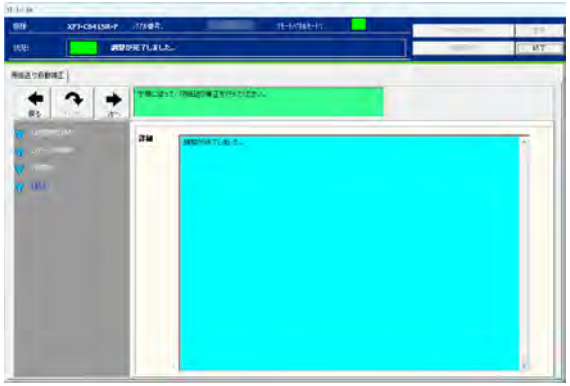
- 自動でメディア送り補正が実行されます。



5 調整が終了しました。

- 自動でメディア送り補正を行っても、印刷結果の不具合に改善が見られない場合は、手動でメディア送り補正を実行してください。

☞「印刷結果を確認しながら、手動でメディア送り補正を実行する」P.74



印刷結果を確認しながら、手動でメディア送り補正を実行する

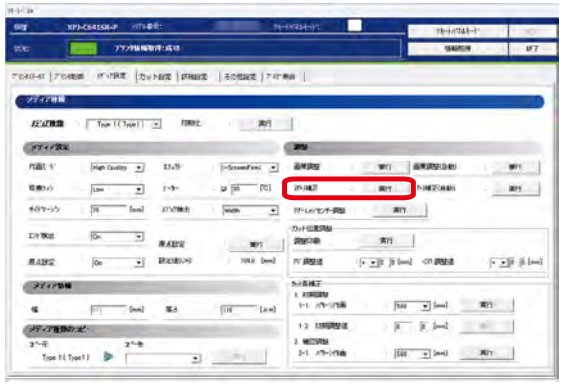
1. 初期調整

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

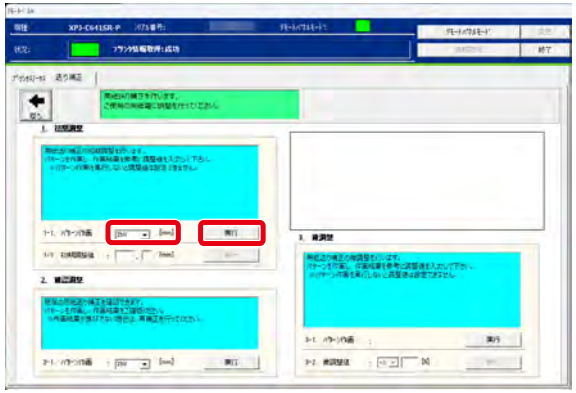
2 ［メディア設定］ー［ 画質 ］ー［ 送り補正］ー［実行］をクリックします。

- ［送り補正］ウィンドウが開きます。



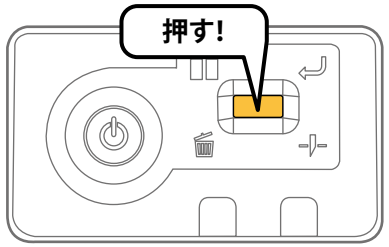
3 ［1. 初期調整］で、［1-1. パターン作画］の長さ（［mm］）を選択し、［実行］をクリックします。

- 用意した定規で測れる長さを選択してください。パターンを長くすると精度が向上します。
- パターンを印刷します。



4 メディアをカットします。

- 操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。
- 本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。

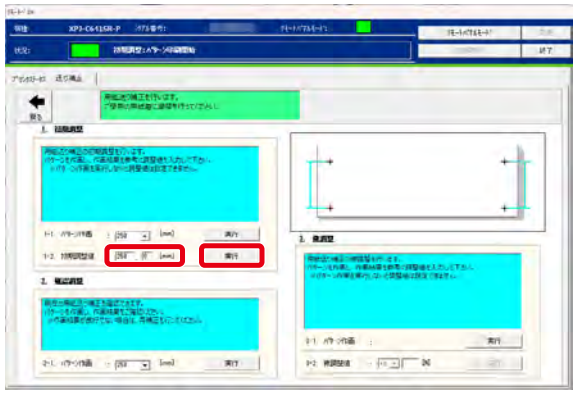


5 定規で、パターンの「+」間の長さを測ります。

- 下の例では、測る場所を青い点線と矢印で示しています（青い部分は実際は印刷されません）。

6 測った長さを、[1-2. 初期調整値] の長さ([mm]) に入力し、[実行] をクリックします。

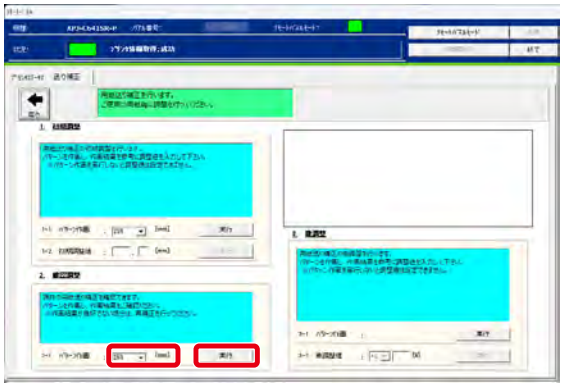
- 初期調整値が保存されます。
- 「2. 確認調整」P.76 に進んでください。



2. 確認調整

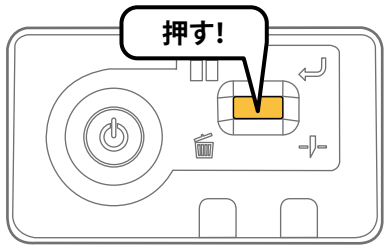
1 ［2. 確認調整］で、［2-1. パターン作画］の長さ（[mm]）を選択し、［実行］をクリックします。

- パターンを印刷します。



2 メディアをカットします。

- 操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。
- 本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。



3 定規などで、パターンの「+」間の長さを測ります。

- 下の例では、測る場所を青い点線と矢印で示しています（青い部分は実際は印刷されません）。

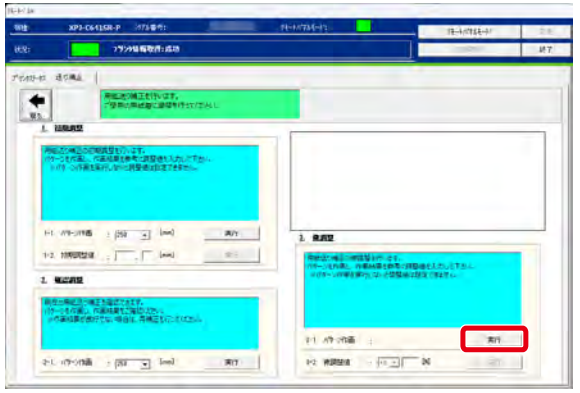
4 測った長さを確認します。

- 測った長さが、手順 1 で選択した長さと合っている場合は、「3. 微調整」P.77 に進んでください。
- 測った長さが、選択した長さと合っていない場合は、「1. 初期調整」P.74 で再補正を行ってください。

3. 微調整

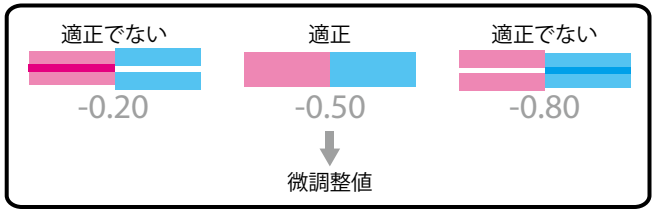
1 [3. 微調整] で、[3-1. パターン作画] の [実行] をクリックします。

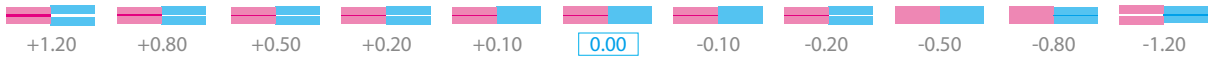
- パターンを印刷します。



2 パターンを見て、微調整値を確認します。

- パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。
- そのパターンの下にある数字が、微調整値です。





3 手順 2 で確認した値を、[3-2. 微調整値] に入力し、[実行] をクリックします。

- 微調整値を保存します。
- 用紙送り補正が完了しました。

Note

手順 3 で保存した微調整値が、パターンの基準値になります。例えば微調整値に「-0.50」を保存した場合、もう一度パターンを印刷すると、中心のパターンの下にある数字は「0.00」から「-0.50」になり、左端は「+0.70」、右端は「-1.70」になります。

印刷を開始する

VerteLith を使った基本的な印刷の手順を説明します。

VerteLith のセットアップについては、XPJ-C641SR-P スタートアップガイド「VerteLith とプリンターの初期設定」をご参照ください。

Important !!

メディアの送り方向に障害物を置かないでください。メディアの送りが妨げられると、印刷やカットの品質に悪影響があります。

1 印刷を開始する前に、以下を順番に行います。

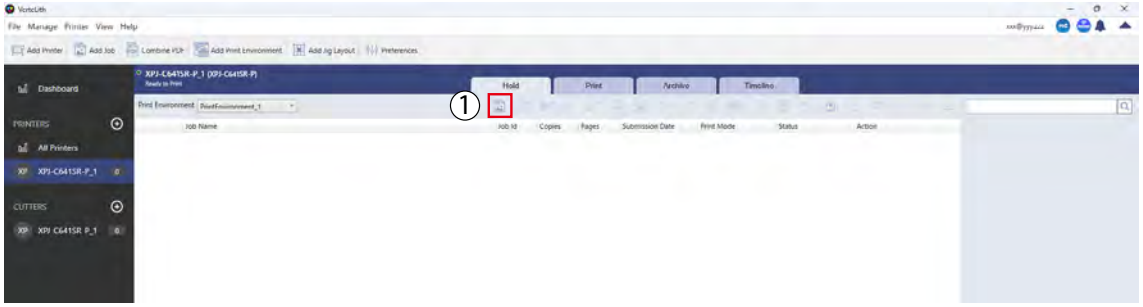
☞「メディアをセットする」P.52
☞「ノズルチェックとクリーニング」P.58
☞「印刷前の調整」P.64（必要なとき）

2 VerteLith を起動し、使用するプリンターに「XPJ-C641SR-P」を選択します（①）。

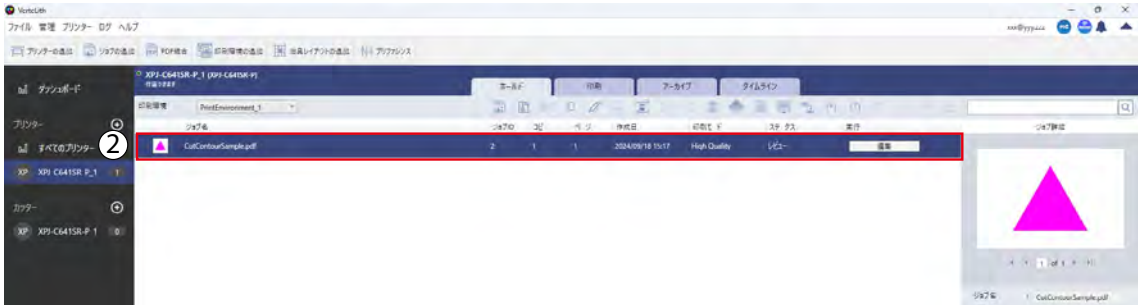
- 「XPJ-C641SR-P」が表示されます（②）。

3 印刷したい画像ファイルを追加します。

- ホールドタブの [ジョブ追加] アイコン（①）をクリックすると、ファイル選択のダイアログが表示されます。



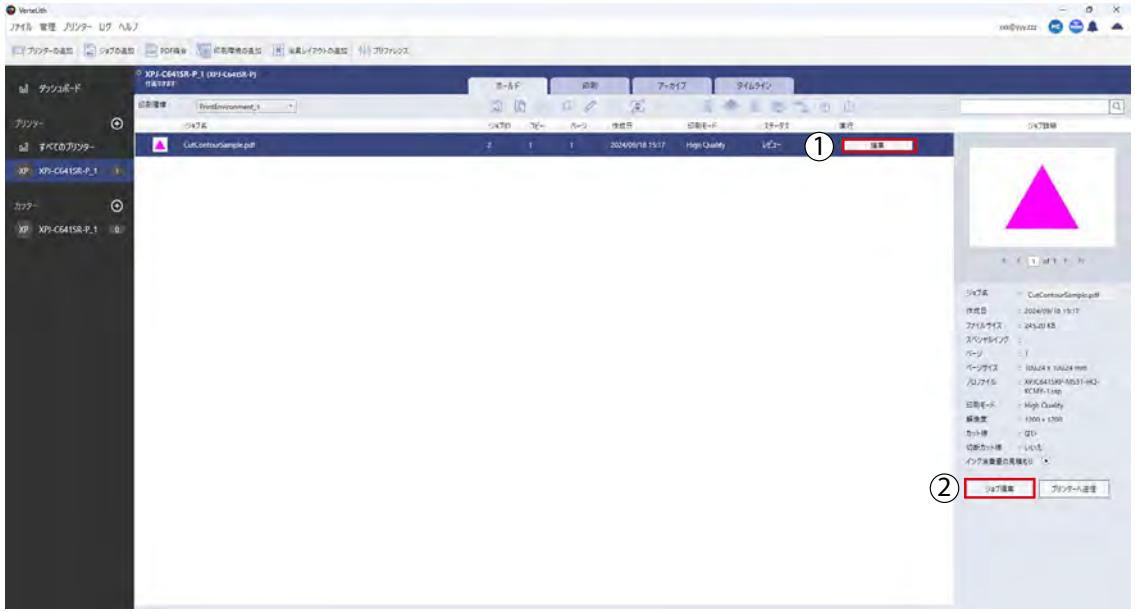
- ダイアログから追加したい画像ファイルを選択して [OK] をクリックすると、ホールドタブ内にジョブが追加されます（②）。複数のファイルも追加できます。



Note

ホールドタブにファイルをドラッグでも追加できます。

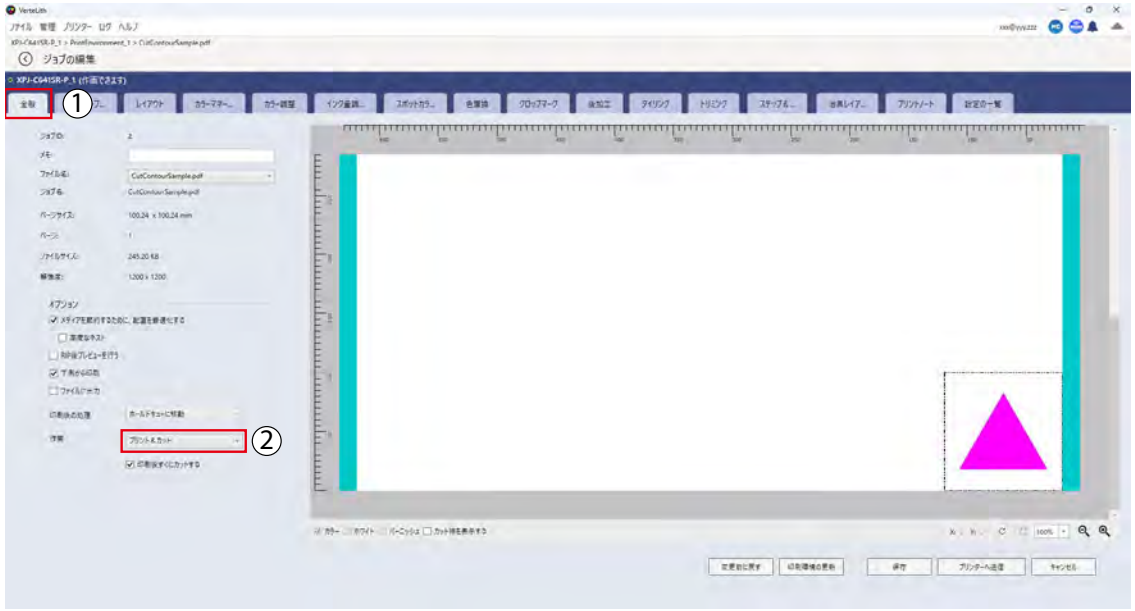
4 ジョブを選択して、[編集] (①) か [ジョブ編集] (②) をクリックします。



5 [ジョブの編集]の全般タブ（①）をクリックします。

出力方法を選択します（②）。

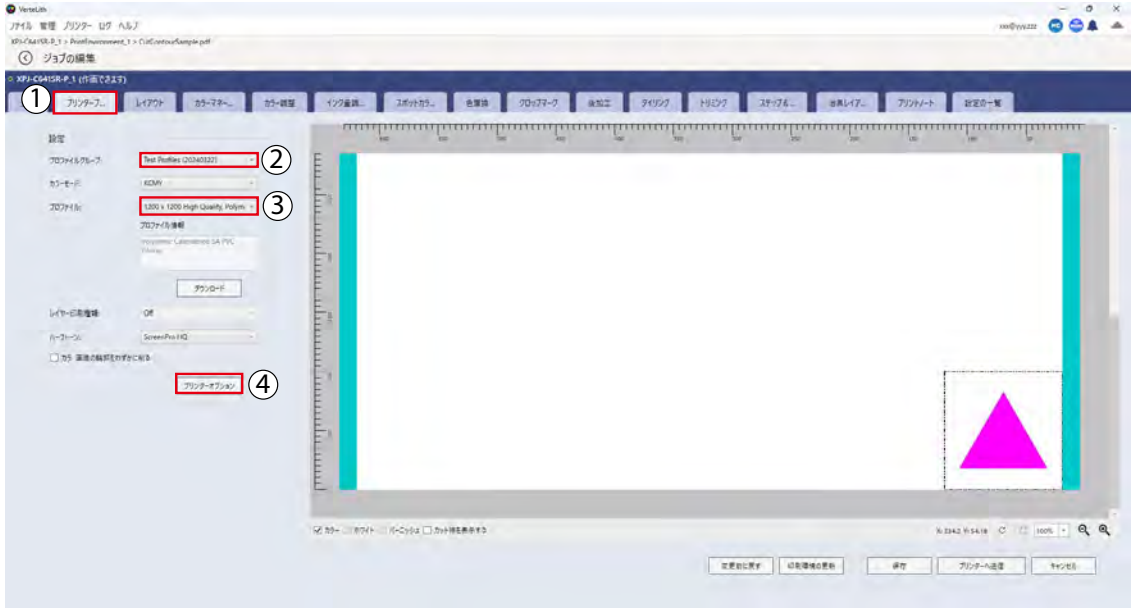
- **プリントのみ**
  印刷のみ行います。
- **プリント＆カット**
  ジョブにカッティングデータが含まれている場合にプリント＆カットを行います。
  ☞「プリント＆カット（連続）」P.151
- **カッティングのみ**
  ジョブにカッティングデータが含まれている場合にカッティングのみ行います。
  ☞「カットのみ」P.153



6 [プリンタープロファイルタブ] (①) をクリックします。

基本の印刷設定を行います。

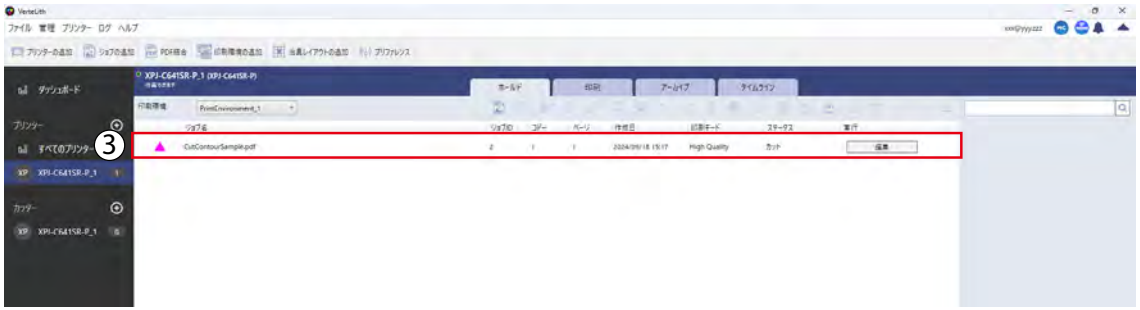
- **プロファイルグループを選択** (②)
  使用しているインクに合わせて選択します。
- **プロファイルを選択** (③)
  印刷に使用するメディア種類、印刷スピードに合わせて選択します。
- **プリンターオプション** (④)
  詳細な印刷設定ができます（デフォルトでも印刷できます）。



7 設定後、[プリンターへ送信] (①) をクリックすると印刷タブが表示され、RIP 処理につづいて印刷を開始します。

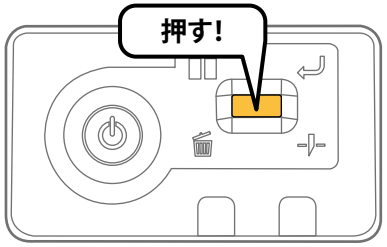
- 送信中は、ジョブのステータス（送信中、RIP 処理待ち、RIP 処理中、印刷待ち）が表示されます（②）。

- 印刷終了後、ホールドタブに再びジョブが表示されます（③）。



印刷の一時停止／再開

1 印刷中に、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。



- 印刷が一時停止します。
- もう一度オペレーションキーを押すと、印刷が再開します。

Note

- 本操作では本製品に送信された印刷データを削除しません。
- 印刷を中止しデータを削除する場合は、以下をご参照ください。

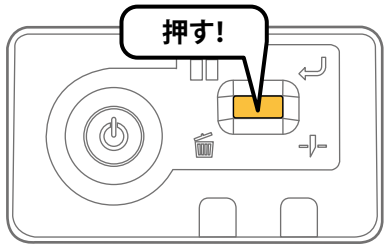
☞「印刷のキャンセル」P.86

印刷のキャンセル

プリンター側で印刷をキャンセルする

1 印刷中に操作パネルのオペレーションキーを 2 秒以上長押しします。

- 印刷がキャンセルされます（再開はできません）。
- 本製品に送信された印刷データを削除します。



コンピューター側で印刷をキャンセルする

1 印刷中に MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

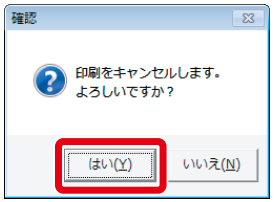
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 ［プリンタ制御］から［印刷キャンセル］をクリックします。

- ［確認］ウィンドウが開きます。

3 ［はい］をクリックします。

- 印刷をキャンセルします。



メディアの送り／巻き戻し

1 印刷中に MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 [プリンタ制御] タブをクリックします。

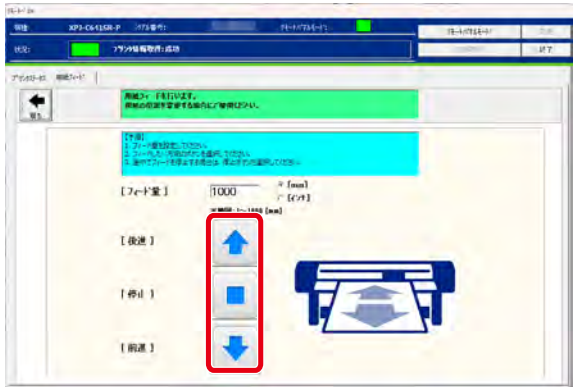
- ［プリンタ制御］画面が表示されます。

3 [プリンタ制御] ー [用紙フィード] をクリックします。

- ［用紙フィード］画面が表示されます。

4 **［前進］／［後進］をクリックすると、メディアの送り／巻き戻しをします。**

- 送り／巻き戻し動作中に［停止］をクリックすると、動作を停止します。
- 操作パネルのオペレーションキーを押しても、動作を停止します。



メディアのカット

メディアを裁断する方法を説明します。

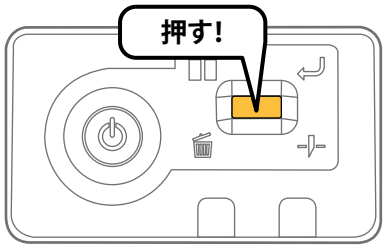
カッティング（メディア上の印刷結果の形にカット）の場合は、本書の「応用的な使い方」を参照してください。

プリンター側でカットする

1 印刷が終了していることを確認します。

2 操作パネルのオペレーションキーを 2 秒以上長押しします。

- 本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。



コンピューター側でカットする

1 印刷が終了していることを確認します。

2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

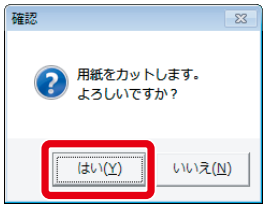
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

3 [プリンタステータス] タブをクリックし、プリンタ制御から [用紙カット] をクリックします。

- [確認] ウィンドウが開きます。

4 ［はい］ をクリックします。

- 本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。



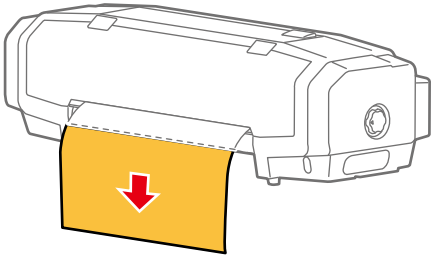
手でカットする

本製品に内蔵されたカッターでカットできないメディアは、以下の手順でカットしてください。

1 印刷が終了していることを確認します。

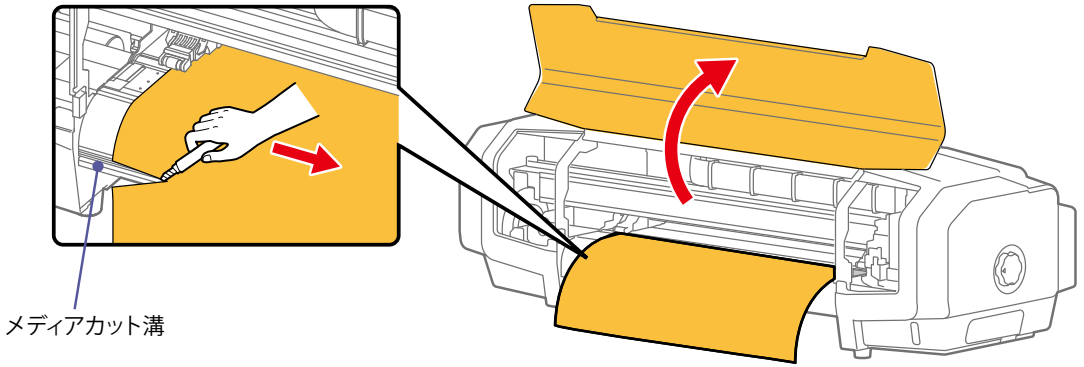
2 印刷結果をカットできる位置まで、メディアを送ります。

☞「メディアの送り／巻き戻し」P.88



3 フロントカバーを開き、市販のカッターでメディアをカットします。

- メディアカット溝に沿って、カットしてください。



4 フロントカバーを閉じます。

自動でカットする

本製品は、印刷が終了すると自動でメディアをカットするように設定することができます。

設定方法は以下をご参照ください。

☞「オートカットの設定」P.97

大容量パックアダプターについて

大容量パックアダプターへの 1,000 ml インクパックの取り付け方法は、大容量パックアダプターの取扱説明書をご参照ください。

はじめて大容量パックアダプターを使用するとき

大容量パックアダプター内の空気がプリンターのインクチューブに入り、ノズルの目詰まりの原因となるため、下記の場合は必ず MSM のリモートパネルから初期充てんを行ってください。

- インク充てん済みのプリンターに、はじめて大容量パックアダプターを取り付けた後
- これまで大容量パックアダプターをご使用の場合で、大容量パックアダプター自体を新品に交換し、プリンターに取り付けた後

初期充てんの手順については、以下をご参照ください。

☞「初期充てんの方法」P.226

プラグ交換について

大容量パックアダプターは、一定回数抜き差しをすると、プラグの交換が必要になります。

関連する手順については、以下をご参照ください。

☞「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.210

ヘッド高さを調整する

ヘッド高さについて

通常は Low で使用してください。Low でヘッド擦れが発生する場合以外は High で使用しないでください。メディアとプリントヘッドの距離が近いほど画質が安定します。

Important !!

メディアの状態や印刷条件によるシワの発生によっては、メディアがプリントヘッドと擦れて汚れることがあります。該当する場合は以下をお試しください。

- ヒーターの設定温度を下げる

「ヒーターの設定」P.102

- プリントヘッドの高さを変えたときは、かならず画質調整を行ってください。

「画質調整（調整印刷）」P.64

- 印刷中にフロントカバーを開けて、ヘッド高さを切り替えないでください。ヘッド高さを切り替えると、画質調整が変わってしまい、印刷品質が保証できません。

ヘッド高さと推奨メディア厚さの関係は次の表を参照してください。

むやみにプリントヘッドを高くすると、メディアとプリントヘッドの距離が広がることで、ミスト化したインクがノズルやメディア、機体内部に付着し、印刷品質の低下や部品の破損を引き起こすことがあります。

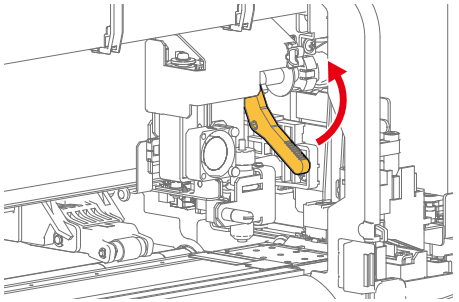
ヘッド高さ	推奨メディア厚さ	最大メディア厚さ	説明
Low	～ 0.3 mm	0.4 mm	通常はこの高さで使用してください。

（通紙可能最大厚さ：0.8 mm）

ヘッド高さを変更する

1 フロントカバーを開きます。

2 レバーを上げて、ヘッド高さを高くします。



3 フロントカバーを閉じます。

4 画質調整を行います。
☞「画質調整（調整印刷）」P.64

Important !!

印刷中にプリントヘッドの高さを変更しないでください。

詳しい設定方法

ご使用に合わせて、本製品の設定を変更することができます。
ここで紹介する機能はごく一部です。MSM の詳しい使用方法は、MSM のマニュアルをご参照ください。

オートカットの設定

印刷が完了すると自動でメディアをカットするように設定することができます。
メディアの幅、厚さ、材質などに合わせて設定します。

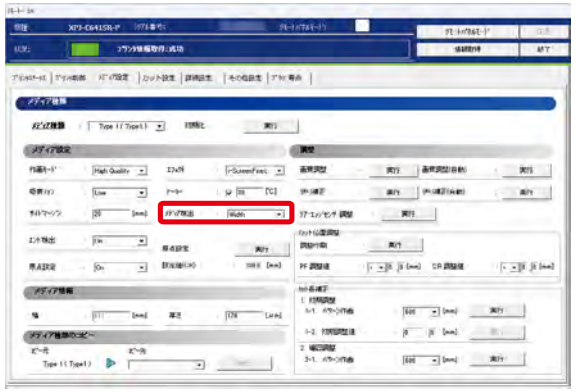
Note

用紙によっては、カットできない場合があります。その場合は手動でカットしてください。

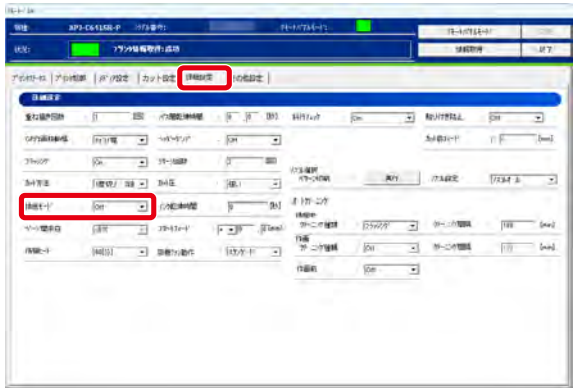
手順

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 ［メディア設定］タブの［メディア検出］メニューで［オフ］以外を選択します。



3 ［詳細設定］タブの［排紙モード］メニューで［オートカット］を選択します。



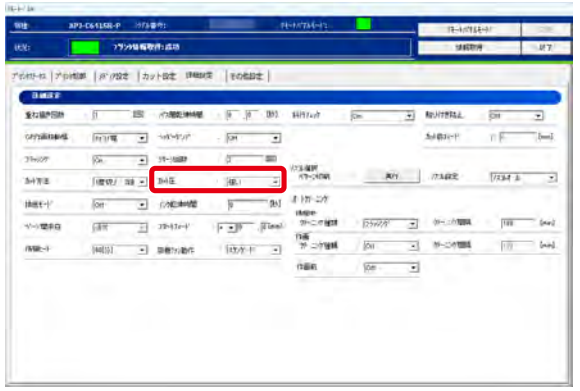
4 ［カット方法］メニューからカット方法を選択します。

［カット方法］には次のモードがあります。

1 度切り 2 段階	「1 度切り 3 段階」よりも少ない工程でカットします。 幅が狭めのメディアに適しています。
1 度切り 3 段階	通常はこのカット方法を使用します。
2 度切り 2 段階	「1 度切り 2 段階」ではカットできない場合に設定します。 幅が狭めのメディアに適しています。
2 度切り 3 段階	「1 度切り 3 段階」ではカットできない場合に設定します。

5 ［カット圧］メニューからカットの強さを［強い］［弱い］から選択します。

- 「弱い」は薄いメディアなどに使用します。



6 ［変更］をクリックします。

- 設定が本製品に反映されます。

吸着ファンの設定

薄いメディアやコシのないメディアに印刷するときは、吸着ファンを弱めると、シワの防止やメディア詰まりの防止に効果があります。

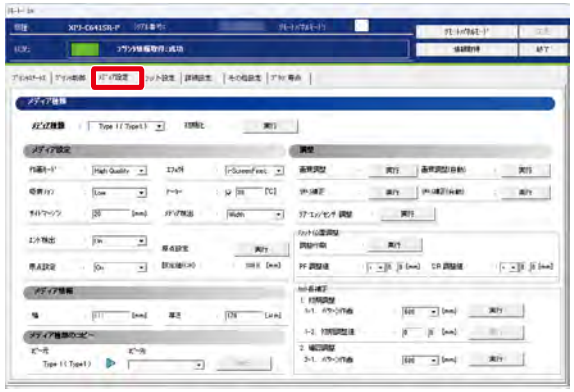
手順

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

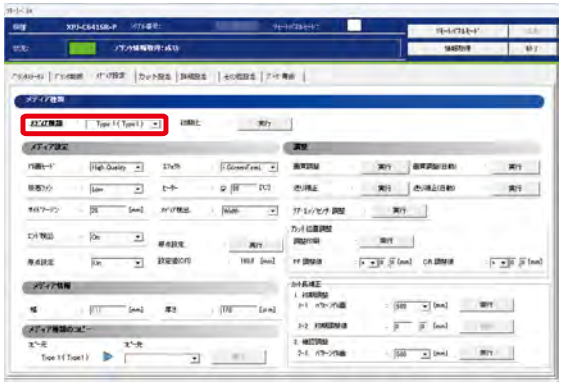
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 ［メディア設定］タブをクリックします。

- [メディア設定] 画面が表示されます。



3 ［メディア種類］を選択します。

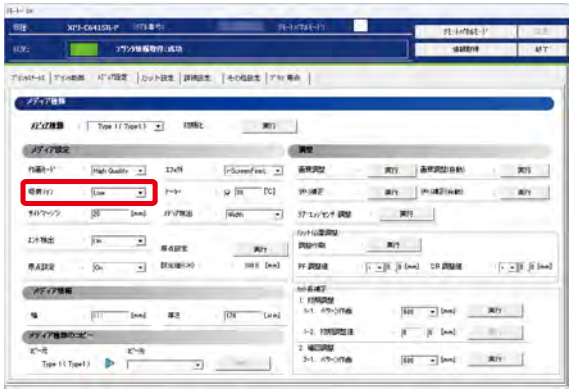


4 ［吸着ファン］を選択します。

- 設定値：Off/Low/Medium/High
＊設定範囲の下線は初期値です。

Note

印刷時は印刷データの設定が優先になります。



5 ［変更］をクリックします。

- 設定が本製品に反映されます。

ヒーターの設定

ヒーターは、印刷の前後などにメディアを温め、画質を向上させたり、乾燥を早める機能があります。メディアの厚さや素材に合わせて、ヒーターの設定を変更すると、よりよい結果を得ることができます。

Important !!

カッティングの場合、ヒーターを「オフ」に設定してください。メディアが高温のままだと、カッティング品質に影響する可能性があります。

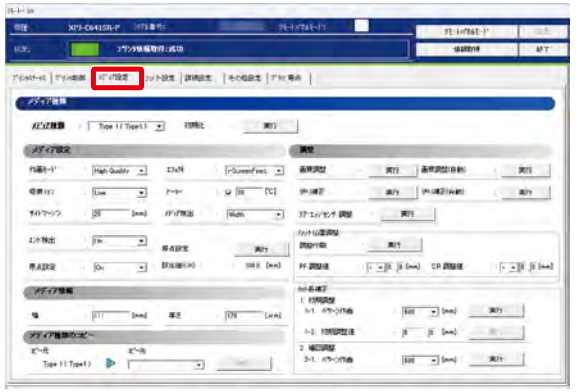
手順

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

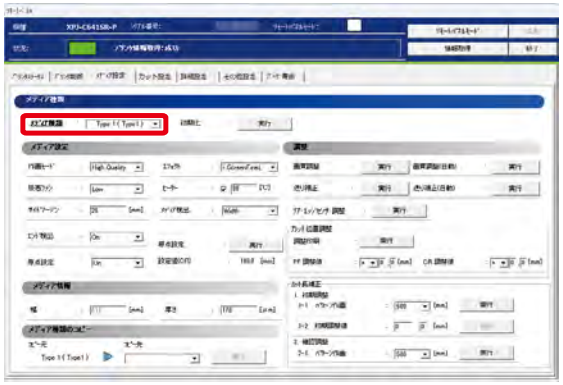
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 ［メディア設定］タブをクリックします。

・［メディア設定］画面が表示されます。



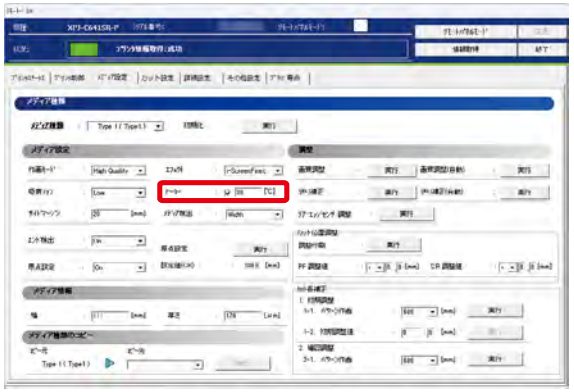
3 ［メディア種類］を選択します。



4 ［メディア設定 ］から［ヒーター］の温度設定を設定します。

- 設定値：Off / 30 - 45℃

＊設定範囲の下線は初期値です。



5 ［変更］をクリックします。

- 設定が本製品に反映されます。

クールダウン設定

「クールダウン設定」をオンに設定すると、ヒーターが冷めるまでクロップマークの読み取りとカッティングを待機します。熱によるカッティング品質への影響を抑えることができます。

手順

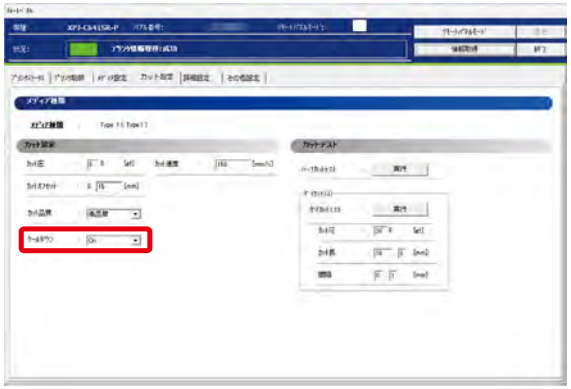
1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 ［カット設定］タブをクリックします。

3 ［クールダウン設定］で [オン] を選択します。

- 設定値：オフ / オン
  ＊設定範囲の下線は初期値です。
- オン：印刷後、プラテン温度が 35 度以下になるまで、クロップマークの読み取りおよびカッティングを待機します。10 分が経過しても 35 度以下にならない場合は、クールダウン動作を終了し次の動作を開始します。
- オフ：印刷後、待機はせずにクロップマークの読み取りとカッティングを開始します。



4 ［変更］をクリックします。

- 設定が本製品に反映されます。

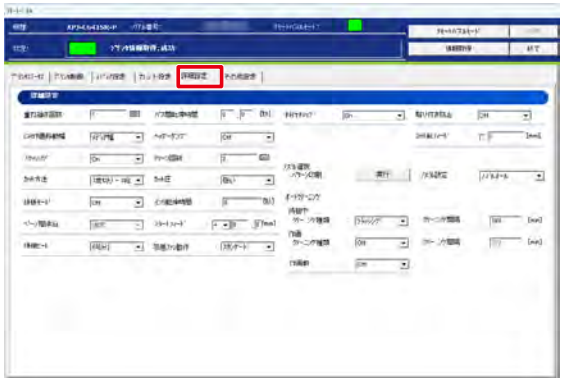
インク乾燥時間の設定

インクの乾燥時間を設定します。

手順

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 ［詳細設定］タブをクリックします。



3 ［インク乾燥時間］で時間 [秒] を入力します。

- 設定値：0 秒～ 3600 秒 (60 分)
  ＊設定範囲の下線は初期値です。

4 ［変更］をクリックします。

- 設定が本製品に反映されます。

ロール紙残量管理

セットしているロール紙の残量管理情報を確認、変更することができます。

Note

- MSM で「メディア検出メニュー」を [オフ] に設定した場合は、ロール紙残量管理メニューは表示されません。
- メディアをセットしていない場合は、ロール紙残量管理メニューは表示されません。
- ロール紙残量管理の「印刷」、または「簡易印刷」を行う場合は、印刷可能領域の幅が 400mm 以上になるように設定してから実行してください。印刷可能領域の幅が 400mm 未満で実行した場合、印刷が行われません。
- 印刷可能領域の幅は、セットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定のヘッド走査方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。

手順

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 ［その他設定］タブをクリックします。

3 [ロール紙残量管理] で、下記を設定します。 3ロールまで管理できます。

1. [ロール紙長さ設定]：ロール紙を選択します。
   - 設定値：オフ / ロール紙 1 / ロール紙 2 / ロール紙 3
     ＊設定範囲の下線は初期値です。

2. [長さ]：セットしているロール紙の長さ [m] を入力します。
   - 設定値：1 m ～ 30 m ～ 200 m
     ＊設定範囲の下線は初期値です。

3. [作画停止]：セットしているロール紙の長さが 0 [m] なった場合、印刷を停止するかどうかを設定します。
   - 設定値：オフ / オン
     ＊設定範囲の下線は初期値です。

Note

- **ロール紙を交換した場合は、ロール紙長さを再度設定してください。 ロール紙長さを設定しないと、ロール紙残量表示が正しく表示されない場合があります。**
- **[作画停止] は、ロール紙長さ設定が有効（オフ以外）になっている場合に有効になります。**

4 [変更] をクリックします。

- 設定が本製品に反映されます。

原点設定

印刷およびカットの原点位置（印刷およびカットの開始点）を変更できます。

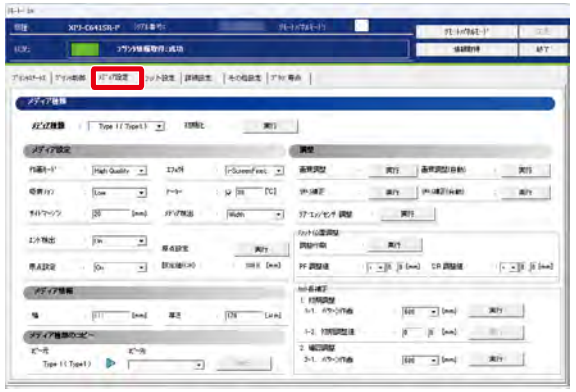
Important !!

- ヘッド走査方向の設定値（CR）はプリンターに保存され、毎回出力に適用されます。
- メディア搬送方向の設定値（PF）はプリンターに保存されません。設定値を保存後にメディアフィードした場合、フィードした位置から出力します。
- 原点設定は、出力位置を変更することでメディアの無駄を減らすことができます。ただし、送り精度が保証できないメディアは使用しないでください。
- 印刷可能領域の幅は、セットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定のヘッド走査方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。

手順

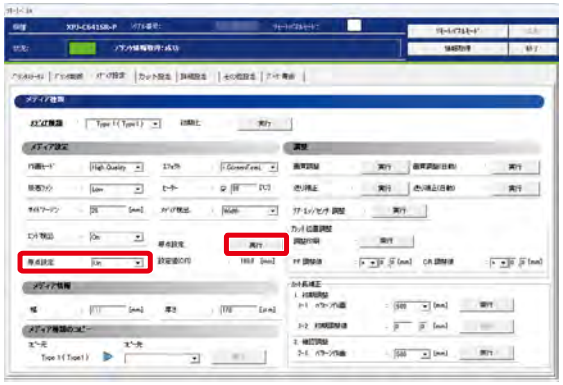
1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 ［メディア設定］タブをクリックします。



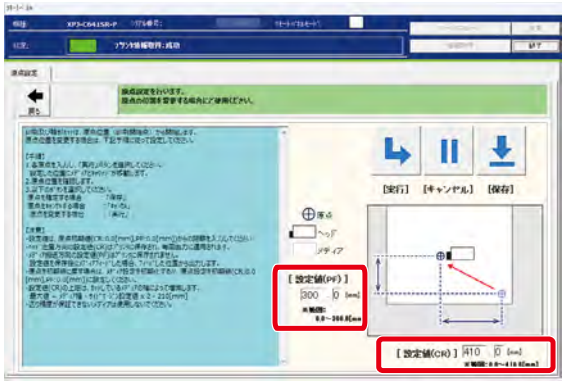
3 ［原点設定 ］で [On] を選択し、［ 実行 ］をクリックします。

- 設定値：Off / On
  ＊設定範囲の下線は初期値です。



4 ［原点設定］画面が表示されます。原点位置の値を入力します。

- 設定値 (PF)：メディア搬送方向
  （設定範囲：0.0[mm] ～ 300.0[mm]）
- 設定値 (CR)：ヘッド走査方向
  （設定範囲：0.0[mm] ～ 380.0*[mm]）
  ＊設定範囲の下線は初期値です。



Important !!

＊設定値（CR）の上限は、セットしているメディアの幅によって増減します。

- 設定値（CR）の設定可能最大値 ＝ メディア幅 － サイドマージン設定値 × 2 － 210[mm]
  例）メディア幅 630 mm、サイドマージン設定 20 mmのとき
  設定値（CR）の設定可能最大値 ＝ 630 － 20 × 2 － 210 ＝ 380[mm]

5 [実行] をクリックします。

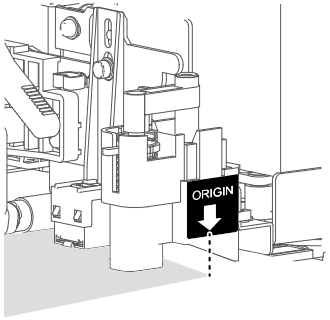
- 設定した位置にメディアとキャリッジが移動します。

6 原点位置を確認します。

- 原点位置を変更する場合は、目標の原点位置になるまで手順４～６を繰り返します。

Important !!

設定値は、原点初期値 (CR:0.0[mm],PF:0.0[mm]) からの距離を入力してください。



7 [保存] をクリックします（①）。

- 原点が変更されます。
- [キャンセル]（②）をクリックすると、メディアとキャリッジが設定前の位置に戻ります。

Note

保存後に原点位置を初期値 (CR:0.0[mm],PF:0.0[mm]) に戻す場合は、「メディア設定」で初期化するか、「原点設定」で設定値を (CR:0.0[mm],PF:0.0[mm]) にしてください。

リア・エッジセンサー調整

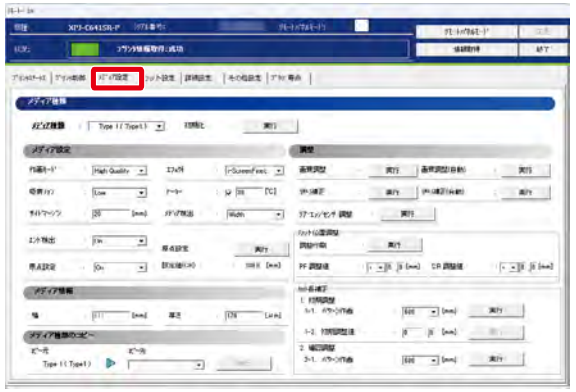
メディアの特性（反射性や黒色など）によって、メディアを読み取るセンサーがメディアを認識できないことがあります。そのような場合は、センサーを調整してください。

手順

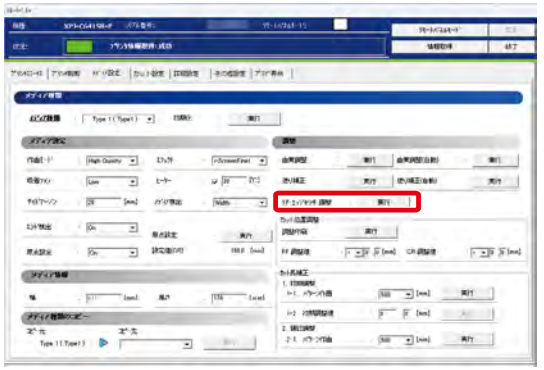
1 メディアをセットします。
☞「メディアをセットする」P.52

2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

3 ［メディア設定］タブをクリックします。



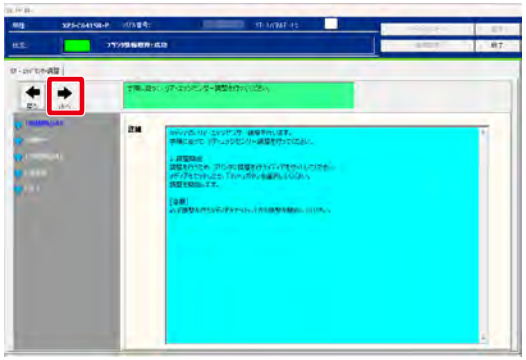
4 [リア・エッジセンサー調整] - [実行] をクリックします。



5 ［次へ］をクリックすると、調整を開始します。

● **調整中にエラーが発生した場合**
調整を中断します。画面に表示されたエラーを改善してから調整を続行してください。

● **調整に失敗した場合**
手順 8 に進みます。

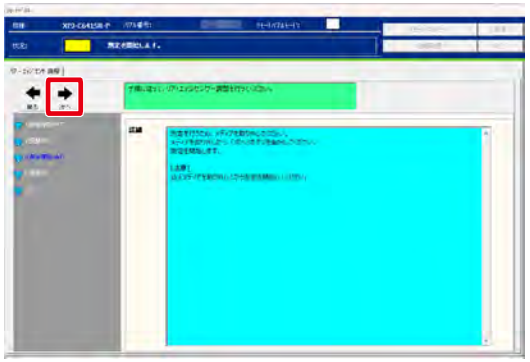


6 [測定開始待ち] が表示されたら、メディアを取り外します。

7 ［次へ］をクリックすると、測定を開始します。

● **測定中にエラーが発生した場合**
調整を中断します。画面に表示されたエラーを改善してから調整を続行してください。

● **測定に失敗した場合**
手順 8 に進みます。



8 [リア・エッジセンサー調整] を終了します。

- [次へ] をクリックすると、[メディア設定] 画面に戻ります。

Note

[リア・エッジセンサー調整] を実施してもセンサーがメディアを認識できない場合は、センサーの検知を無効化すると印刷することができます。

☞「エンド検出」P.116

エンド検出

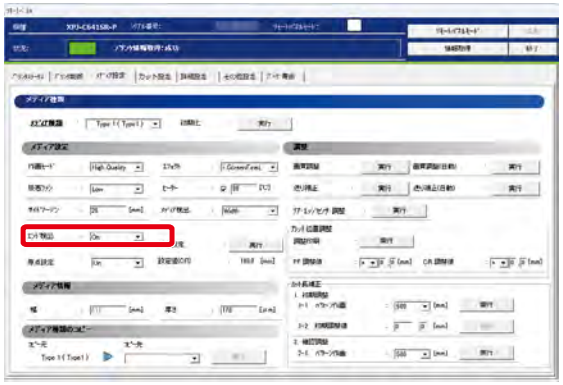
センサーの調整をしてもメディアの読み取りに失敗する場合、[エンド検出] を [オフ] に設定すると印刷できます。ただし、センサーの検知が無効になるため、メディアをセットしていないときや、メディアより大きなデータを扱うときはメディアのない部分（プラテン等）に印刷されることがありますのでご注意ください。

手順

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 [メディア設定] - [エンド検出] を [オフ] に設定します。



Important !!

メディア残量にあわせて印刷を停止したい場合は、「ロール紙残量管理」で設定することができます。[長さ] にメディア残量を入力し、[作画停止] を [オン] にします。[長さ] は残量を超えないよう1m 単位で入力します。例えば、残量が 2.8m の場合、[長さ] は 2m に設定します。

☞「ロール紙残量管理」P.108

カット出力

カットの準備 118
プリントとカットを個別に行う 142
プリント＆カット（連続） 151
カットのみ 153
カット品質の最適化 155

カットの準備

カットの準備の流れ

カットの準備の流れは次のとおりです。

1. **輪郭カット用のカッター刃をカッターホルダーに取り付けます。**

☞「カッター刃をカッターホルダーにセットする」P.119

2. **刃先突き出し量を調整します。**

☞「刃先突き出し量の調整」P.121

3. **カッターホルダーをプリンターに取り付けます。**

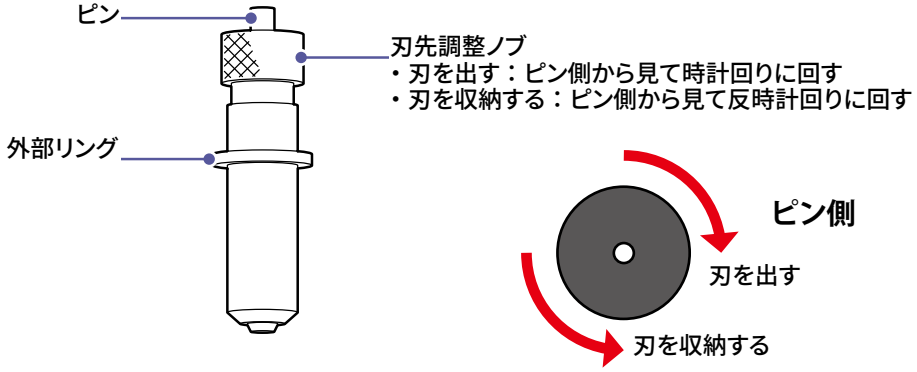
☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123

4. **カットテストを実行し、必要に応じて調整します。**

☞「カットテスト」P.126
☞「輪郭カット位置の調整」P.134

カッター刃をカッターホルダーにセットする

カッターホルダーの各部名称



Note

輪郭カット用のカッター刃は、出荷時はカッターホルダーにセットされています。

注意

上部のピンを押すとカッター刃が飛び出ます。ピンを押すときには、カッターホルダー先端から指を離してください。

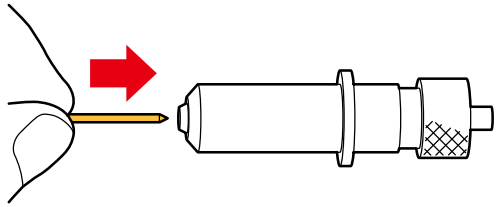
セットの手順

1 カッターホルダーにカッター刃を差し込みます。

・カッター刃を 2/3 以上差し込むと磁力により吸引されます。

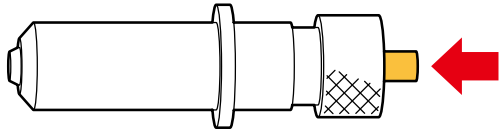
Important !!

紙などのやわらかい物でカッターの先端を軽く押し、カッターがきちんと収まっていることを確認してください。



取り外しの手順

1 カッターホルダー上部のピンを押し、飛び出たカッター刃をつまんで取り外します。



刃先突き出し量の調整

刃先突き出し量の目安

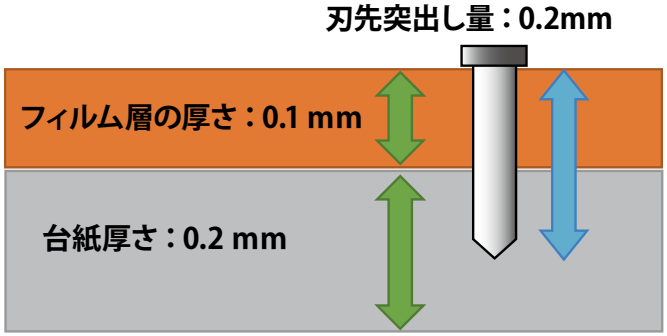
刃先調整ノブ 1 回転あたり：0.5mm

刃先突出し量 =「フィルム層の厚さ」 +「台紙 (はく離紙) の厚さ /2」

刃先突き出し量の例

メディアの厚さ 0.3mm(フィルム層の厚さが 0.1mm で台紙の厚さが 0.2mm) の場合：

刃先突出し量 =0.1mm+(0.2mm/2)=0.2mm



上記を目安にしてカット調整を実施してください。

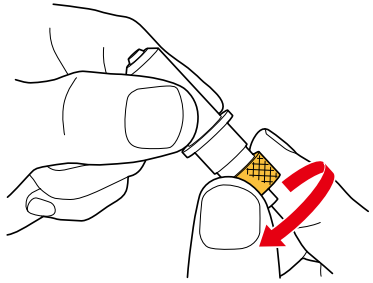
Note

- 上記は、ハーフカットの場合の調整です。ダイカットの場合、台紙を貫通するように調整してください。
  ダイカットの刃先突き出し量＝「フィルム層の厚さ」＋「台紙（はく離紙）の厚さ」＋0.1 mm
- ハーフカット、ダイカットが混在したデータをカットする場合、刃先突き出し量はダイカットの長さに設定してください。

☞「カットの種類」P.137 、「カッティング用データの作成方法」P.139

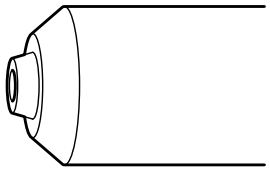
調整手順

1 刃先調整ノブを反時計回りに回して、カッター刃の先端とカッターホルダの先端が同じ高さになるようにします。



Important !!

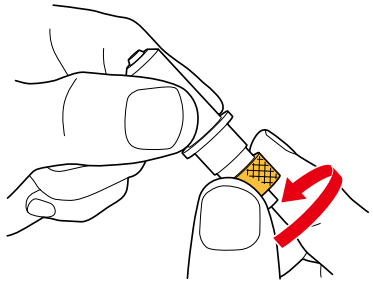
カッター刃がカッターホルダー先端から突出していないこと



2 「フィルム層厚さ」＋「台紙の厚さの半分」を目安に刃先突出量を計算します。

☞「刃先突き出し量の目安」P.121

3 刃先調整ノブを時計回りに回して、カッター刃の先端を出します。



Important !!

- 刃先調整ノブは 1 回転で刃先を、0.5mm 出す（または収納する）ことができます。
- 調整後は、刃先調整ノブを回さないようにしてください。調整を行った刃先突出し量が変わってしまいます。

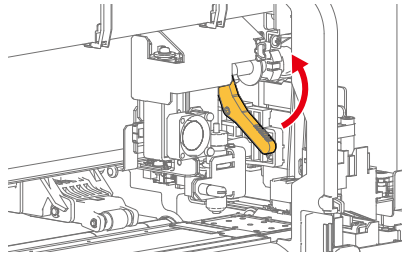
カッターホルダーをプリンターにセットする

1 フロントカバーを開きます。

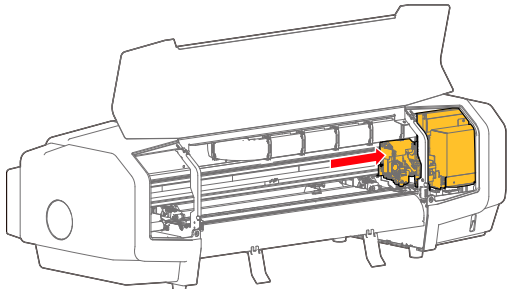
2 レバーを上げて、ヘッド高さを高くします。

Important !!

必ずヘッド高さを高くしてください。プリントヘッドが 加圧アームと接触し破損するおそれがあります。



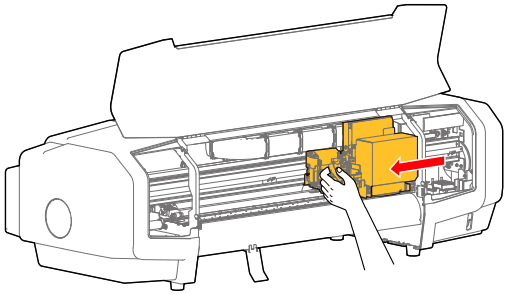
3 キャリッジを押して、キャリッジのロックを解除します。



4 キャリッジをプラテン上に移動します。

Important !!

キャリッジの高さ切換レバーを持って移動させてください。



5 カッターホルダーをプリンターに取り付けます。
(カッター取り付け部は、形状の異なる２種類があります)

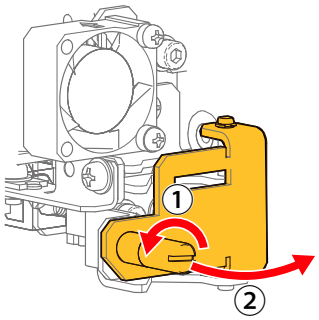
1. ツマミネジを緩めます。

2. ホルダー固定板を開きます。

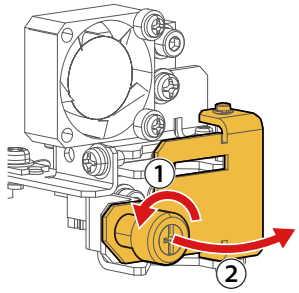
Important !!

ツマミネジをホルダー固定板から取り外さないでください。

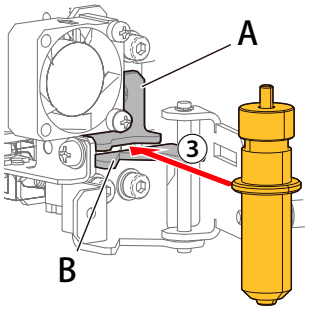
Type1

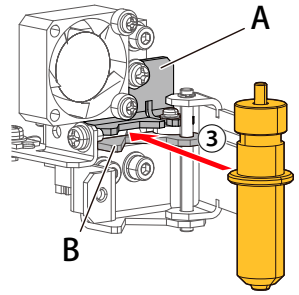


Type2

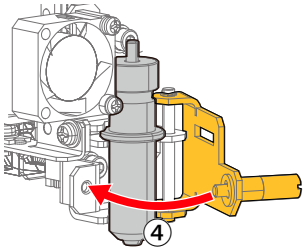


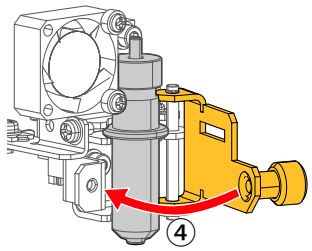
3. カッターホルダーの外部リングを A と B の間にはめ込みます。





4. ホルダー固定板を閉じます。



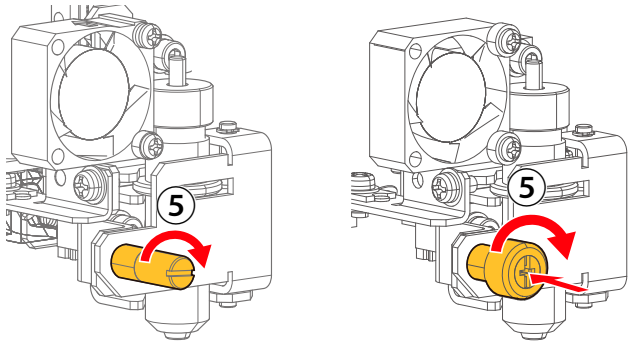


5. ツマミネジを締めます。

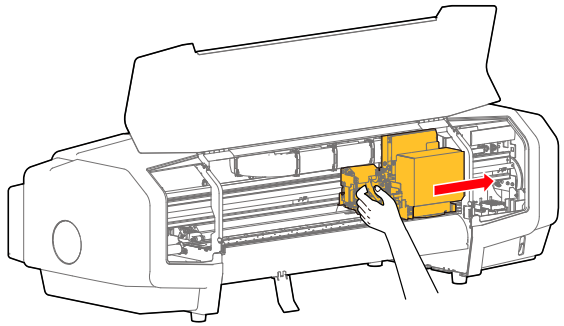
- Type2 の場合、ツマミネジは押し込みながらネジを締めてください。

Important !!

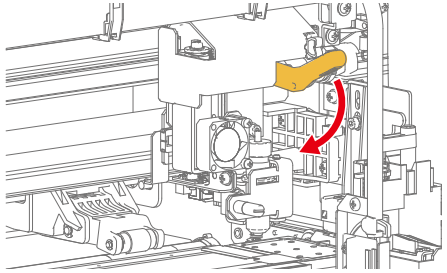
ツマミネジは、ネジ穴に対してまっすぐ入れて締めてください。斜めになっていると、正しく締まらずカッター等が破損するおそれがあります。



6 キャリッジを元の位置に戻してロックします。



7 レバーを下げて、ヘッド高さを低くします。



8 フロントカバーを閉じます。

カットテスト

良好なカットができるように、カットテストを実施しカッティング条件を調整します。使用するメディアに合わせて補整してください。

手順

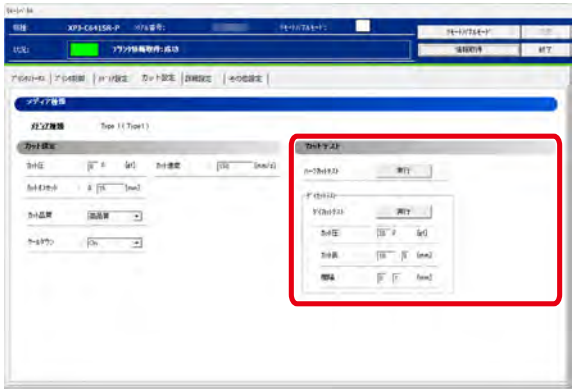
1 カットテストで使用するメディアをセットします。
☞「メディアをセットする」P.52

2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

3 [カット設定] タブをクリックします。

4 [カットテスト] から、カットの種類を選択し、カットテストを実行します。

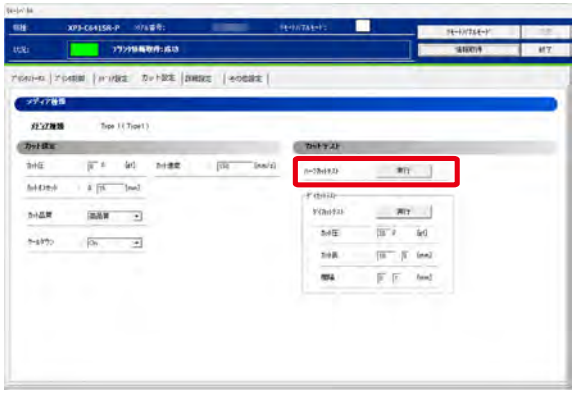
- 「ハーフカットのカットテスト」P.128
- 「ダイカットのカットテスト」P.131



ハーフカットのカットテスト

1 **[実行] をクリックします。**

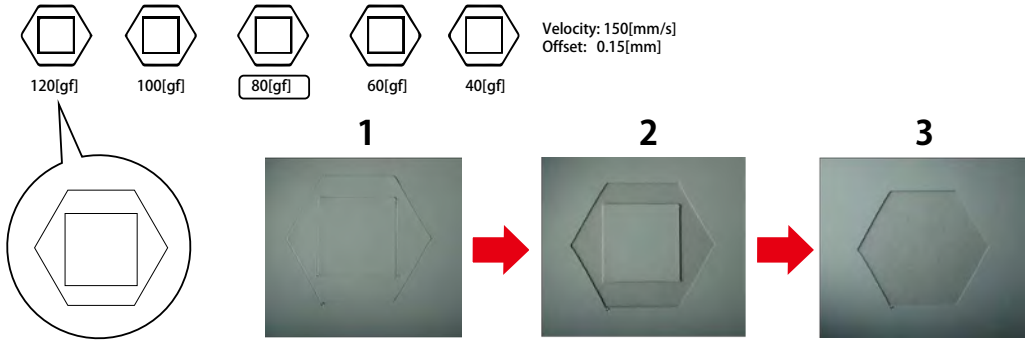
- カットテストモデルがカットされます。



2 **カットテスト結果を確認します。**

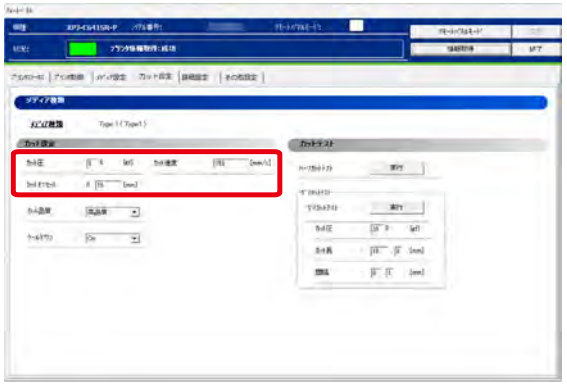
- 現在のカット圧設定値（□で囲まれた数値）を中心に、± 40gf、± 20gf の計 5 パターンがカットされます。すべてのカットテストモデルを確認し総合的に判断します。

1. 四角形の形状を確認する。
2. 外枠を剥がす。
3. 四角形を剥がす。



3 下表を参照し、必要に応じて MSM に設定値を入力します。

	状態	調整	
1. 四角形の形状を確認する	角が丸い	オフセット量	UP
	角にツノが出る		DOWN
	角がめくれる		DOWN
		カット圧	DOWN
2. 外枠を剥がす	外枠のみ剥がれ、四角形が残る	カット圧	**調整不要**
	部分的な切り残し		UP
	四角形が一緒に剥がれる		
3. 四角形を剥がす	はく離紙にカット痕が薄くつく	カット圧	**調整不要**
	はく離紙にカット痕がつかない		**UP**
	はく離紙にカット痕が深くつく、台紙まで切れている		DOWN



4 カット結果に問題がなくなるまで、カットテストと設定値入力を繰り返します。

Note

実際にカットしたいデータを用いてカットした際にはく離が発生する場合は、刃先突出し量 やカット圧を調整してください。

☞「刃先突き出し量の調整」P.121

	状態	刃先突き出し量
1. 四角形の形状を確認する	角がめくれる	減らす
2. 外枠を剥がす	部分的な切り残し	増やす
	四角形が一緒に剥がれる	
3. 四角形を剥がす	はく離紙にカット痕がつかない	増やす
	はく離紙にカット痕が深くつく、台紙まで切れている	減らす

Note

カッティング条件は VerteLith からも変更できます。

☞「カッティング条件を設定する」P.155

ダイカットのカットテスト

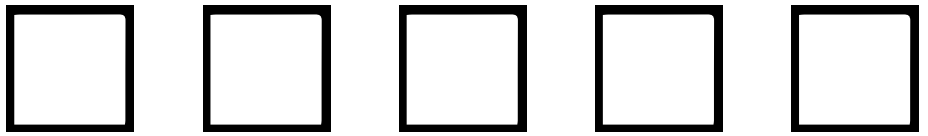
1 **[実行] をクリックします。**

- カットテストモデルがカットされます。

2 **カットテスト結果を確認します。**

- 設定値（□で囲まれた数値）を中心に、± 40gf、± 20gf の計 5 パターンがカットされます。
- すべてのカットテストモデルを確認し総合的に判断します。

1. 四角形の形状を確認する。
2. メディアから切り離す。

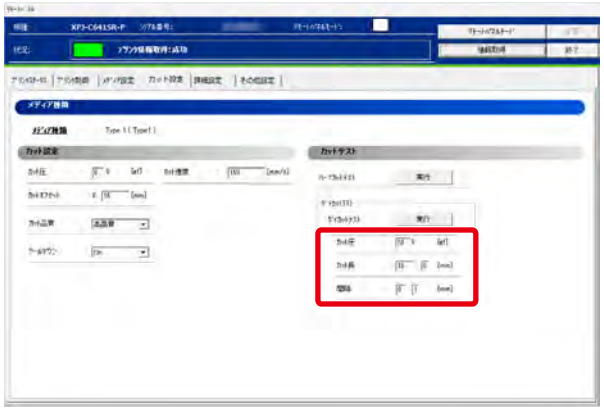


240[gf]　220[gf]　**200[gf]**　180[gf]　160[gf]

Length: 0.5 [mm]
Spacing: 0.2 [mm]

3 下表を参照し、必要に応じて MSM に設定値を入力します。

	状態	調整	
1. 四角形の形状を確認する	角が丸い	オフセット量	UP
	角にツノが出る		DOWN
	角がめくれる		DOWN
		カット圧	DOWN
2. メディアから切り離す	切り離せない	カット圧	UP
		カット長	UP
		間隔	DOWN
	部分的に台紙が残る	カット圧	UP
		カット長	UP
		間隔	DOWN
	カット動作中にメディアから切り離れる	カット長	DOWN
		間隔	UP



4 カット結果に問題がなくなるまで、カットテストと設定値入力を繰り返します。

Note

実際にカットしたいデータを用いてメディアから切り離せない場合は、刃先突出し量を調整してください。

☞「刃先突き出し量の調整」P.121

	状態	刃先突き出し量
メディアから切り離す	切り離せない	増やす
	部分的に台紙が残る	
	カット動作中に切り離れる	減らす

5 見つけた最適な設定値を、VerteLith に入力します。

☞「カッティング条件を設定する」P.155

Important !!

ダイカットの場合、テストカットで MSM に入力した設定値は VerteLith 側に反映されません。必ず Vertelith に設定値を入力してください。

輪郭カット位置の調整

プリント位置とカット線が合うように調整します。使用するメディアに合わせて補整してください。

手順

1 メディアをセットします。
☞「メディアをセットする」P.52

2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

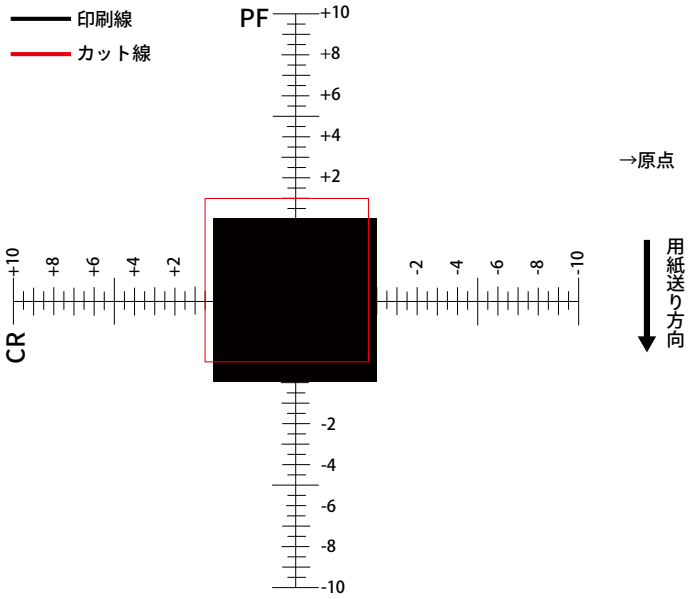
3 [メディア設定] タブをクリックします。

4 **[調整] から [カット位置調整] の [調整印刷] ー [実行] をクリックします。**

- 調整パターンが印刷されます。

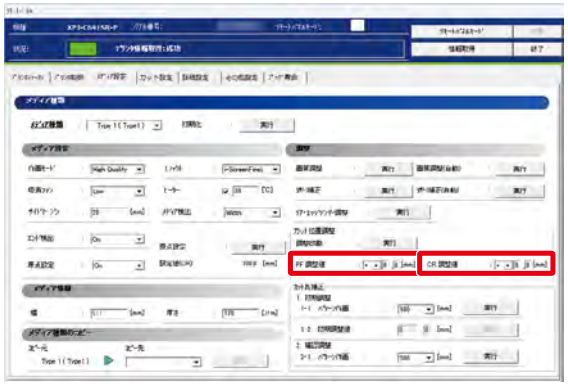
5 **調整パターンのカット位置（赤線）を確認します。**

- カット線（赤線）が、印刷線（黒線）よりはみ出した距離を目視で測ります。調整パターンの一目盛りは 0.5 mmです。
- 下の例の場合、赤線は、PF（タテ）方向に +1.0 mm、CR（ヨコ）方向に +0.5 mmはみ出しています。



6 **測った距離を、MSM の PF 調整値 ([mm]) と CR 調整値 ([mm]) に入力します。**

- 手順 5 の例の場合、PF 調整値に +1.0([mm])、CR 調整値に +0.5([mm]) と入力します。
- すでに調整値が設定されている場合は、現在値に対して設定値を加算して入力してください。

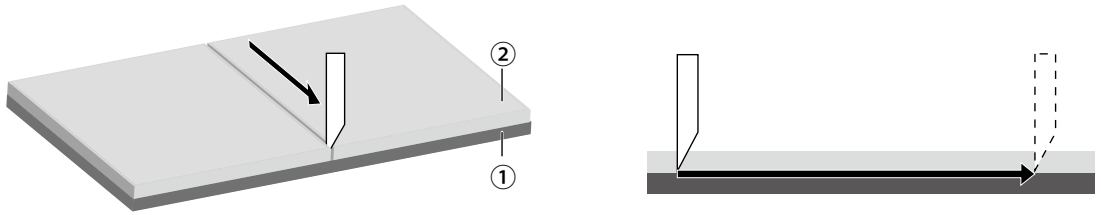


例：

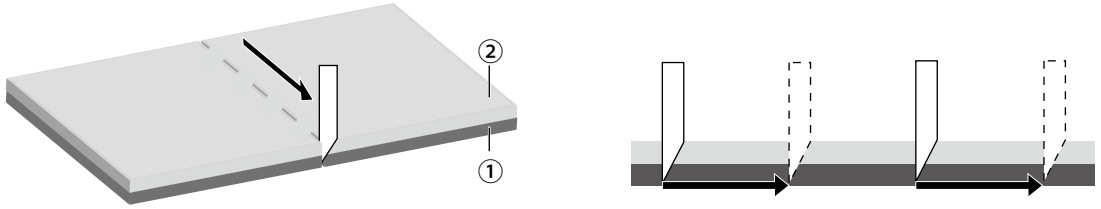
- **現在値に PF=+0.3、CR=-0.2 が設定されている場合**
  上記の調整値 PF=+1.0、CR=+0.5 を現在値に加算し、
  PF 調整値 ([mm])　+0.3+(+1.0)= **+1.3**
  CR 調整値 ([mm])　-0.2+(+0.5)= **+0.3**
  となるように入力します。

カットの種類

●ハーフカット：台紙（①）を残してフィルム（②）をカットします。



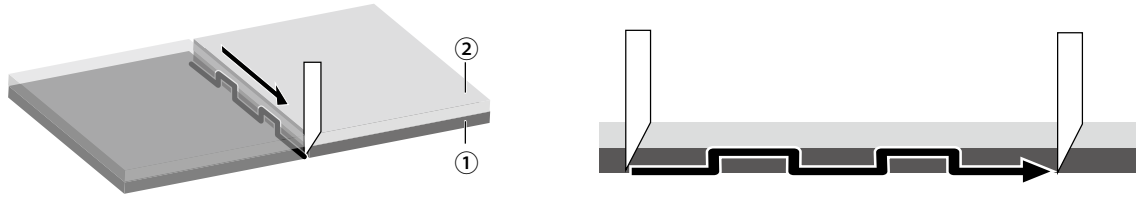
●ダイカット：一部つなぎ目を残すように、フィルム（②）と台紙（①）を切り抜きます。カッティング後に台紙ごと切り離すことができます。



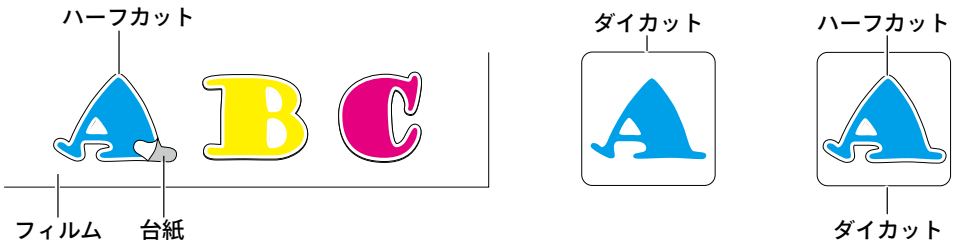
Note

ダイカットの際にフィルム層（②）の輪郭線のつなぎ目をカットする場合は、カッティング条件の「ハーフカット圧」にチェックを入れます。

☞「カッティング条件」P.158



カット例



Note

- 使用するメディアや必要な品質に合わせてカッティング条件を設定してください。
  「カッティング条件を設定する」P.155
- ダイカットを行うと、カッターマットおよびカッター刃先端の劣化が早くなります。

カッティング用データの作成方法

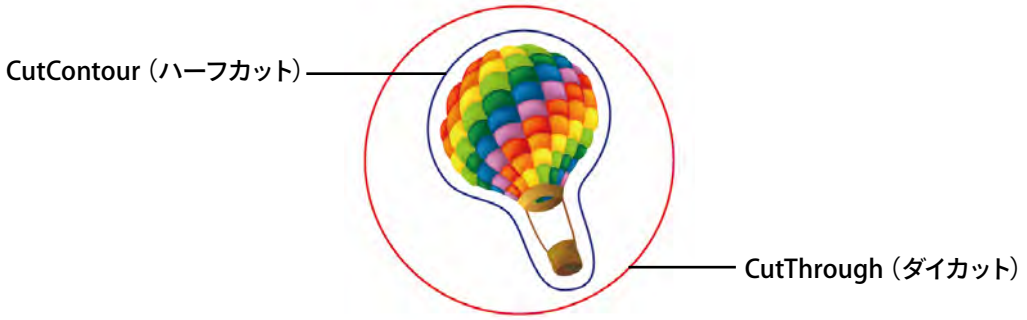
VerteLith がカッティングラインと定義している色をデータに設定します。
以下は Adobe Illustrator でデータを作成する場合の色設定です。カッティングの種類に合わせてスウォッチを新規作成してください。

● ハーフカットの場合

新規スウォッチ	
名前	CutContour
カラータイプ	特色

● ダイカットの場合

新規スウォッチ	
名前	CutThrough
カラータイプ	特色



Note

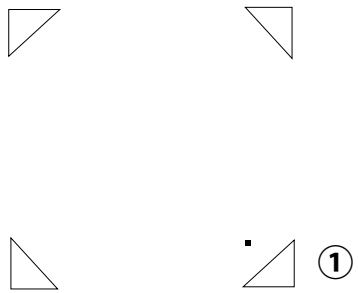
「CutContour1」、「CutThrough_A」などのスウォッチ名も使用可能です。

クロップマークについて

印刷位置とカット位置を合わせるために、グラフィックの周囲にクロップマークを印刷する必要があります。カッティングの際はセンサーがクロップマークを自動検出し、位置合わせをします。

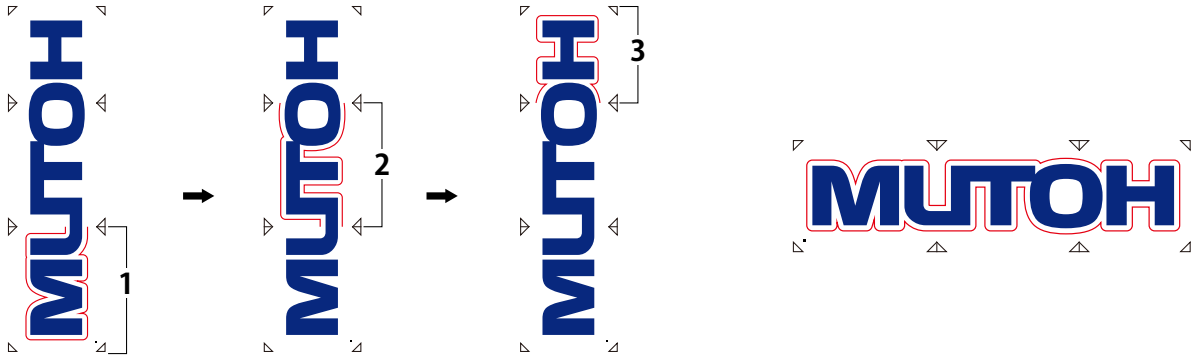
4点補正

標準的なカッティングの場合に使用します。印刷データの四隅にクロップマークを印刷します。手前右隅は原点クロップマークです（①）。



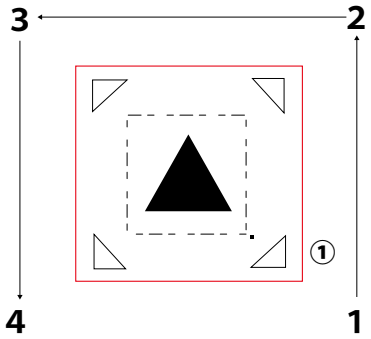
セグメントカット

1mを超える長尺データをカッティングする場合に使用します。データを複数のセグメントに分割し、各セグメントの四隅にクロップマークを印刷します。各セグメントごとに補正して順番にカッティングするため、より精度が高くなります。



マークの検出順番

手前右隅から反時計周りに検出します。原点クロップマーク（①）をプリンターの右手前向き（原点側）にしてメディアをセットしてください。



プリントとカットを個別に行う

印刷後、ユーザーがメディアを取り外しラミネート加工などを行ってから、再セットしてカッティングを行うような場合に使用します。再セット時の位置合わせには、VerteLith で印刷した「クロップマーク」を使います。

作業の流れ

1. **クロップマークつきで印刷します。**

☞「Step1. プリント」P.143

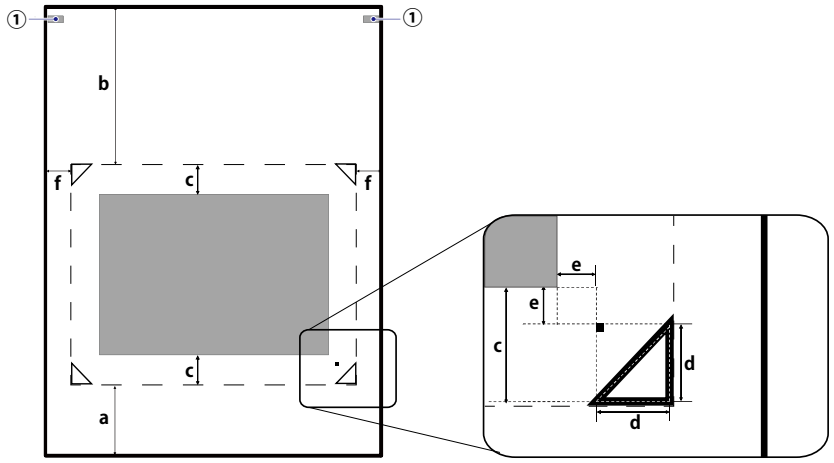
2. **メディアを再セットし、カッティングを実行します。（クロップマーク読み取り）**

☞「Step2. カット」P.149

クロップマークの自動検出に必要なメディアの大きさ

①	ピンチローラー
a	40mm 以上
b	80mm 以上
c (d*+e)	15mm~55mm 以上
d*	10mm / 25mm
e	5mm 以上
f	20mm 以上

* クロップマークサイズは 2 種類あります。



Step1. プリント

Important !!

メディアの送り方向に障害物を置かないでください。メディアの送りが妨げられると、印刷やカットの品質に悪影響があります。

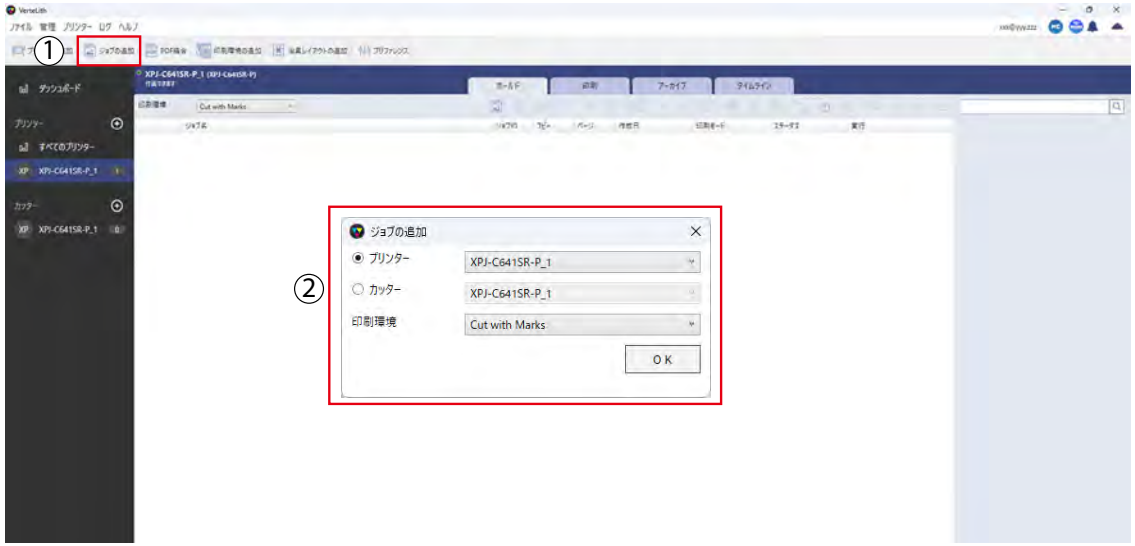
1 メディアをセットします。

「メディアをセットする」P.52

2 VerteLith を起動します。

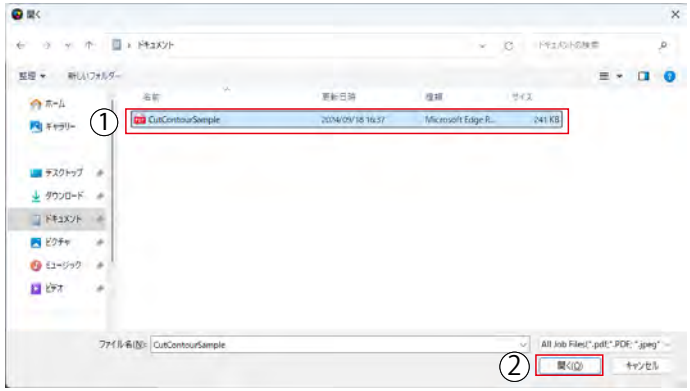
「VerteLith の起動方法」P.37

3 ［ジョブの追加］をクリックします（①）。
ジョブを追加するプリンターと印刷環境を選択し、[OK] をクリックします（②）。

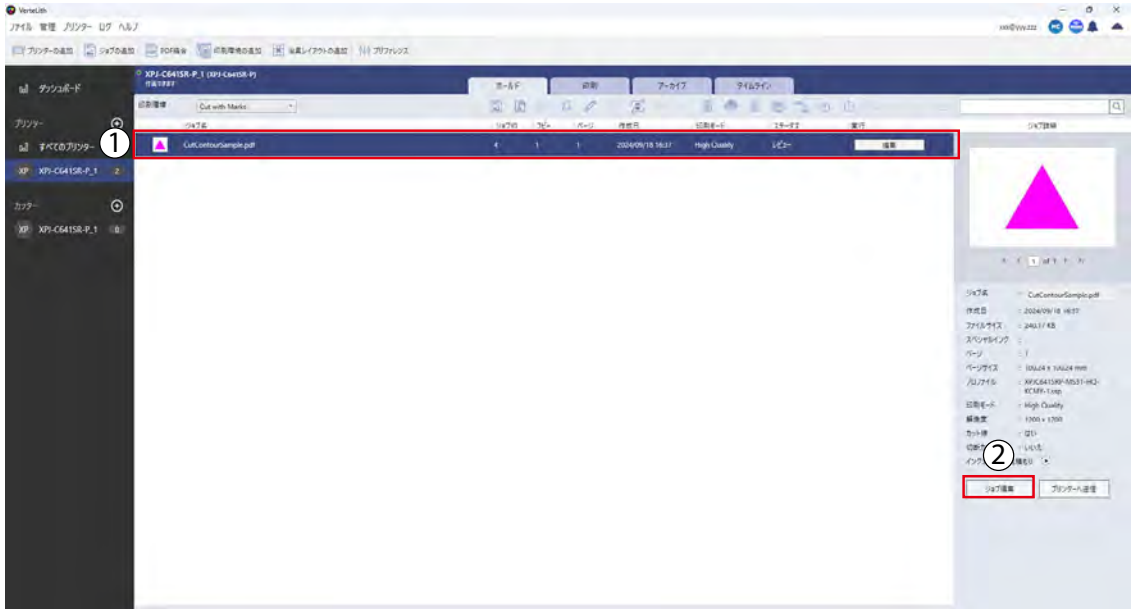


4 カット線を含むデータを選択して（①）、[開く] をクリックします（②）。

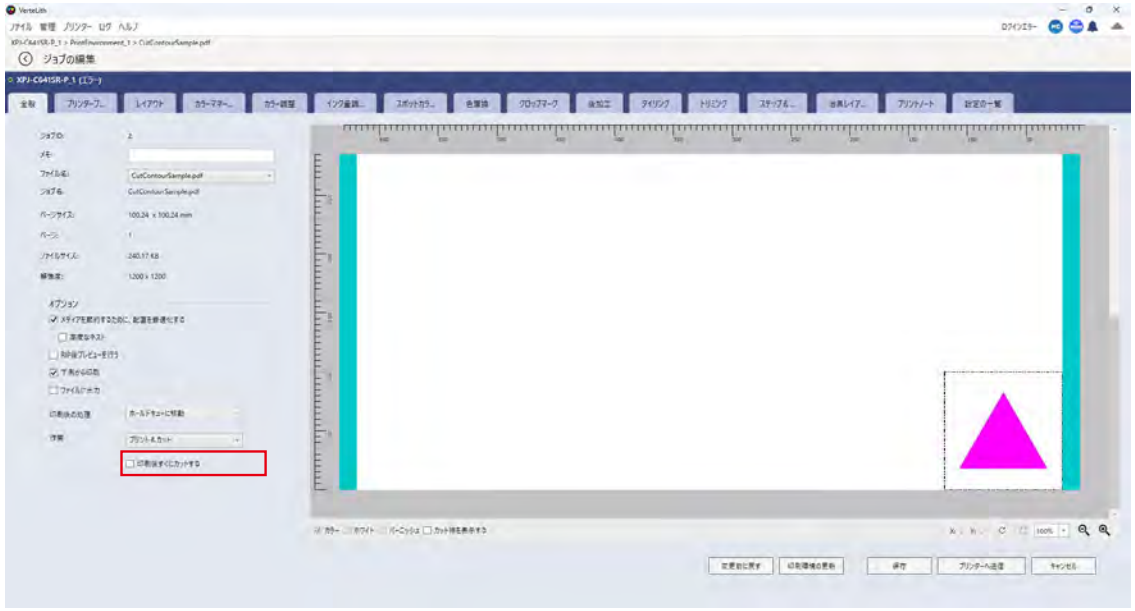
「カッティング用データの作成方法」P.139



5 追加されたジョブを選択し（①）、[ジョブ編集] をクリックします（②）。



6 ［全般］タブの「印刷後すぐにカットする」のチェックはオフにします。



7 クロップマークを設定します。

- ［クロップマーク］タブをクリックします（①）。
- 「クロップマークを有効にする」と「カッター用のクロップマーク」の両方にチェックを入れます（②）。
- 使用するマークを設定します（③）。*1
- 「印刷後フィードする」にチェックを入れ、必要な余白（80mm 以上) を入力します（④）。*2
- [保存] をクリックします（⑤）。

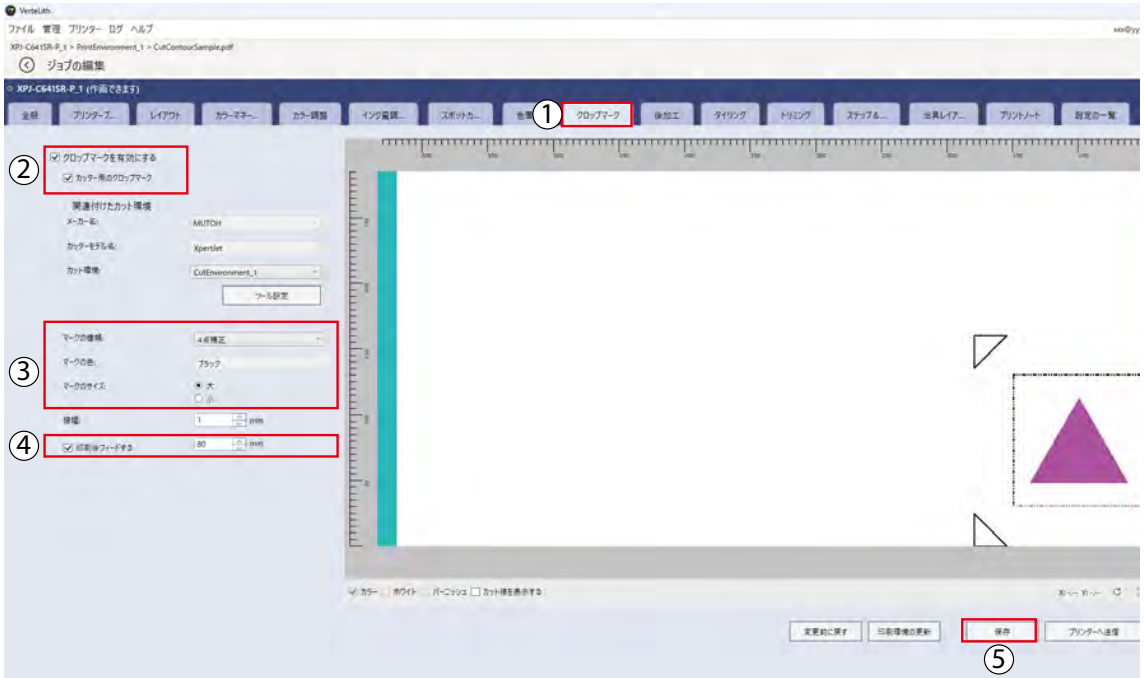
Note

*1 1m を超える長尺データの場合、セグメントカットを選択すると精度が向上します。

「セグメントカット」P.140

Important !!

*2 「クロップマークの自動検出に必要なメディアの大きさ」P.142

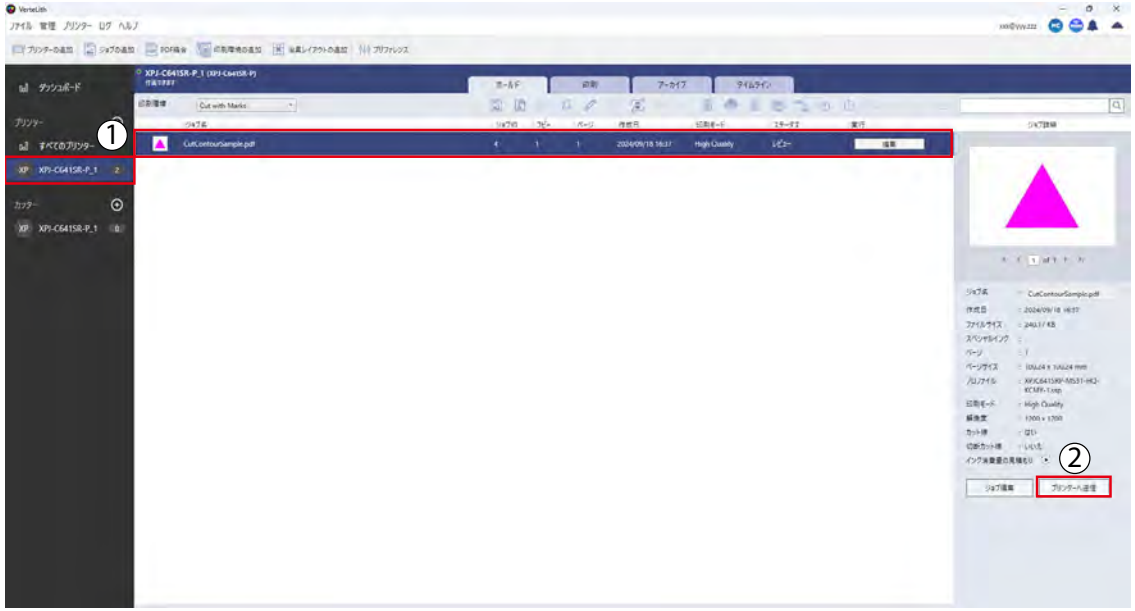


8 **プリンターに追加されたジョブを選択し（①）、［プリンターへ送信］をクリックします（②）。**

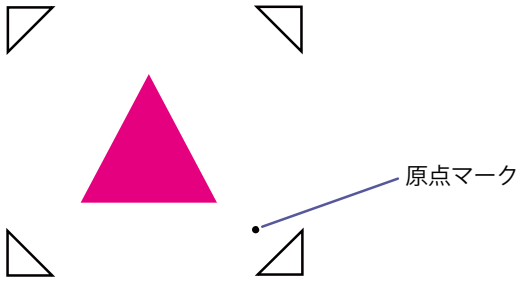
- 送信されたジョブは印刷キューに移動し、印刷が始まります。
- ジョブは印刷完了後にカット環境のホールドキューに移動します。

Note

印刷設定を変更する場合は、［ジョブ編集］をクリックします。



クロップマークつき印刷例



9 メディアを裁断します。

☞「メディアのカット」P.90

Important !!

クロップマーク後端から 80 mm以上の余白が必要です。

☞「クロップマークの自動検出に必要なメディアの大きさ」P.142

Step2. カット

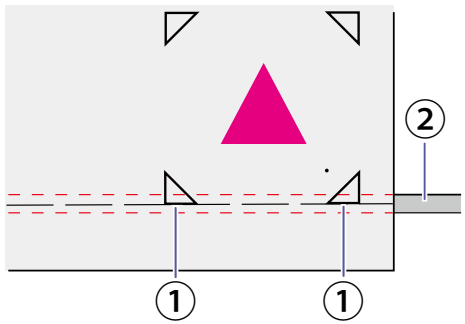
Important !!

- MSM で、下記のように設定してください。
  - メディア検出 :「 Width 」または「 Off 」
  - ヒーター :「オフ」
- 次のような場合、クロップマークを検知できません。
  ①色のついたメディアに印刷されたマーク。
  ②メディアの表面が汚れている。
  ③メディアにシワがある。

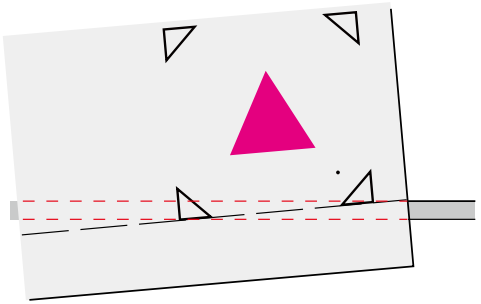
1 クロップマークつきで印刷したメディアをプリンターにセットします。

- 原点クロップマークをプリンターの右手前に向きにします。カッティングマット（②）の上に、手前側２つのクロップマークの底辺（①）が水平にのるようにセットしてください。
- ± 5 度以上傾けないでください。

Good



Not Good



2 **カッターを選択します（①）。カット環境（②）とジョブを選択して（③）、［カッターへ送信］をクリックします（④）。**

- センサーがクロップマークを読み取り、カッティングを開始します。
- カッティング完了後に印刷環境のホールドキューに戻ります。

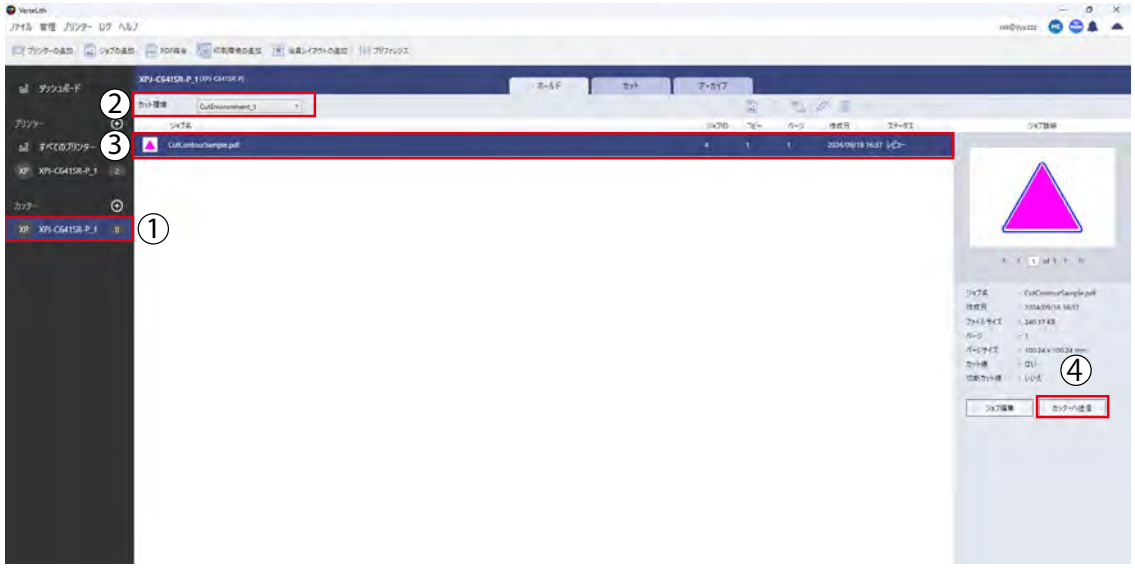
Important !!

クロップマークの読み取りに失敗した場合、エラー LED が点灯します。以下の手順で対処してください。

1. MSM のステータス情報でエラーの内容を確認してください。
☞「メッセージ／エラー／ワーニングを確認する」P.233
2. エラーの内容に合わせて対応してください。
☞「クロップマーク読み取りエラー (メディアセットエラー)」P.239
☞「クロップマーク読み取りエラー (メディア傾きエラー)」P.239
☞「クロップマーク読み取りエラー (マーク＊読み取りエラー)」P.239

Note

カッティング条件を変更する場合は、［ジョブ編集］をクリックします。
☞「カッティング条件を設定する」P.155



プリント&カット（連続）

印刷した後、連続してカッティングを行います。

Important !!

プリント＆カットの場合、以下にご注意ください。

- カッティングを始める前にインクを十分に乾燥させてください。カッティング前にプリンターが待機する時間（乾燥時間）をMSM で設定できます。乾燥時間はメディアによって異なります。

「インク乾燥時間の設定」P.106

- メディアがヒーターで温められたままだと、カッティング品質が低下する可能性があります。「クールダウン設定」で、ヒーターが冷めるまでカッティングを待機させることができます。

「クールダウン設定」P.104

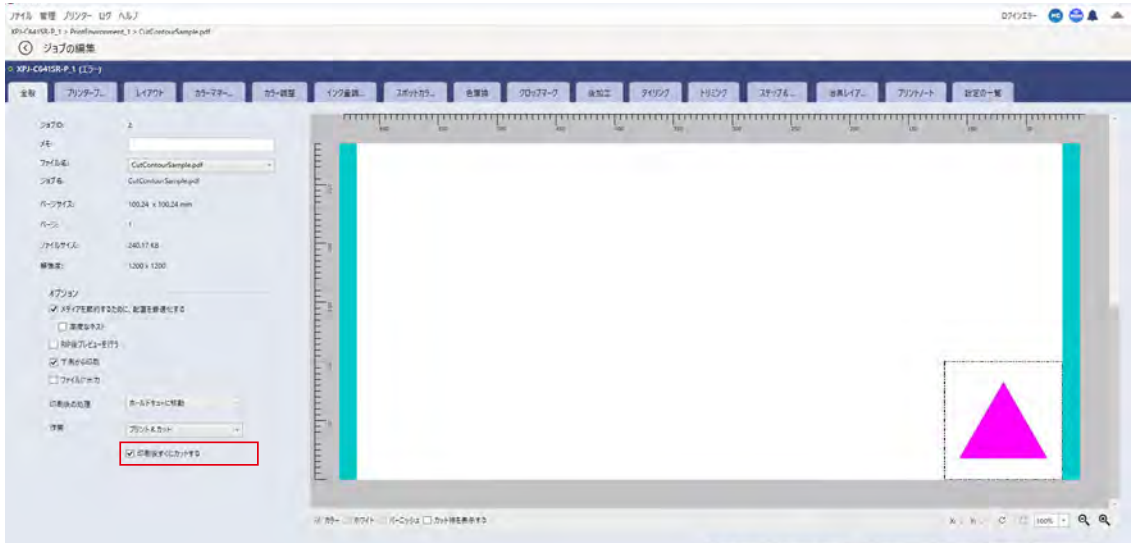
- メディアの送り方向に障害物を置かないでください。メディアの送りが妨げられると、印刷やカットの品質に悪影響があります。

1

- 「プリントとカットを個別に行う」の Step1「プリント」を実行します。

「Step1. プリント」P.143

- [全般] タブの「印刷後すぐにカットする」のチェックはオンにします。



Note

プリント＆カットの場合、クロップマークなしでもカッティングができます。

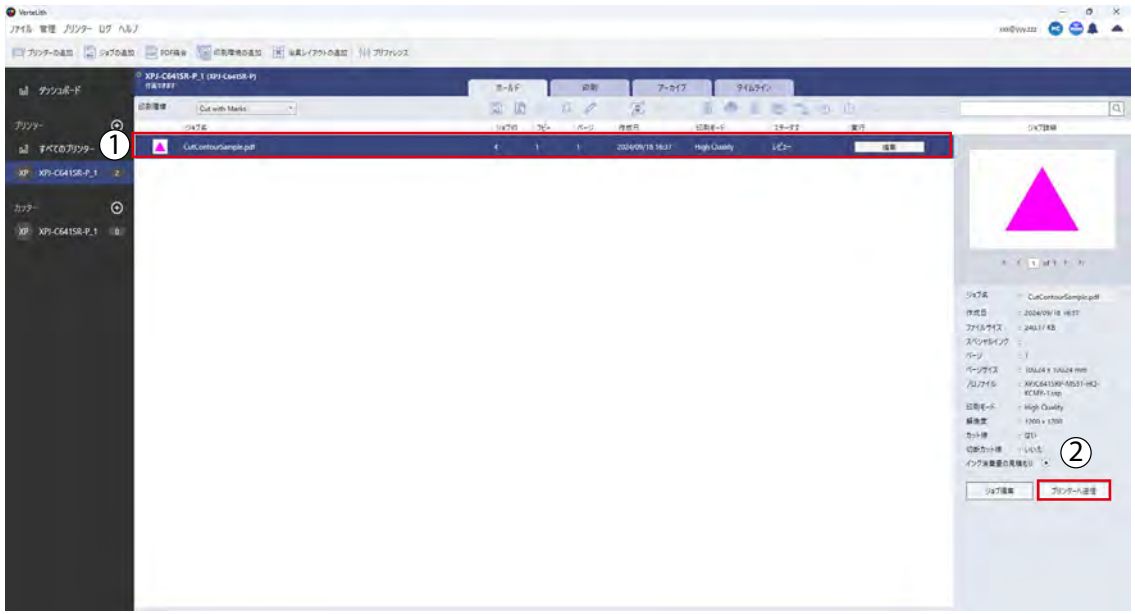
2 **追加されたジョブを選択し（①）、［プリンターへ送信］をクリックします（②）。**

- 送信されたジョブは印刷キューに移動し、印刷が始まります。
- 印刷後、ジョブがカットキューに移動します。
- カッティング完了後、ホールドキューに戻ります。

Note

カッティング条件を変更する場合は、［ジョブ編集］をクリックします。

☞「カッティング条件を設定する」P.155



カットのみ

Important !!

- ヒーターは「オフ」に設定してください。
- メディアの送り方向に障害物を置かないでください。メディアの送りが妨げられると、印刷やカットの品質に悪影響があります。

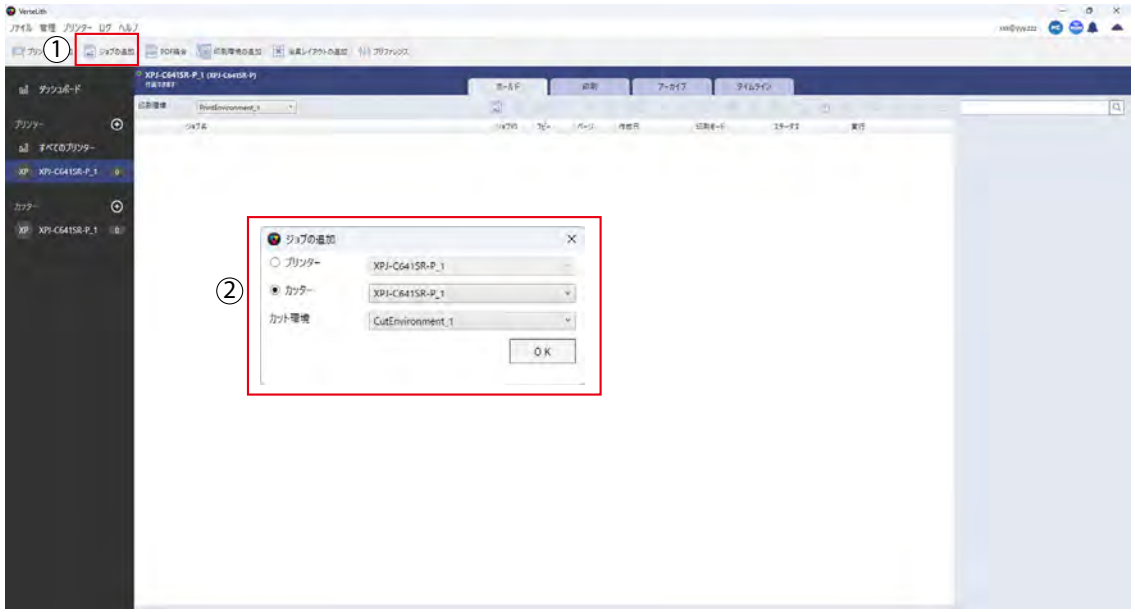
1 メディアをセットします。

☞「メディアをセットする」P.52

2 VerteLith を起動します。

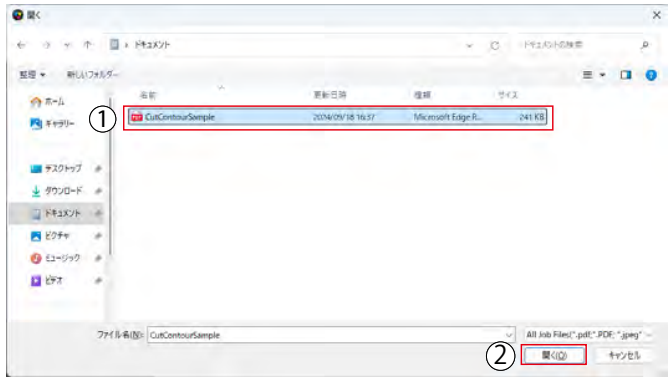
☞「VerteLith の起動方法」P.37

3 ［ジョブの追加］をクリックします（①）。
カッターとカット環境を選択し、[OK] をクリックします（②）。



4 カット線を含むデータを選択して（①）、[開く] をクリックします（②）。

「カッティング用データの作成方法」P.139



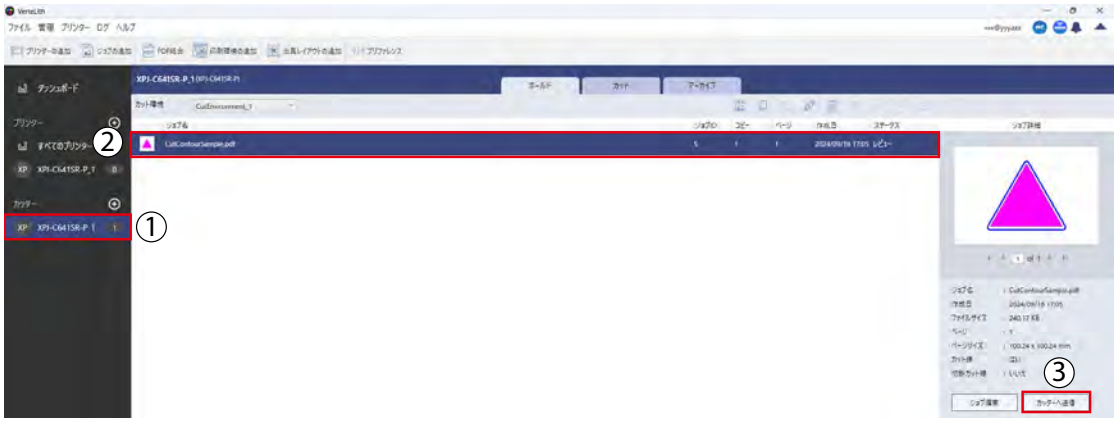
5 カッターを選択します（①）。ジョブを選択して（②）、［カッターへ送信］ をクリックします（③）。

- 送信されたジョブはカットキューへ移動し、カッティングが始まります。
- カッティング完了後、ホールドキューに戻ります。

Note

カッティング条件を変更する場合は、［ジョブ編集］ をクリックします。

「カッティング条件を設定する」P.155



カット品質の最適化

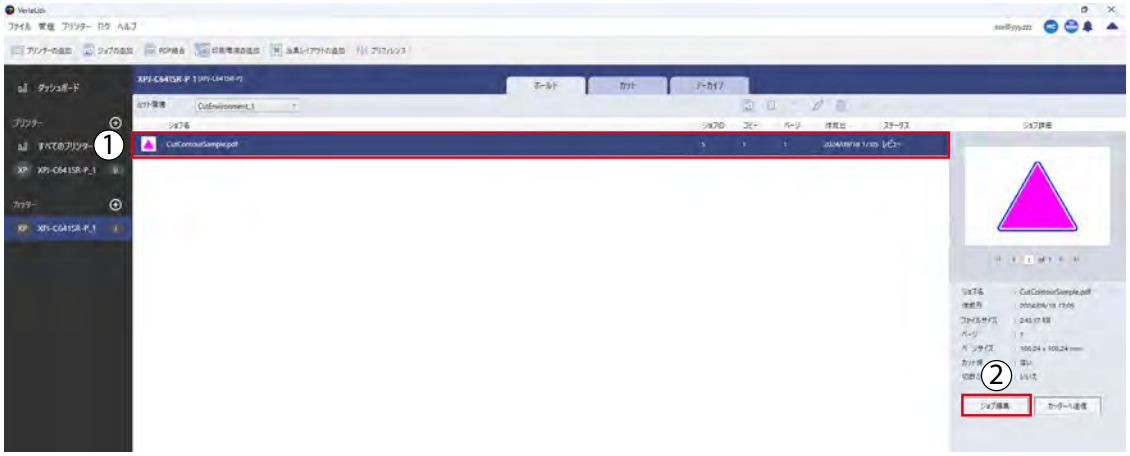
使用するメディアやカットの形状に合わせて、カッティング条件を細かく設定することができます。カッティングの前に、カットテストと設定値入力を何度か繰り返して、適切な設定値を探してください。

カッティング条件を設定する

設定手順

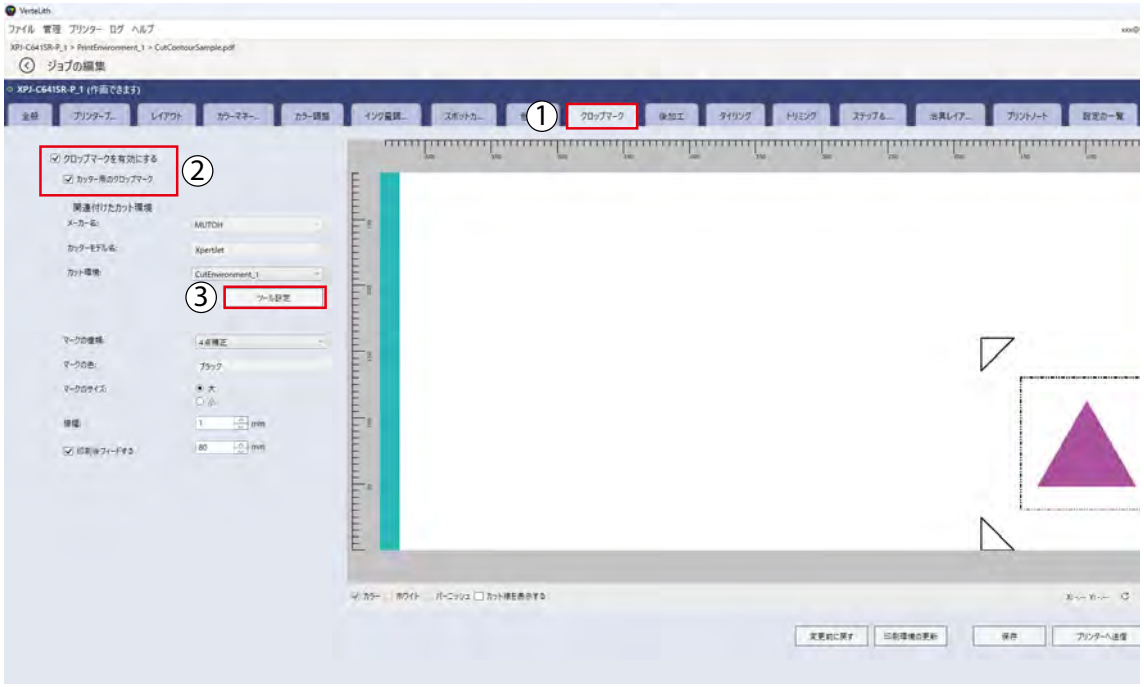
1 カットテストを実施し、テスト結果を確認します。
☞「カットテスト」P.126

2 ジョブを選択して（①）、［ジョブ編集］をクリックします（②）。



3

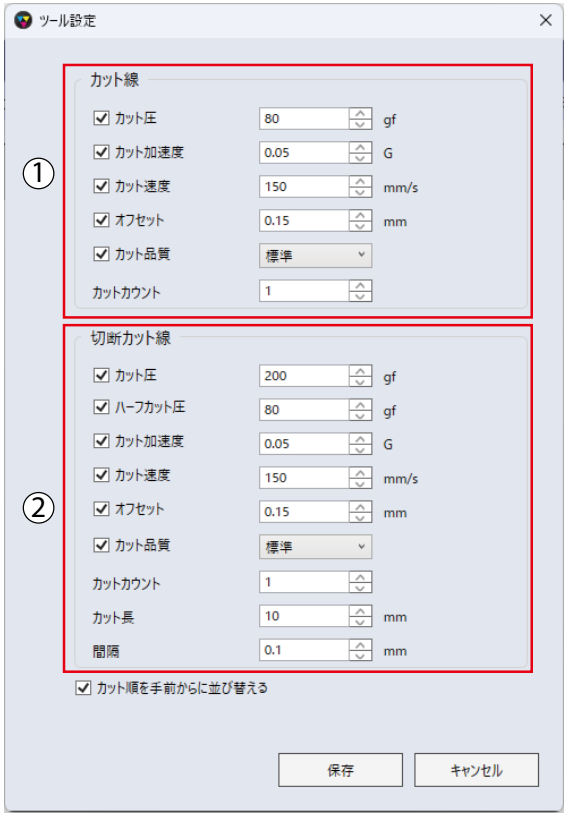
- クロップマークタブを選択します（①）。
- ［クロップマークを有効にする］と［カッター用のクロップマーク］にチェックを入れます（②）。
- 「ツール設定」をクリックします（③）。



4 変更したい項目にチェックを入れ、設定値を入力します。

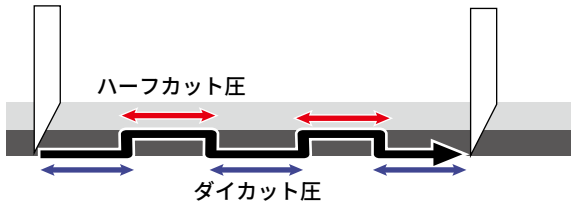
☞「カッティング条件」P.158

- ①カット線：ハーフカットの設定項目
- ②切断カット線：ダイカットの設定項目



画像内の数値はいずれも初期値です。

●カッティング条件

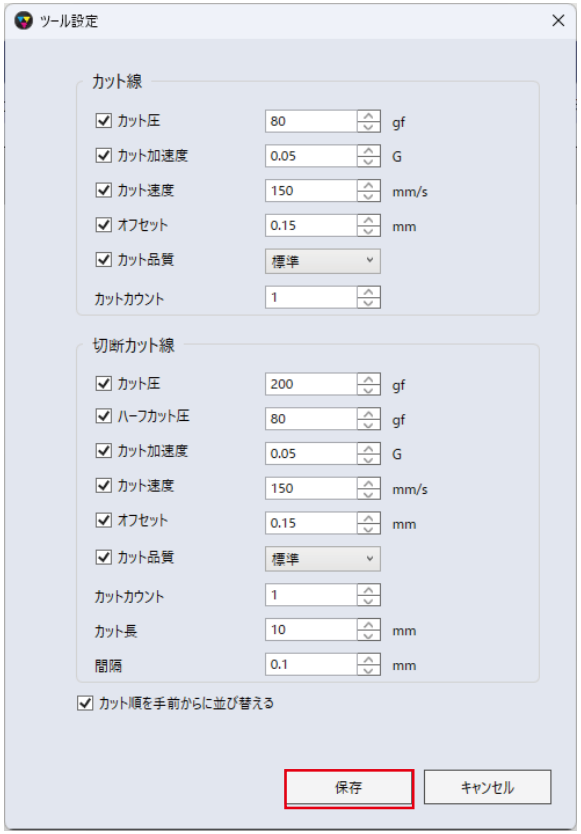
設定項目	設定範囲	内容
カット圧 [gf]	**30-300**	カッターがメディアにかける圧力です。 • ハーフカットの場合：強すぎるとメディアにカッターホルダーの痕がついたり、台紙まで切り抜いてしまいます。 • ダイカットの場合：強すぎると刃先の寿命が短くなります。
ハーフカット圧 [gf]	**30-300**	チェックを入れると、ダイカットの際にフィルム層の輪郭線のつなぎ目をカットします。ハーフカットのカット圧を入力します。チェックを外すと、通常のダイカットが実行されます。  強すぎるとメディアにカッターホルダーの痕がついたり、台紙まで切り抜いてしまいます。
カット加速度 [G]	**0.05-0.50**	カッターの加速度です。大きすぎるとカット線がずれたりゆがんだりします。小さい方が精度が高くなります。
カット速度 [mm/s]	**20-150**	カッターの移動速度です。速すぎるとカット線がずれたりゆがんだりします。遅い方が精度が高くなります。
オフセット量 [mm]	**0-0.5**	カッターホルダーの中心線から刃先までの距離です。適切でないと角がめくれます。大きすぎるとツノができたりします。小さすぎると角が丸くなります。
カット品質	**高品質** **標準** **高速**	曲線部分のカッティング条件を3種類のモードに設定することができます。カットデータに含まれる曲線の緩急や量、必要なカットの品質に合わせて選択してください。
カットカウント	**1-9**	同じ場所をカットする回数です。メディアの厚さや硬さに応じて増やすと有効な場合があります。
カット長 [mm]	**0.1-100.0**	（ダイカットのみ）カットする部分の長さです。
間隔 [mm]	**0.1-10.0**	（ダイカットのみ）カットしない部分の長さです。
カット順を手前からに並び替える		手前から順にカットするようにカット順を並び替えます。チェックを外すと、カットデータを作成したデザインツールで指定した順序でカットします。

Important !!

- 「カット速度」と「カット加速度」が速いほどカッティングの品質は悪化します。必要な品質に合わせて調整してください。
- カッティング条件を調整しても、適性でないメディアを使用すると、カッターの寿命が短くなったり破損するおそれがあります。

☞「使用できるメディアの条件」P.40

5 「保存」をクリックします。



曲線部分のカット品質

曲線部分のカッティング条件を以下の 3 モードに設定することができます。カットデータに含まれる曲線の緩急や量、必要なカットの品質に合わせて選択してください。

高品質	カットデータに急な曲線が多く、速度よりも曲線部分のカット品質を優先したい場合。
標準	カットデータに緩やかな曲線が多く、カット品質と速度のバランスを取りたい場合。
高速	カットデータが直線中心で、カット品質よりも速度を優先する場合。

Note

カットデータに含まれる曲線の緩急や量によって、総合的なカットの速度に差が出ない場合があります。

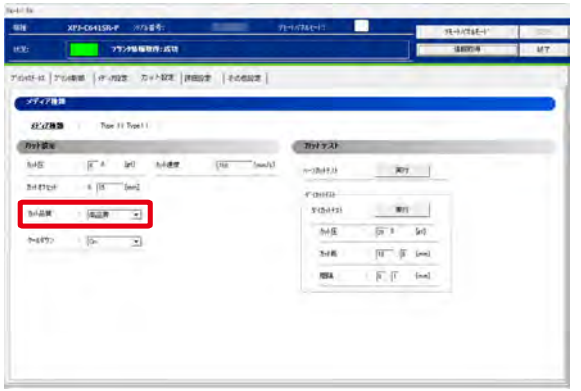
設定手順

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「リモートパネルの表示方法」P.28

2 [カット設定] タブをクリックします。

3 [カット品質] でモード (高品質 / 標準 / 高速) を選択します。



4 ［変更］をクリックします。

- 設定が本製品に反映されます。

カット長補正

キャリッジ移動方向のカット位置の距離を補正します。

以下の症状が見られる場合は、調整してください。

- 反原点側のカットが印刷とズレたとき。

カット長補正の手順

1. 初期調整

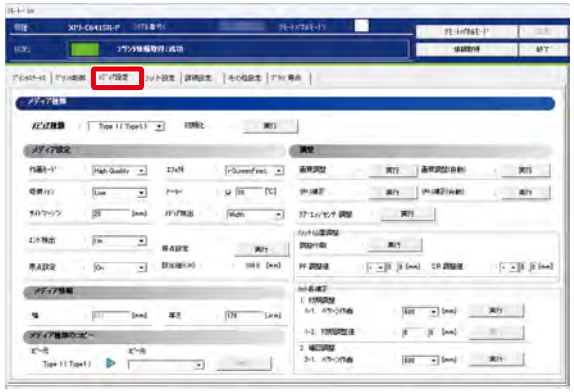
1 メディアをセットします。

☞「メディアをセットする」P.52

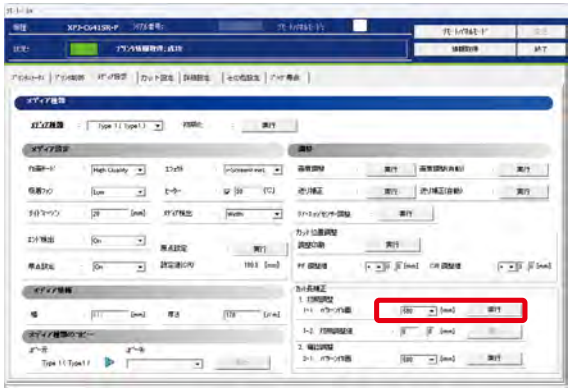
2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

3 ［メディア設定］タブをクリックします。



4 [カット長補正] ー［1. 初期調整］ ー［1-1. パターン作画］で、印刷するパターンの幅（[mm]）を選択し、［実行］をクリックします。

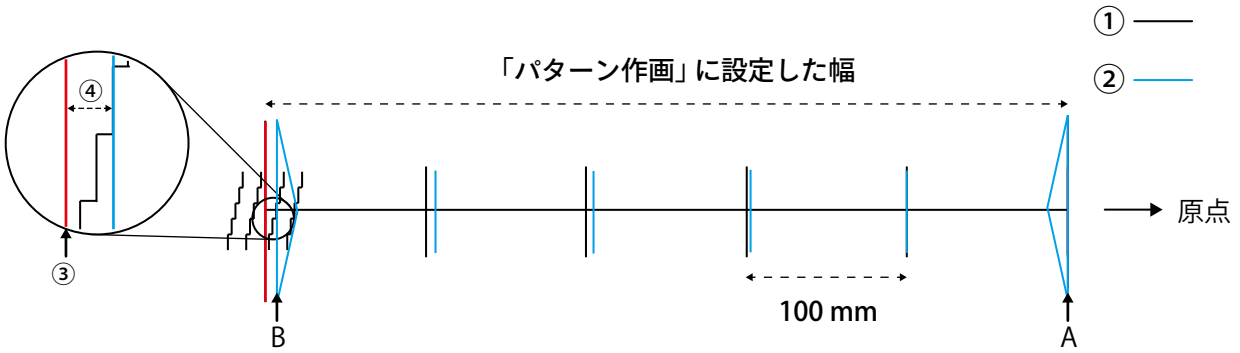


- 選択した幅のパターンが印刷およびカットされます。

5 パターン左側の階段状の目盛り線を使って、基準線（③）とカット線（B）の距離（④）を測ります。
（階段状の目盛り線の幅：1段 0.1 mm）

- 印刷線：①
- カット線：②

（イラストでは基準線を赤色で示しています。実際は黒色で印刷されます）

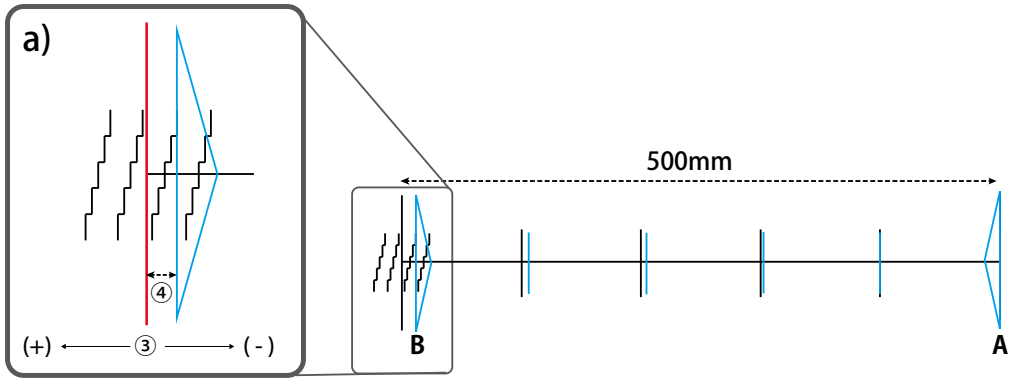


Important !!

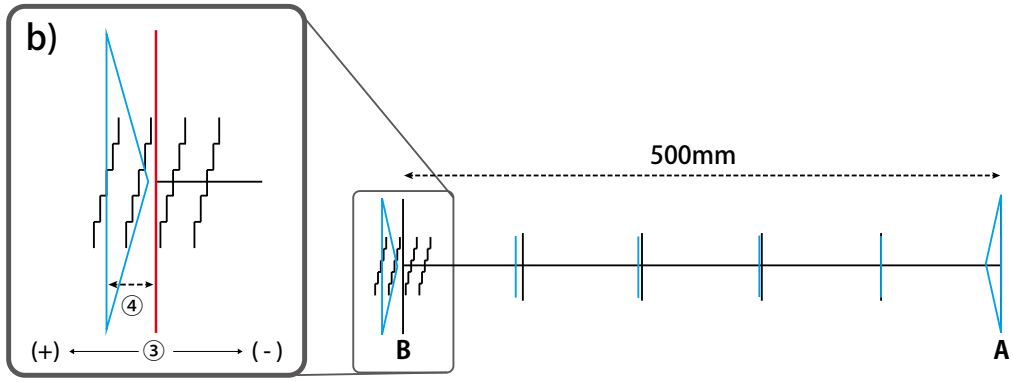
原点側の印刷線とカット線（A）がズレている場合は、「輪郭カット位置の調整」 P.134 でカット位置を調整してください。

6 初期調整値＝パターンの幅（mm）＋　基準線とカット位置の距離（④ ＝ 目盛りの縦線数× 0.1 mm ）

例 a) パターンの幅が 500 mm、カット位置が基準線（③）から原点側に目盛りの縦線５本分ズレている場合：
④ ＝ -5 × 0.1 mm＝ -0.5 mm
初期調整値＝ 500 mm - 0.5 mm＝ 499.5 mm

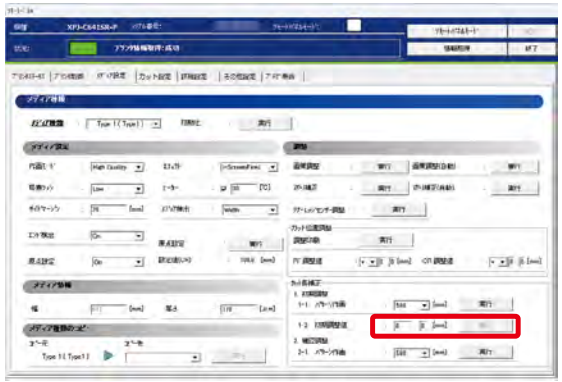


例 b) パターンの幅が 500 mm、カット位置が基準線（③）から反原点側に目盛りの縦線８本分ズレている場合：
④ ＝ 8 × 0.1 mm＝ 0.8 mm
初期調整値＝ 500 mm + 0.8 mm＝ 500.8 mm



7 初期調整値を、[1-2. 初期調整値] の長さ（[mm]）に入力し、[実行] をクリックします。

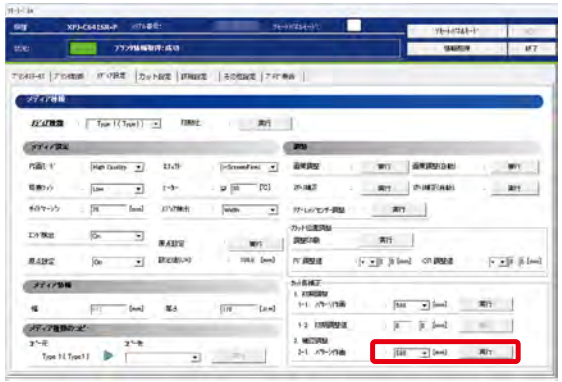
- 初期調整値が保存されます。
- 「2. 確認調整」P.165 に進んでください。



2. 確認調整

1 [カット長補正] ー [2. 確認調整] ー [2-1. パターン作画] [mm]）で、印刷するパターンの幅を選択し、[実行] をクリックします。

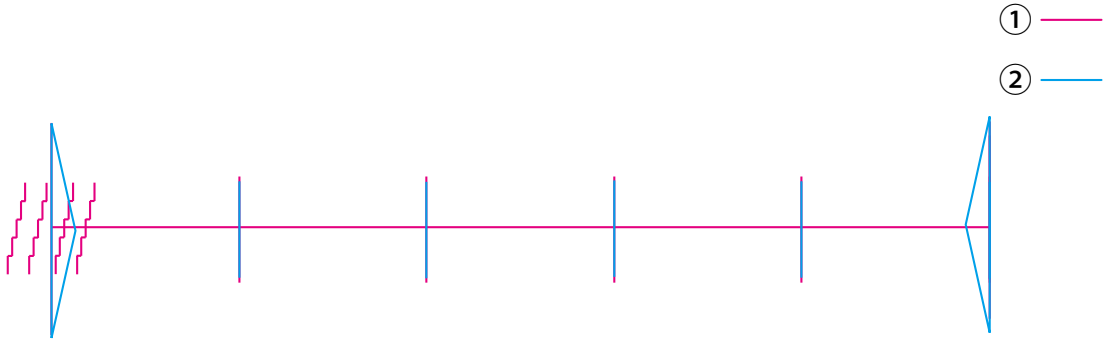
- 選択した幅のパターンが印刷およびカットされます。



2 パターンを見て、印刷線（①）とカット線（②）が同じ位置にあるか確認します。

- 印刷線：① *
- カット線：②

* 確認調整パターンの印刷線はマゼンタで印刷されます。



3 ズレている場合は、「1. 初期調整」P.162 で再補正してください。

メンテナンス

メンテナンスについて 168
インクの確認と交換 170
廃液タンクを空にする 177
各部のクリーニング 180
消耗品の交換 204
輸送と長期保存 220

メンテナンスについて

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。
メンテナンスには次のようなものがあります。

毎日の作業の開始前後	☞「ノズルチェックとクリーニング」P.58
ご使用に合わせて	☞「インクの交換」P.172
	☞「廃液タンクを空にする」P.177
	☞「ヘッドクリーニング」P.180
	☞「漬け置きクリーニング」P.183
	☞「クリーニングワイパーの清掃」P.193
	☞「キャップ外周の清掃」P.195
	☞「カラーセンサーの清掃」P.197
	☞「カッターホルダーの清掃」P.199
	☞「輪郭カット用カッター刃の清掃」P.201
	☞「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.205
	☞「メディア裁断用カッター刃の交換」P.208
	☞「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.210
	☞「カッティングマットの交換」P.214
	☞「輪郭カット用カッター刃の交換」P.216
1か月に1度	☞「プリントヘッド外周の清掃」P.190
	☞「内部の清掃」P.202
1週間以上使用しないとき	1週間に1度の ☞「ヘッドクリーニング」P.180

Important !!

次の場合には、サービスマンによる対応が必要となるため、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- 重障害エラーが繰り返し発生した。
- 各種モーター、ポンプ、プリントヘッドの寿命を知らせるメッセージが表示された。

☞「メッセージとエラーメッセージ」P.233
☞「お問い合わせ先」P.264

インクの確認と交換

インク残量を確認する

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 [プリンタステータス] タブの、[インク情報] を確認します。

- インクが減ると、色つきの目盛りが減っていきます。

インクの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、操作パネルのエラー LED が点滅し、ブザーが鳴ります。

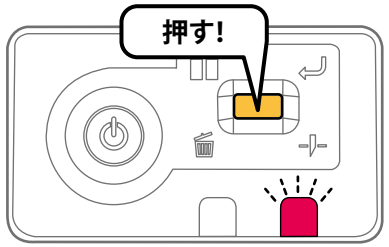
手順

1 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ブザーが停止します。

Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。



2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

「リモートパネルの表示方法」P.28

3 交換が近づいたインクカートリッジを [インク情報] で確認します。

- ［ステータス情報］も確認します。例えば「インクなし No：２４」と表示されている場合は、スロット番号２と４のインクを交換してください。

4 交換用カートリッジを用意します。

インクの交換

インクがなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、ブザーが鳴ります。
印刷が一時停止します。新しいインクカートリッジに交換すると再開します。

警告

インクカートリッジは、火気や高温のものから遠ざけてください。
火災の原因となります。

注意

- インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

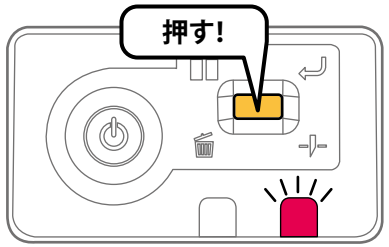
Important !!

- 本製品の電源がオフ になっている場合は、インクを交換しないでください。
  インク残量の検出が正しくできなくなります。
- インクカートリッジを寒い場所から暖かい場所へ移動させた場合は、3 時間以上放置してから使用してください。

インクカートリッジをお使いの場合

1 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ブザーが停止します。



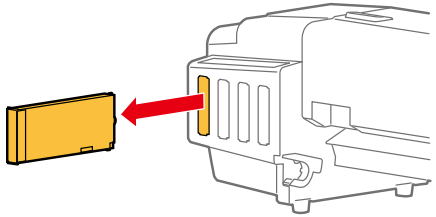
2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「リモートパネルの表示方法」P.28

3 [インク情報]で交換するインクカートリッジを確認します。

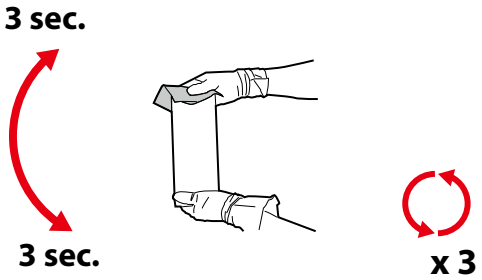
- ［ステータス情報］も確認します。右の例では、「インクなし　No：1」と表示されているので、スロット番号 1 のインクを交換してください。

4 空のインクカートリッジをスロットから抜きます。



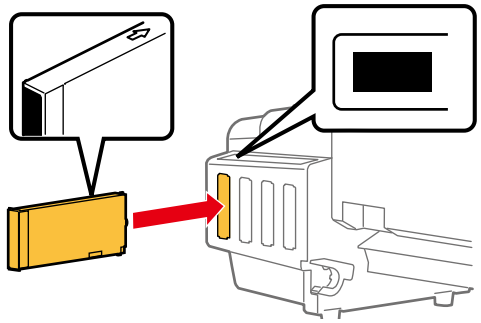
5 新しいインクカートリッジを用意し、以下の手順でかくはんします。

1. 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
2. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
3. 3 回繰り返します。



6 新しいインクカートリッジを取り付けます。

- 本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。



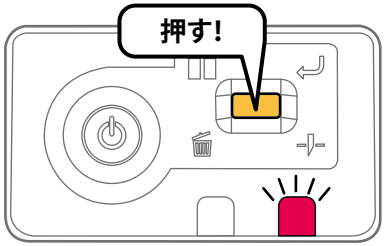
Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

大容量パックアダプターをお使いの場合

1 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ブザーが停止します。



2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「リモートパネルの表示方法」P.28

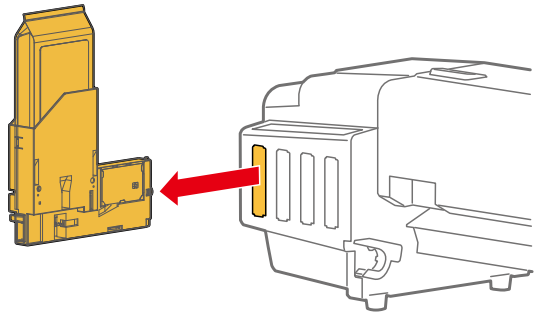
3 [インク情報] で交換するインクパックを確認します。

- ［ステータス情報］も確認します。右の例では、「インクなし　No：1」と表示されているので、スロット番号 1 のインクを交換してください。

4 交換する大容量パックアダプターをスロットから取り外します。

Important!!

大容量パックアダプターがプリンターに取り付けられたままの状態で、インクパックだけを抜かないでください。スマートチップカードの残量情報が書き換えられ、そのスマートチップカードとインクパックが使用できなくなります。



5 新しいインクパックを袋から取出します。

Important!!

インクパックは、大容量パックアダプターに取り付ける直前に開封してください。インクパックを開封した状態で長期間放置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。

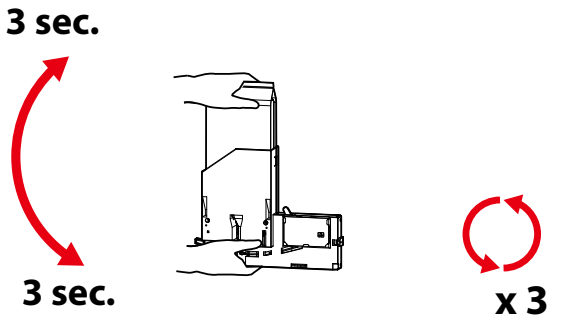
6 インクパックとスマートチップカードを大容量パックアダプタへ取り付けます。

Note

大容量パックアダプターへのインクパックおよびスマートチップカードの取り付け、取り外しは、大容量パックアダプター付属の取扱説明書をご参照ください。

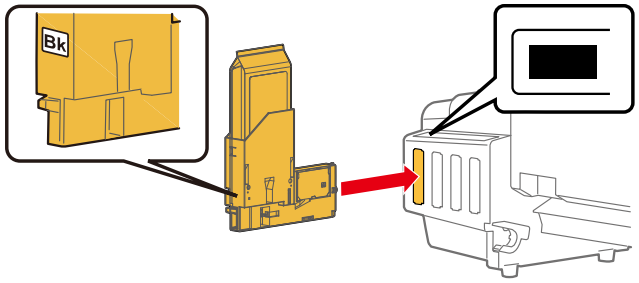
7 下記の手順でかくはんします。

1. インクパックが大容量パックアダプターから抜けないように押さえ、インクパックの差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
2. 差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
3. 3 回繰り返します。



8 大容量パックアダプターをスロットに取り付けます。

- 本製品のラベルと大容量パックアダプターの色を合わせてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。



Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

廃液タンクを空にする

一定量のインクを使用すると、本製品は操作パネルのエラー LED を点灯し、ブザーを鳴らします。
廃液タンクの廃インクを、PET ボトルなどに移して排出してください。

注意

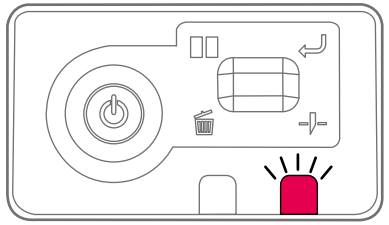
- インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

Important !!

本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。
移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。

手順

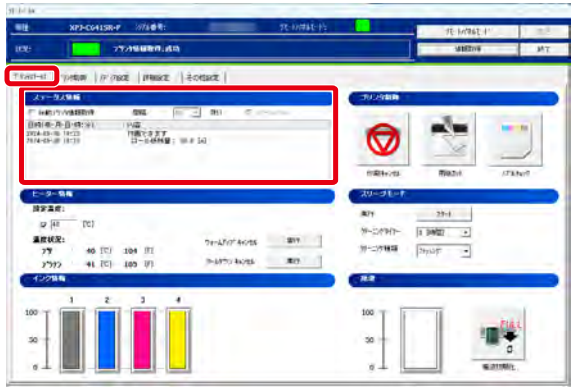
1 エラー LED の点灯を確認します。



2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
☞「リモートパネルの表示方法」P.28

3 ［プリンタステータス］タブの［ステータス情報］を確認します。

- 廃液タンクが満タンになっているメッセージが表示されます。

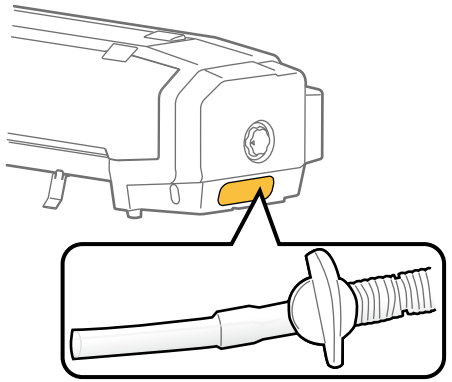


4 PET ボトルなど、廃液を移し替える容器を用意します。

Important !!

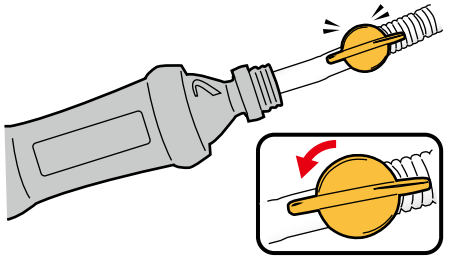
廃液タンクの容量は 1,400 ml です。廃インクを排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

5 廃液チューブの先端を引き出します。



6

1. 容器に廃液チューブを差し込みます。
2. 二方コックのつまみを回し、左図の位置にします。
3. 容器に廃液を移します。
4. 廃液を移し終わったら、二方コックのつまみをを元の位置に戻します。



警告

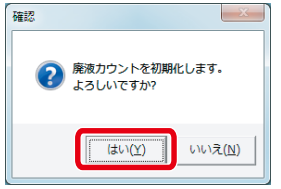
プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。
廃液処理業者に処理を委託してください。

7 ［廃液初期化］をクリックします。

- 確認ウィンドウが開きます。

8 ［はい］をクリックします。

- 廃液カウントをゼロにします。



各部のクリーニング

ヘッドクリーニング

ノズルチェックをしてノズルの目詰まりがあったときは、ヘッドクリーニングを行ってください。

ヘッドクリーニングはインクを消費します。

本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ご使用状況によって使いわけてください。

[微量]	[通常] より少量のインクを消費します。
[通常]	ノズルチェックを行ったときに、数箇所にノズルの目詰まりがある場合に使用します。
[強力]	[通常] より多くのインクを消費します。[通常] でノズルの目詰まりが解消しない場合は [強力] を使用します。
[微量充填]	クリーニング効果は高いですが、多くのインクを消費します。
[初期充填]	[微量充填] よりクリーニング効果は高いですが、かなり多くのインクを消費します。

Important !!

微量充てん、初期充てんを行うときは、以下のことを遵守してください。
充てん動作が中断するため、再充てんによるインクの損失が発生します。

- 電源をオフにしないこと。
- 電源ケーブルを抜かないこと。
- フロントカバーを開けないこと。
- インクカートリッジを抜かないこと。
- インク残量の少ないインクカートリッジを使用しないこと。

ヘッドクリーニングの手順

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「リモートパネルの表示方法」P.28

2 [プリンタ制御] タブをクリックします。

- ［プリンタ制御］画面が表示されます。

3 [クリーニング] からクリーニングモード (微量 / 通常 / 強力) を選択して、クリックします。

- クリーニングを開始します。

4 ノズルチェックを行います。

- ノズルの目詰まりが直っていない場合は、クリーニングとノズルチェックを繰り返してください。

☞「ヘッドクリーニングの手順」P.181

Note

通常クリーニングを数回繰り返してもノズルの目詰まりが直らない場合は、以下の対処方法を参考にしてください。

1. 強力クリーニングを行ってください（直らない場合は、次に進んでください）。
2. 以下を清掃してください（直らない場合は、次に進んでください）。

☞「プリントヘッド外周の清掃」P.190
☞「クリーニングワイパーの清掃」P.193

3. クリーニングから [微量充填] を行ってください（直らない場合は、次に進んでください）。

☞「ヘッドクリーニング」P.180

4. 直らない場合は、MSM の [詳細設定] ー [ノズル選択] で目詰まりのないノズルを選択することができます。

漬け置きクリーニング

メンテナンス液を満たしたキャップにプリントヘッドを浸して、ノズル面に付着した汚れを落とします。

清掃時期：

- 1 週間に 1 度（推奨）
- ヘッドクリーニングを行ってもノズル詰まりや飛行曲がりがなくならないとき

必要なもの：

- 専用メンテナンス液
- ペーパータオル（またはポリニットワイパー）
- プラスチックカップ *、スポイト *、ポリエチレン手袋 *、ゴーグル *（* 市販品）

注意

インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

1 準備をします。

- 手袋、ゴーグルを着用します。
- メンテナンス液をプラスチックカップに適量そそぎます。

2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

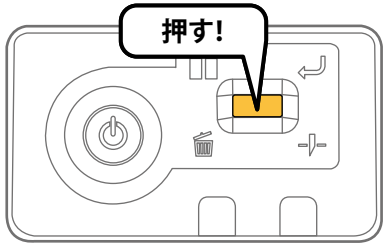
3 [プリンタ制御] - [漬け置きクリーニング] をクリックします。

4 漬け置き時間を入力し、[実行] をクリックします。

- 漬け置き時間は「10 [分]」を推奨します。

5 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

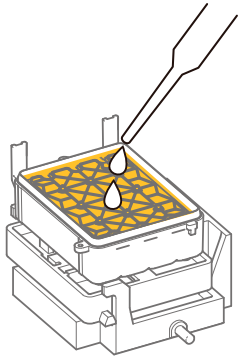
- キャリッジがメンテナンス位置（プリンター左側）へ移動します。



6 フロントカバーを開きます。

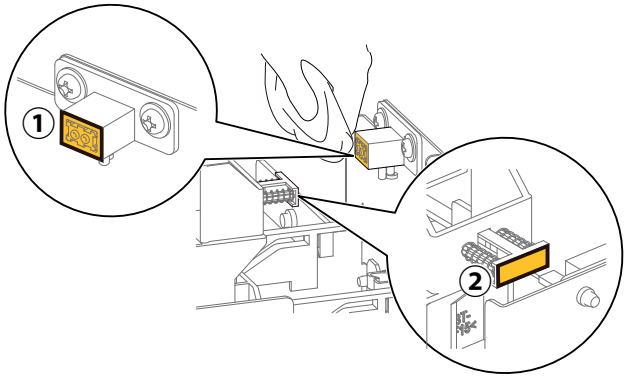
7 キャップいっぱいにメンテナンス液を満たします。

- スポイトでメンテナンス液をとり、キャップからあふれる寸前まで注入してください。



8 エアバルブの表面（①と②の部分）に付着したインクを完全に拭き取ります。

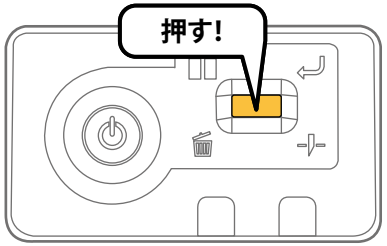
- 手順７～８の作業目安は５分以内です。



9 フロントカバーを閉じます。

10 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- キャリッジが元の位置へ戻り、キャップインします。
- 漬け置き時間のカウントダウンが始まります。



11 漬け置き時間経過後、自動でクリーニングを開始します。

Important !!

クリーニング中にインクカートリッジを抜かないでください。インク経路に空気が混入するおそれがあります。

12 漬け置きクリーニングを終了します。

- スポイトに付着したメンテナンス液をペーパータオルで拭き取ります。
- プラスチックカップ内のメンテナンス液を廃棄して、ペーパータオルで拭き取ります。
- メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

Important !!

- **使用後のペーパータオルやプラスチックカップに残った専用メンテナンス液は産業廃棄物です。地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。**
- **漬け置きクリーニングを繰り返しても吐出不良が解消しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。**

各部の清掃

本製品を常によい状態で使用できるように、定期的または状況に応じて下表の各部の清掃を行ってください。

「*」印がついている清掃か所は、清掃時に CR メンテナンス状態にセットする必要があります。

☞「CR メンテナンス状態にする」P.188

注意

- インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

清掃か所	清掃の時期、目安
プリントヘッド外周 *	• ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき • 部分的に印刷が汚れるとき ☞「プリントヘッド外周の清掃」P.190
クリーニングワイパー *	ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき ☞「クリーニングワイパーの清掃」P.193
キャップ外周 *	1 週間に一度 ☞「キャップ外周の清掃」P.195
カラーセンサー *	• 画質調整でオート調整が何度も失敗するとき • クロップマークの読み取りに何度も失敗するとき ☞「カラーセンサーの清掃」P.197
カッターホルダー	• カッターホルダにメディアの紙粉や切りくずが付着しているとき ☞「カッターホルダーの清掃」P.199
輪郭カット用カッター刃の清掃	カット線に油分などの汚れが付着しているとき ☞「輪郭カット用カッター刃の清掃」P.201
内部の清掃	• 1か月に一度 • インク汚れやほこりが見えるとき ☞「内部の清掃」P.202

CR メンテナンス状態にする

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「MSM の起動 / 表示 / 終了の方法」P.27

2 [プリンタ制御] タブをクリックします。

- ［プリンタ制御］ 画面が表示されます。

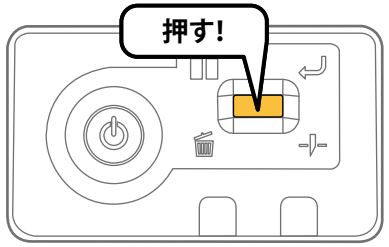
3 メンテナンスから［CR メンテナンス］ をクリックします。

- [CR メンテナンス] 画面が表示されます。

4 ［実行］をクリックします。

5 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジがメンテナンス位置に移動します。



プリントヘッド外周の清掃

清掃時期：

- 1 週間に 1 度
- ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき

必要なもの：

- クリーンスティック

Important !!

清掃時は、以下を守ってください。

- クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 作業時間の目安は 5 分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

手順

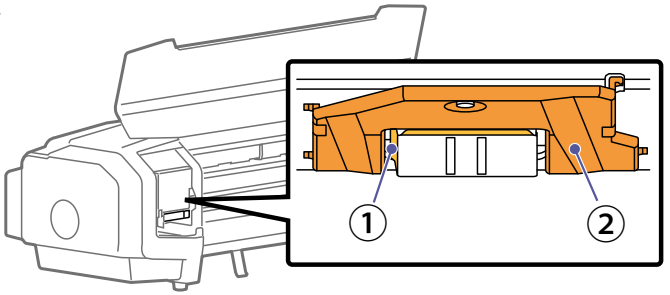
1 CR メンテナンス状態にします。

「CR メンテナンス状態にする」P.188

2 フロントカバーを開きます。

3 キャリッジの下側を見て、次の場所にホコリやインクのかたまりが付着しているか確認します。

- ①：プリントヘッド外周
- ②：ヘッドガイド部

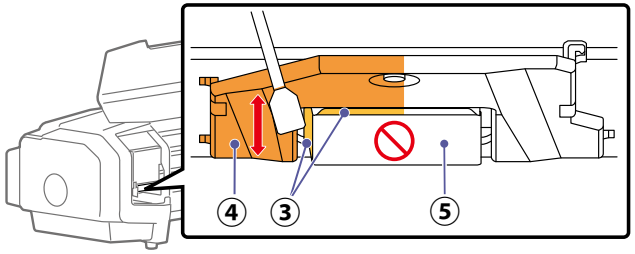


4 ホコリやインクのかたまりが付着している場合、クリーンスティックを使って下記の場所を清掃します。

- ③：プリントヘッド外周の左側
- ④：ヘッドガイド部の左側

Important !!

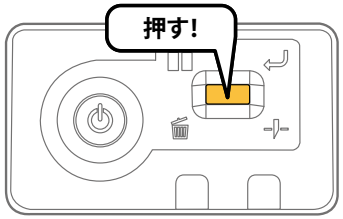
- プリントヘッド表面（⑤）を指やクリーンスティックでさわらないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- プラテンやメディアガイドにはさわらないようにしてください。温度が高くなっている場合があります。



5 フロントカバーを一度閉じます。

6 続いて、プリントヘッド外周の右側を清掃します。操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

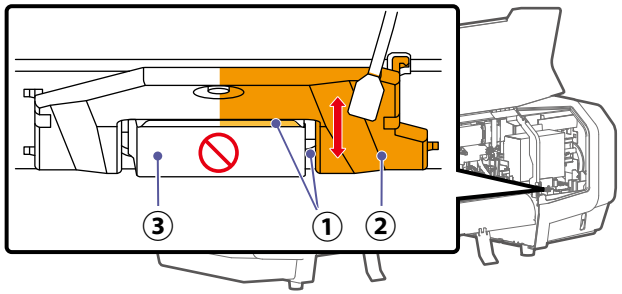
- フロントカバー内でキャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動します。



7 フロントカバーを開きます。

8 クリーンスティックを使って下記の場所を清掃します。

- ①：プリントヘッド外周の右側
- ②：ヘッドガイド部の右側



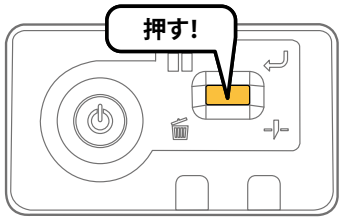
Important !!

- プリントヘッド表面（③）を指やクリーンスティックでさわらないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- プラテンやメディアガイドにはさわらないようにしてください。温度が高くなっている場合があります。

9 フロントカバーを閉じます。

10 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジが元の位置に移動します。



クリーニングワイパーの清掃

清掃時期：

- 1 週間に 1 度
- ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき

必要なもの：

- クリーンスティック

Important !!

清掃時は、以下を守ってください。

- クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなるおそれがあります。
- クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 作業時間の目安は 5 分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

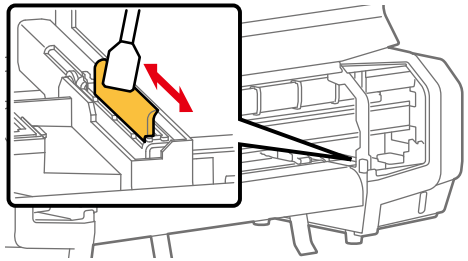
手順

1 CR メンテナンス状態にします。
「CR メンテナンス状態にする」P.188

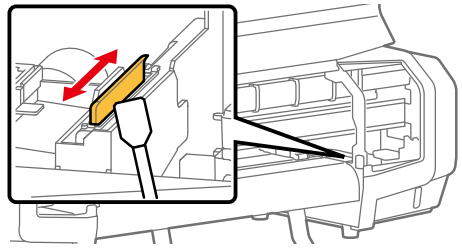
2 フロントカバーを開きます。

3 クリーンスティックで、クリーニングワイパーを拭き取ります。

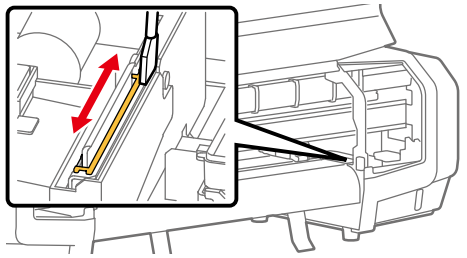
- クリーニングワイパーの左側面を前後に拭き取ります。



4 クリーニングワイパーの右側面を前後に拭き取ります。



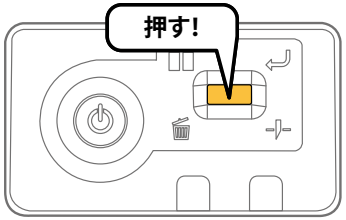
5 クリーニングワイパー基部の右側面を前後に拭き取ります。



6 フロントカバーを閉じます。

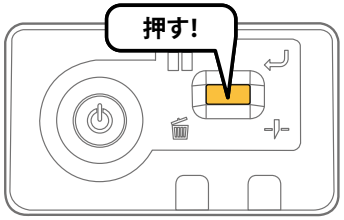
7 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動します。



8 キャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動したら、もう一度操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジが元の位置に移動します。



キャップ外周の清掃

清掃時期：

- 1 週間に 1 度

必要なもの：

- クリーンスティック

Important!!

清掃時は、以下を守ってください。

- クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 作業時間の目安は 5 分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

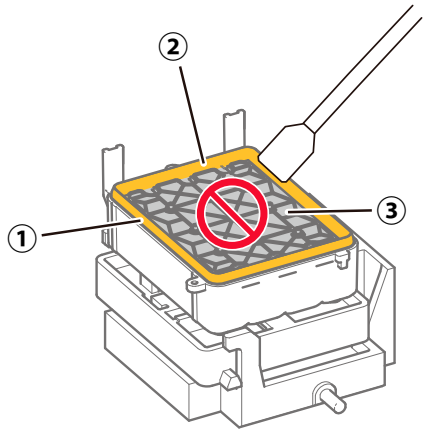
1 CR メンテナンス状態にします。

☞「CR メンテナンス状態にする」P.188

2 フロントカバーを開きます。

3 クリーンスティックを使用して、キャップ周り(①) と、キャップのふち (②) に付着したインクやホコリを拭き取ります。

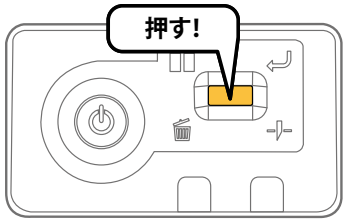
- ①：キャップ周り
- ②：キャップのふち
- ③：吸収材（さわらないでください）



4 フロントカバーを閉じます。

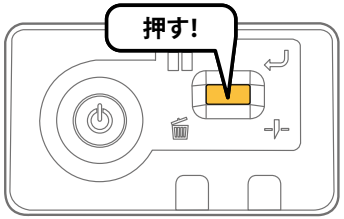
5 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動します。



6 キャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動したら、もう一度操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジが元の位置に移動します。



Note

使用済みのクリーンスティックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

カラーセンサーの清掃

清掃時期：

- 画質調整でオート調整が何度も失敗するとき
- クロップマークの読み取りに何度も失敗するとき

必要なもの：

- クリーンスティック
- エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）

Important !!

清掃時は、以下を守ってください。

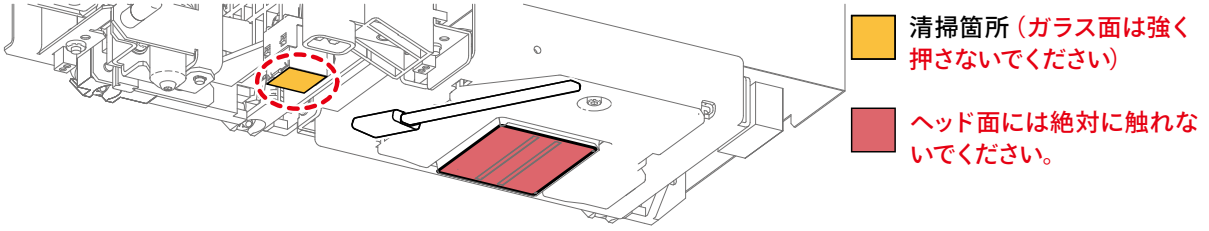
- クリーンスティックでカラーセンサーのガラス面を強く押さないでください。ガラスが破損する原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、カラーセンサーの誤動作の原因となります。
- 作業時間の目安は 5 分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障原因となります。

1 CR メンテナンス状態にします。

☞「CR メンテナンス状態にする」P.188

2 フロントカバーを開きます。

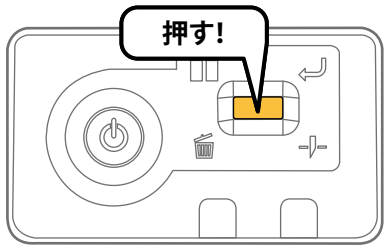
3 キャリッジの下側にある、カラーセンサーのガラス面に付着したインクやホコリを、エタノールを少量染み込ませたクリーンスティックでやさしく清掃します。



4 フロントカバーを閉じます。

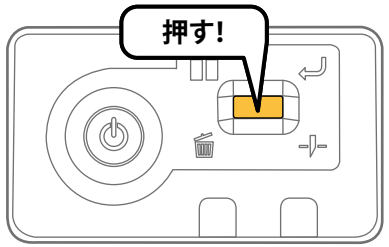
5 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動します。



6 キャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動したら、もう一度操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジが元の位置に移動します。



Important

問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
「お問い合わせ先」P.264

Note

使用済みのクリーンスティックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

カッターホルダーの清掃

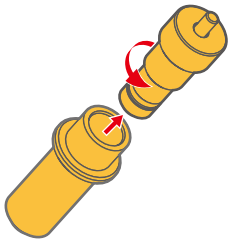
清掃時期：

- カッターホルダーにメディアの紙粉や切りくずが付着しているとき

1 「カッターホルダーをプリンターにセットする」を参照してカッターホルダーを取り外します。
☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123

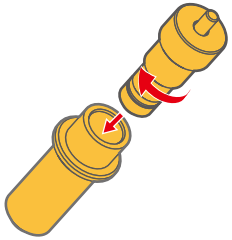
2 カッターホルダーからカッター刃を取り外します。
☞「取り外しの手順」P.120

3 カッターホルダーの上部を取り外します。



4 エアダスターなどを使って、カッターホルダーの中に入り込んだメディアの切りくずやホコリを取り除きます。

5 カッターホルダーの上部を取り付けます。



6 カッター刃をカッターホルダーにセットします。

☞「カッター刃をカッターホルダーにセットする」P.119

Important !!

清掃後は、刃先突き出し量を調整してください。

☞「刃先突き出し量の調整」P.121

7 カッターホルダーをプリンターにセットします。

☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123

輪郭カット用カッター刃の清掃

清掃時期の目安：

- カット線に油分などの汚れが付着したとき

必要なもの：

- ペーパータオルまたはやわらかい布

1 「カッターホルダーをプリンターにセットする」を参照してカッターホルダーを取り外します。
☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123

2 「カッター刃をカッターホルダーにセットする」の「取り外しの手順」を参照してカッター刃を取り外します。
☞「取り外しの手順」P.120

3 ペーパータオルまたはやわらかい布でカッター刃の汚れを拭き取ります。

4 カッター刃をカッターホルダーにセットします。
☞「カッター刃をカッターホルダーにセットする」P.119

Important !!

清掃後は、刃先突き出し量を調整してください。
☞「刃先突き出し量の調整」P.121

5 カッターホルダーをプリンターにセットします。
☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123

内部の清掃

清掃時期：

- 1 か月に 1 度
- インク汚れやホコリが見えるとき

必要なもの：

- 柔らかいブラシ
- ペーパータオルまたは柔らかい布
- エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）
- ポリエチレン手袋（市販品）

注意

- 製品内部の清掃を行うときは、かならず電源をオフして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

1 メディアを取り外します。

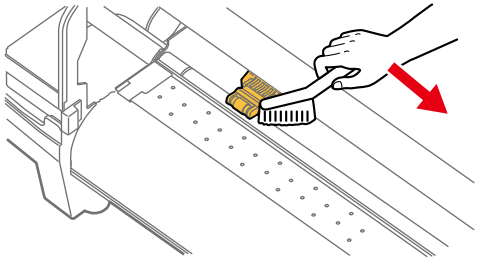
2 プリンターの電源がオフになっていることを確認します。

3 フロントカバーを開きます。

Important !!

印刷終了直後は、本製品のヒーター温度が高くなっています。
プラテンやメディアガイドに触ってみて、熱い場合はしばらく時間をおいてから作業を始めてください。

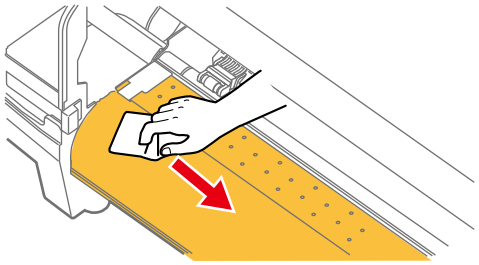
4 柔らかいブラシを使って、加圧アームのホコリを払います。



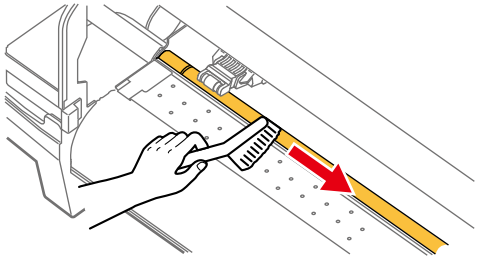
Important !!

本製品内部に付着したホコリをエアダスターなどで吹き飛ばさないでください。
ホコリが可動部に付着して、異音や故障の原因となるおそれがあります。

5 エタノールを少量染み込ませたペーパータオルまたは柔らかい布で、プラテンとメディアガイドおよびエッジホルダーなどに付着している汚れを取ります。



6 柔らかいブラシを使って、グリットローラーの銀色部分の汚れを取ります。



Important !!

フロントカバー左側のグリットローラー部を手動で回して清掃面を変えながら清掃してください。

7 フロントカバーを閉じます。

消耗品の交換

安定した印刷を行うために、次の部品は定期的に交換してください。

注意

- インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

交換箇所	清掃の時期、目安
フラッシングボックス用吸収材	インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていることを確認したとき（約 2 か月）* * 使用頻度によるため、定期的に確認してください。 ☞「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.205
メディア裁断カッター	• メディアがきれいにカットできない場合 • カット部に毛羽立ちなどが発生した場合 ☞「メディア裁断用カッター刃の交換」P.208
大容量パックアダプターのプラグ交換	使用頻度によるため、定期的に確認してください。 ☞「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.210
カッティングマット	• カッターの接触痕が多い場合 • カッティングが安定しない場合 ☞「カッティングマットの交換」P.214
輪郭カットカッター刃	カッティングが安定しない場合 ☞「輪郭カット用カッター刃の交換」P.216
カッターホルダー	• カッターホルダーの先端が摩耗して、カッティングが安定しない場合 • カッターホルダーの清掃を行ってもすぐに切りくずが発生して、カッティングが安定しない場合 ☞「カッターホルダーの交換」P.217
クリーニングワイパー	12 か月 ☞「クリーニングワイパーの交換」P.218

フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用しつづけると、プリントヘッドが故障する原因になります。

交換時期の目安：

- インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていることを確認したとき（約 2 か月）*

  * 使用頻度によるため、定期的に確認してください。

必要なもの：

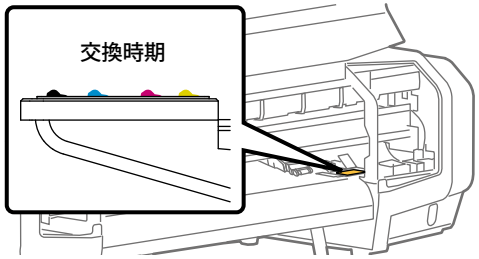
- 交換用のフラッシングボックス用吸収材
- 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）
- ポリエチレン手袋（市販品）

確認手順

1 フロントカバーを開きます。

2 フラッシングボックス用吸収材を確認します。

- インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。



3 フロントカバーを閉じます。

交換手順

1 CR メンテナンス状態にします。
「CR メンテナンス状態にする」P.188

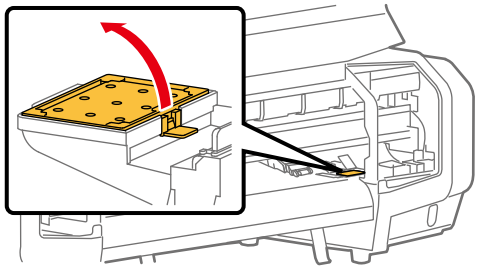
2 フロントカバーを開きます。

3 フラッシングボックス用吸収材を取り外します。

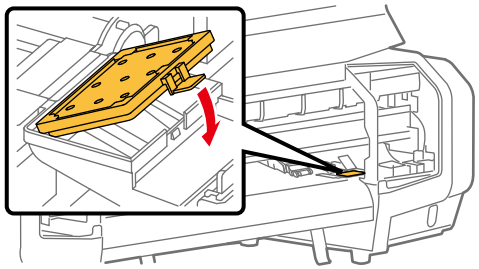
- フラッシングボックス用吸収材のツメを持ち上げて、フックを解除してください。

Important

フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクが垂れ落ちないよう注意してください。



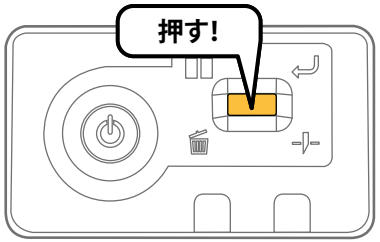
4 新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付けます。



5 フロントカバーを閉じます。

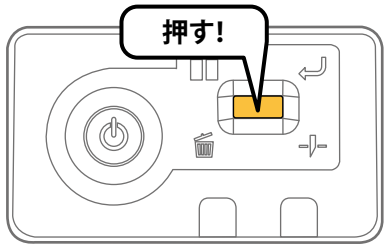
6 **操作パネルのオペレーションキーを短押しします。**

- フロントカバー内でキャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動します。



7 **キャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動したら、もう一度操作パネルのオペレーションキーを短押しします。**

- フロントカバー内でキャリッジが元の位置に移動します。



メディア裁断用カッター刃の交換

交換時期の目安：

- メディアがきれいにカットできない場合
- カット部に毛羽立ちなどが発生した場合

必要なもの：

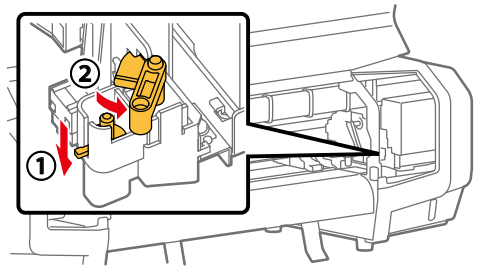
- 交換用カッター刃

注意

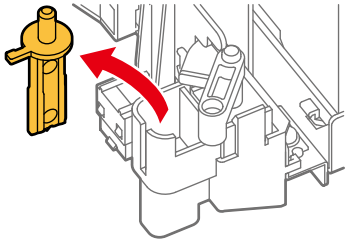
- カッターのつまみを強く押したり、急に離したりしないでください。
  カッターの下にバネがあるため、カッターが飛び出す可能性があります。
- カッターの刃先には触れないでください。
  けがをするおそれがあります。

1 フロントカバーを開きます。

2 カッターのつまみを下に軽く押しながら（①）、カッター押さえを手前にずらします（②）。

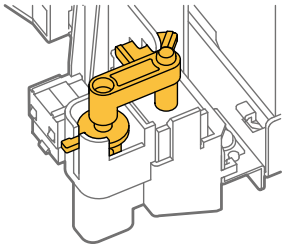


3 カッターを取り外します。



4 新しいカッターを取り付けます。

- カッター押さえを元のようにカッターにセットしてください。



5 フロントカバーを閉じます。

大容量パックアダプターのプラグ交換

大容量パックアダプターは、一定回数抜き差しをするとプラグの交換が必要になります。

Note

大容量パックアダプターの詳しい取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

1. プラグ寿命の確認方法

大容量パックアダプターを抜き差しすると、プラグ寿命が減っていきます。

以下の手順で定期的にプラグ寿命を確認してください。

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「リモートパネルの表示方法」P.28

2 ［プラグ寿命］タブをクリックします。

- 寿命は緑色の星の数で表示しています。はじめは星が 5 個表示されています。
- プラグの寿命が近付くにつれて、星の数が 1 個（20%）ずつ減っていきます。
- 黄色の星が表示されたら、プラグの交換が近付いています。交換用プラグを用意してください。
- 赤色の星が表示されたら、プラグの交換が必要です。

Note

交換用プラグは大容量パックアダプターに付属しています。

2. プラグの交換

プラグ寿命がなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、MSM のステータス情報にメッセージが表示されます。
以下の手順で新しいプラグに交換してください。
新しいプラグに交換し、プラグ寿命を初期化するとエラー LED が消灯します。

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
☞「リモートパネルの表示方法」P.28

2 ステータス情報を確認します。

- 例えば「プラグを交換してください。No.24」と表示されている場合は、スロット番号 2 と 4 の大容量パックアダプターのプラグを交換してください。

3 大容量パックアダプターの取扱説明書を見ながら、プラグを交換します。
☞ **大容量パックアダプター取扱説明書「3.3 アダプタープラグの交換」**

4 交換したスロット番号のプラグ寿命を初期化します。
☞「3. プラグ寿命初期化」P.212

3. プラグ寿命初期化

大容量パックアダプターのプラグ交換を行った場合は、以下の手順でプラグ寿命を初期化してください。

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
☞「リモートパネルの表示方法」P.28

2 ［プラグ寿命］タブで、プラグを交換したスロットをチェックします。

3 ［プラグ寿命初期化］をクリックします。

4 ［はい］をクリックします。

- 選択したスロットのプラグ寿命が初期化されます。

Important !!

プラグ交換していないスロットのプラグ寿命を初期化しないでください。インク漏れの原因になります。

カッティングマットの交換

交換時期の目安：

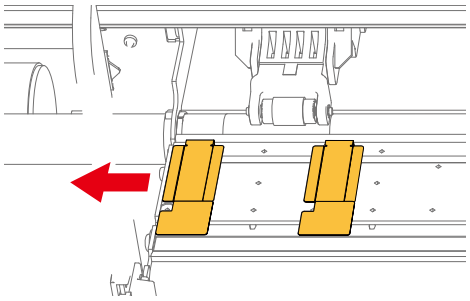
- カッターの接触痕が多い場合
- カッティングが安定しない場合

必要なもの：

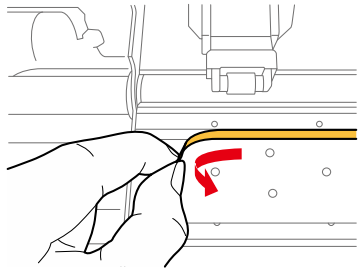
- 交換用カッティングマット
- エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）

1 フロントカバーを開きます。

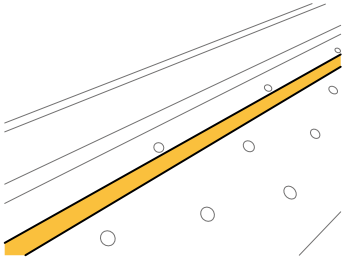
2 プラテンの左側から、メディア押さえを取り外します。



3 傷んだカッティングマットをプラテンからゆっくりと剥がします。



4 プラテンに残った粘着材を剥がします。



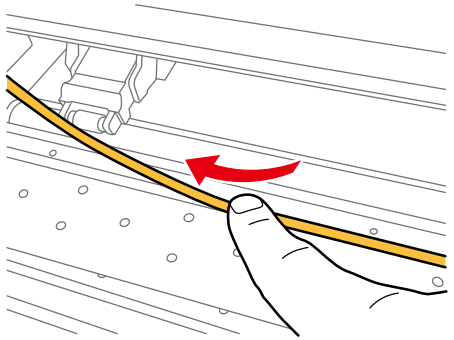
5 エタノールを少量染み込ませた柔らかい布で粘着剤を拭き取ります。

6 エタノールが完全に乾いたら、新しいカッターマットを溝に合わせて貼り付けます。

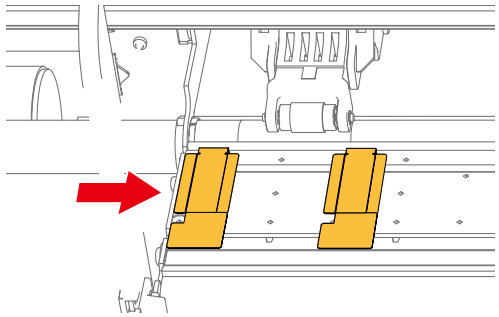
- カッターマットを指で上から押さえて気泡を取り除いてください。

Important !!

カッティングマットの浮きを防ぐため、乾燥した布などでカッティングマットを押さえつけながらこすってください。原点側から 3 回以上繰り返してください。



7 プラテンの左側から、メディア押さえを取り付けます。



8 フロントカバーを閉じます。

輪郭カット用カッター刃の交換

交換時期の目安：

- カッティングが安定しない場合

必要なもの：

- 交換用カッター刃

1 「カッターホルダーをプリンターにセットする」を参照してカッターホルダーを取り外します。
☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123

2 「カッター刃をカッターホルダーにセットする」の「取り外しの手順」を参照してカッター刃を取り外します。
☞「取り外しの手順」P.120

3 「カッター刃をカッターホルダーにセットする」の「セットの手順」を参照して交換用カッター刃を取り付けます。
☞「セットの手順」P.119

4 「刃先突き出し量の調整」を参照してカッター刃を調整します。
☞「刃先突き出し量の調整」P.121

5 「カッターホルダーをプリンターにセットする」を参照してカッターホルダーを取り付けます。
☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123

カッターホルダーの交換

交換時期の目安：

- カッターホルダーの先端が摩耗して、カッティングが安定しないと場合
- カッターホルダーの清掃を行ってもすぐに切りくずが発生して、カッティングが安定しない場合

必要なもの：

- 交換用カッターホルダー

1 「カッターホルダーをプリンターにセットする」を参照してカッターホルダーを取り外します。
☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123

2 「カッター刃をカッターホルダーにセットする」の「セットの手順」を参照して、新しいカッターホルダーにカッター刃を取り付けます。
☞「セットの手順」P.119

3 「刃先突き出し量の調整」を参照してカッター刃を調整します。
☞「刃先突き出し量の調整」P.121

4 「カッターホルダーをプリンターにセットする」を参照してカッターホルダーを取り付けます。
☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123

クリーニングワイパーの交換

交換時期の目安：

- 約 12 か月

必要なもの：

- 交換用のクリーニングワイパー
- 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）
- ポリエチレン手袋（市販品）

交換手順

1 CR メンテナンス状態にします。

「CR メンテナンス状態にする」P.188

2 フロントカバーを開きます。

3 プラテンに、汚れてもかまわない紙を敷きます。

Important !!

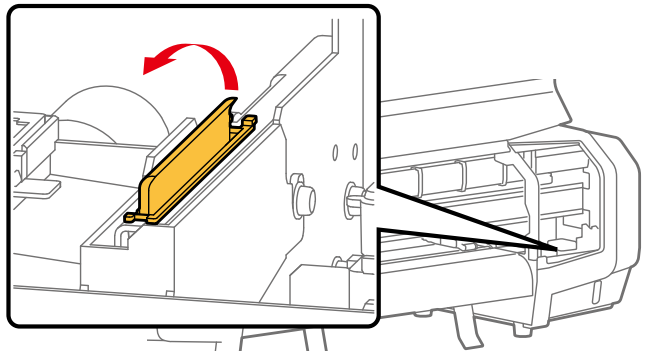
クリーニングワイパーからインクが垂れることがあります。床にも紙を敷くことをおすすめします。

4 クリーニングワイパーを取り外します。

- クリーニングワイパーのツメ部を持上げて、クリーニングワイパーを取り外します。

Note

使用済みのクリーニングワイパーは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

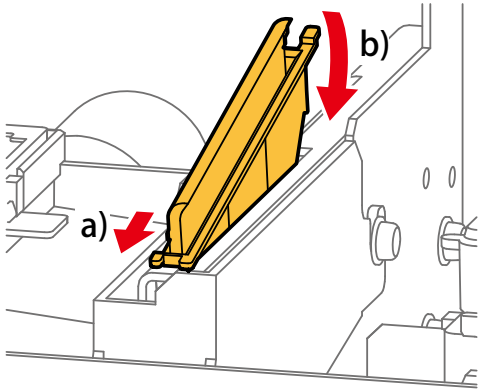


5 以下の手順に従って、クリーニングワイパーを取り付けます。

- a) クリーニングワイパーの手前側を挿入します。
- b) クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。

Important !!

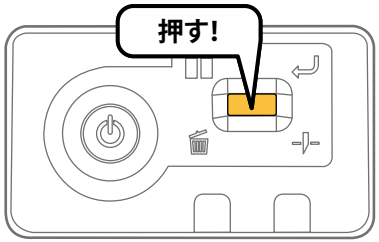
クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障原因となります。



6 フロントカバーを閉じます。

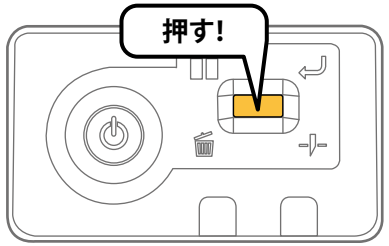
7 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動します。



8 キャリッジが原点側のメンテナンス位置に移動したら、もう一度操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- フロントカバー内でキャリッジが元の位置に移動します。



輸送と長期保存

本製品を輸送するときや長期間使わないときにご参照ください。

輸送するとき

本製品を輸送するときは、インク排出と廃インクの排出を行い、梱包材でプリントヘッドを固定する必要があります。そのまま輸送すると、インクが漏れたり、プリントヘッドが故障したりする原因になります。ふたたび使用するときは、再設置作業と初期充てんを行います。

Important !!

- 本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。
  移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。
- 本製品を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。
  内部のインクが漏れるおそれがあります。また移動後の正常動作が保証できません。

1. インク排出と廃インクの排出

1 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
「リモートパネルの表示方法」P.28

2 [プリンタ制御] タブをクリックします。

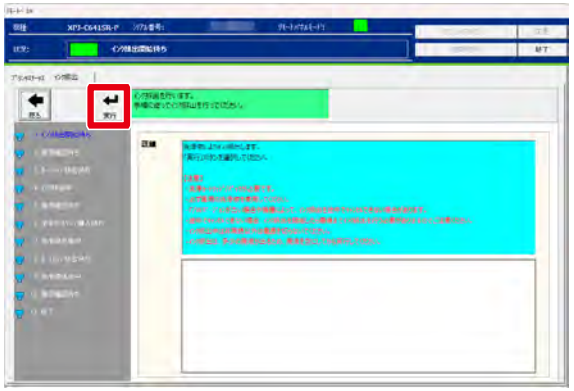
- ［プリンタ制御］画面が表示されます。

3 [メンテナンス] から [インク排出] をクリックします。

- インク排出を開始します。

4 ［インク排出］ タブで［実行］ をクリックします。

- 画面に沿ってインク排出を行ってください。
- インク排出が終わった後に、プリンターの再起動と初期充てんは行わないでください。

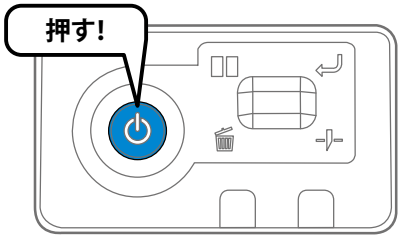


5 廃液タンクを空にします。

☞「廃液タンクを空にする」P.177

6 本製品の電源ボタンをオフします。

- 青色のランプが消灯します。
- 本製品が電源オフ動作を開始します。

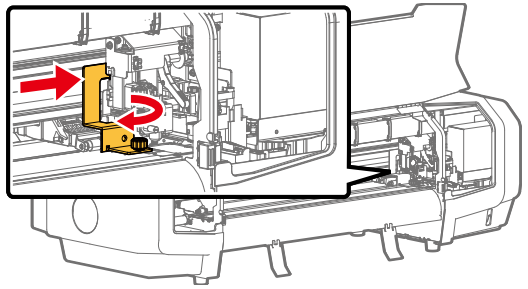


2. 再梱包

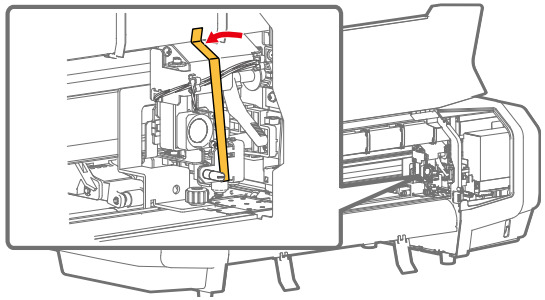
1 電源ケーブルなどのケーブル類をすべて取り外します。

2 フロントカバーを開きます。

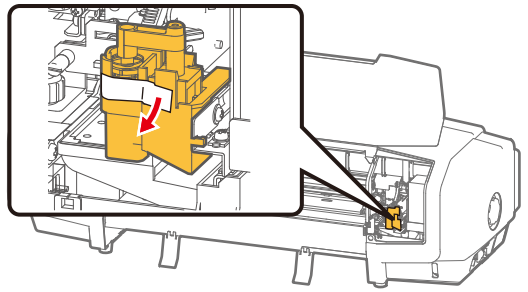
3 ヘッド固定板をネジで取り付けます。



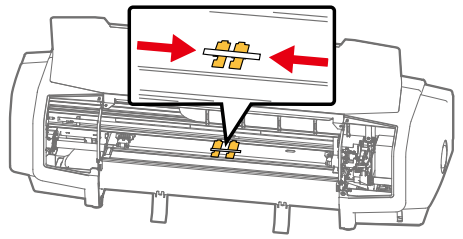
4 輪郭カットカッターをテープで固定します。



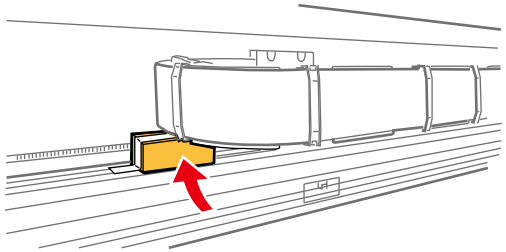
5 カッターをテープで固定します。



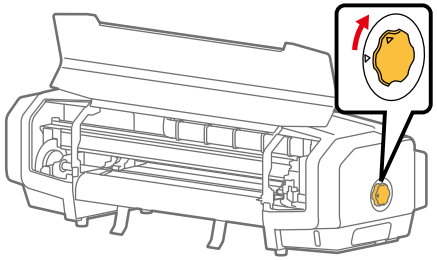
6 メディア押さえプレートを中央に移動し、テープで固定します。



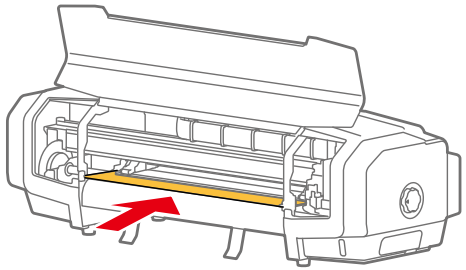
7 スチールベアの保護材を取り付け、テープで固定します。



8 メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

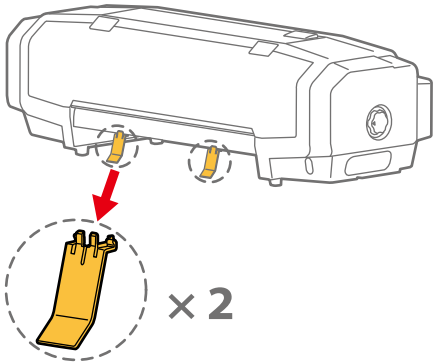


9 ローラー保護シートを貼り付けます。

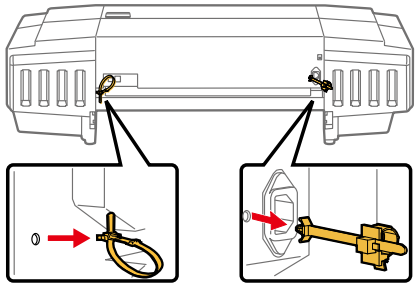


10 フロントカバーを閉じます。

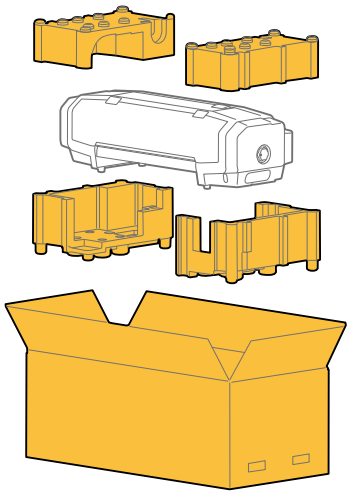
11 メディアガイド 2 個を取り外します。



12 結束バンドとコードクランプを取り外します。

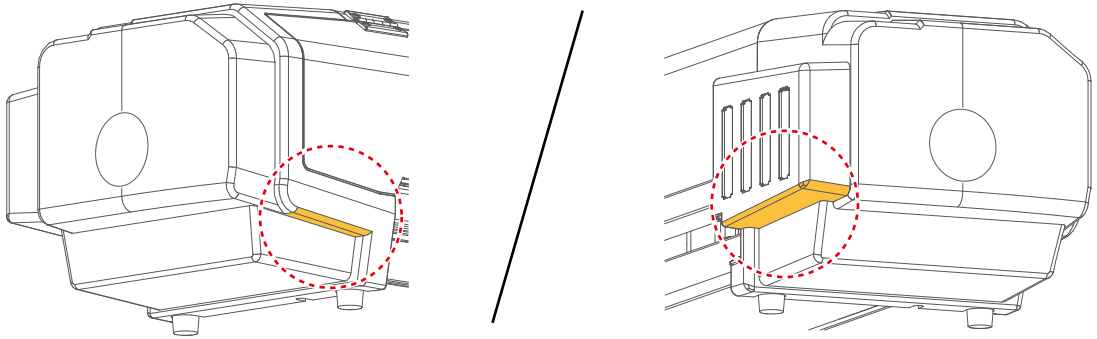


13 緩衝材を取り付け、梱包箱に本製品を入れます。



Note

本製品を移動する場合は、製品の以下の部分を持ってください。



3. 再設置

1 「スタートアップガイド」を見ながら、本製品を開梱し、組み立てます。

- 「セットアップをはじめる」の前まで行います。

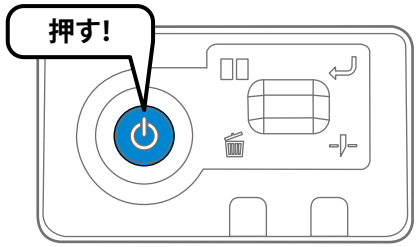
2 初期充てんを行います。

☞「初期充てんの方法」P.226

初期充てんの方法

1 本製品の電源ボタンをオンします。

- 青色のランプが点灯します。
- 本製品が初期動作を開始します。



2 MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

☞「リモートパネルの表示方法」P.28

3 [プリンタ制御] タブをクリックします。

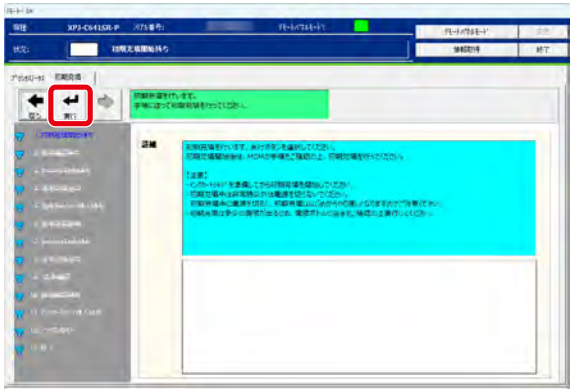
- ［プリンタ制御］画面が表示されます。

4 [クリーニング] から、初期充てんをクリックします。

- [初期充填] 画面が表示されます。

5 廃液タンクを空にしてから、［実行］をクリックします。

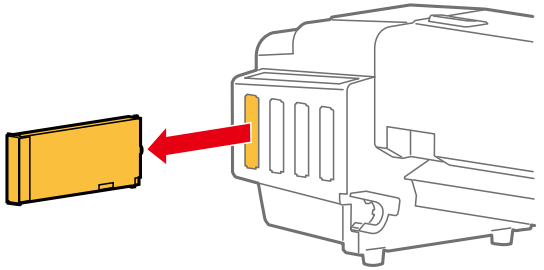
☞「廃液タンクを空にする」P.177



6

- カートリッジスロットにインクカートリッジが挿入されている場合は、すべて抜きます。
- 初期充てんを開始します。

☞「インクカートリッジをお使いの場合」P.228
☞「大容量パックアダプターをお使いの場合」P.229



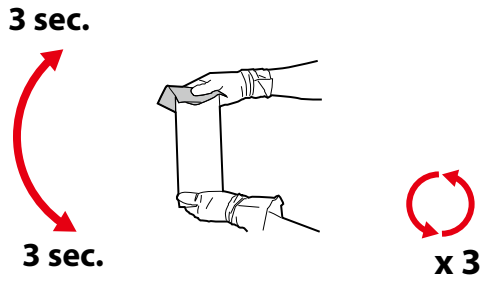
インクカートリッジをお使いの場合

1 新しいインクカートリッジを用意し、以下の手順でかくはんします。

1. 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
2. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
3. 3 回繰り返します。

Important !!

必ず新品のインクカートリッジを使用してください。インク残量が不十分なインクカートリッジを使用すると、初期充てん中にインクエンドとなり、再充てんによるインク損失が発生します。

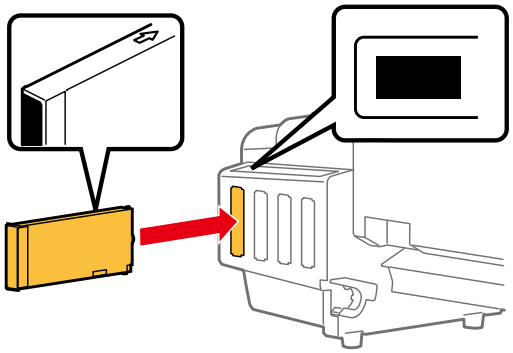


2 インクカートリッジを本製品に差し込みます。

- 本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。

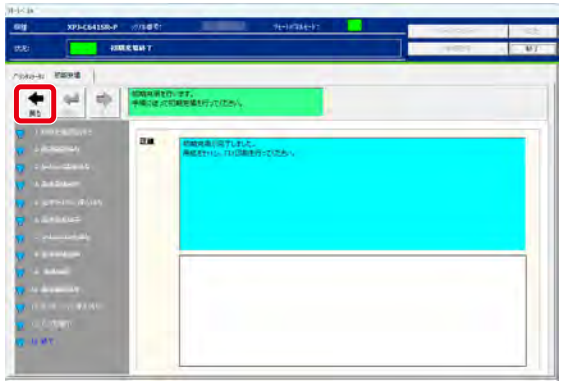
Note

すべてのインクカートリッジを差し込むと、本製品がインク充てんを開始します。



3 ［終了］画面で［戻る］をクリックします。

- 初期充てんを終了します。



大容量パックアダプターをお使いの場合

1 新しいインクパックを袋から取り出します。

Important !!

- 必ず新品のインクパックを使用してください。インク残量が不十分なインクパックを使用すると、初期充てん中にインクエンドとなり、再充てんによるインク損失が発生します。
- インクパックは、大容量パックアダプターに取り付ける直前に開封してください。インクパックを開封した状態で長期間放置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。

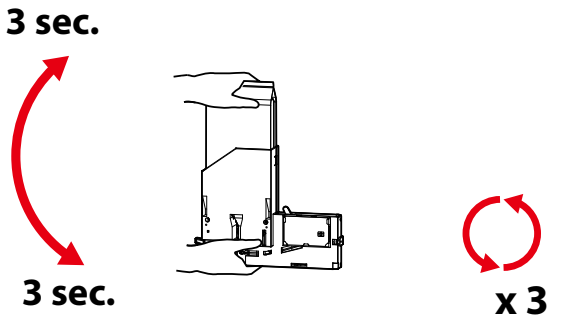
2 インクパックとスマートチップカードを大容量パックアダプターへ取り付けます。

Note

大容量パックアダプタへのインクパックおよびスマートチップカードの取り付け、取り外しは、大容量パックアダプター付属の取扱説明書をご覧ください。

3 下記の手順でかくはんします。

1. インクパックが大容量パックアダプターから抜けないように押さえ、インクパックの差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
2. 差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
3. 3 回繰り返します。

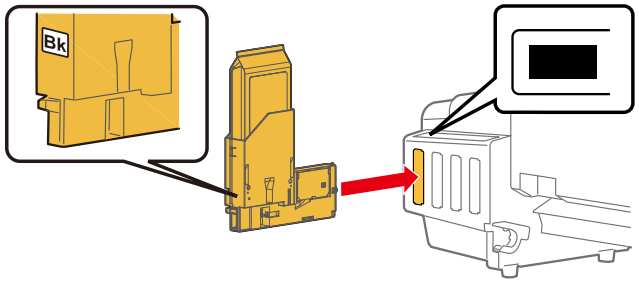


4 大容量パックアダプターをスロットに取り付けます。

- 本製品のラベルと大容量パックアダプタの色を合わせてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。

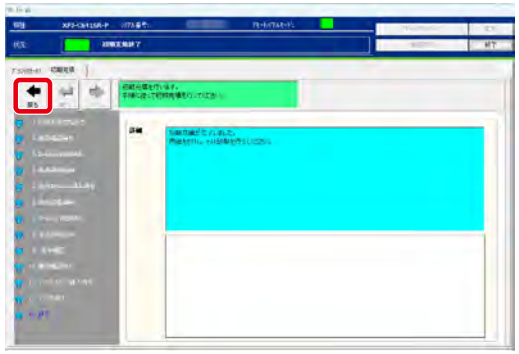
Important !!

大容量インクパックアダプターを、インクパックが付いていない状態でスロットへ挿入しないでください。残量情報が書き換えられ、そのスマートチップカードとインクパックが使用できなくなります。



5 [終了] 画面で [戻る] をクリックします。

- 初期充てんを終了します。



長期保存するとき

1 • 長期間使わないときは、インク排出と廃インクの排出を行ってください。
☞「輸送するとき」P.220 の「1. インク排出と廃インクの排出」
• メディア固定ハンドルのロックを解除し、加圧アームを上げた状態にしてください。

2 ふたたび使用するときは、初期充てんを行います。
☞「初期充てんの方法」P.226

困った時は

メッセージとエラーメッセージ 233

トラブルシューティング 242

メッセージとエラーメッセージ

メッセージ／エラーメッセージへの対応

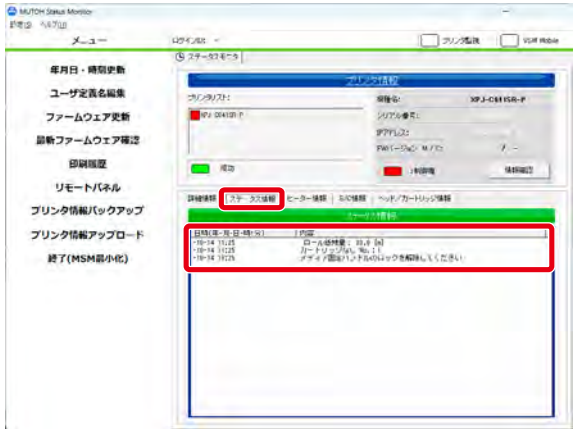
メッセージ／エラー／ワーニングを確認する

本製品が正常に動作しているときのメッセージや、問題が起きた場合のエラー／ワーニングを確認するには、MSM を使用します。

1 MSM を起動します。
「MSM の起動方法」P.27

2 ［ステータス情報］を確認します。

- メッセージ／エラー／ワーニングの内容が表示されます。
- 対処方法が表示された場合は、表示に従ってください。



Note

- MSM のリモートパネルを起動している場合は、［プリンタステータス］-［ステータス情報］でも同様に確認できます。
- エラー状態のときは、動作を一時停止する場合があります。エラーの原因を取り除くと、動作を再開します。

操作パネルのメッセージ表示

操作パネルのエラー LED が点灯します。

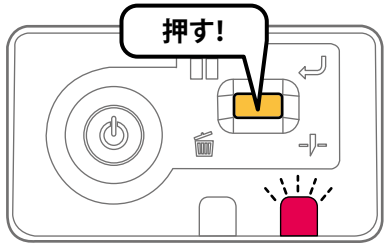
1 メッセージの内容を、MSM で確認し、対処してください。
☞「メッセージ／エラー／ワーニングを確認する」P.233

操作パネルのエラー表示

操作パネルのエラー LED が点灯（ワーニング状態のときは点滅）し、ブザーが鳴ります。

1 ブザーが鳴り続けている場合は、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ブザーが停止します。



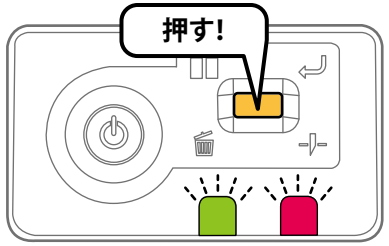
2 エラー／ワーニングの内容を、MSM で確認し、対処してください。
☞「メッセージ／エラー／ワーニングを確認する」P.233

エマージェンシーモード状態

重大な障害が起きると、操作パネルのデータ LED とエラー LED が同時に点滅し、ブザーが一定間隔で鳴ります。

1 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ブザーが停止します。



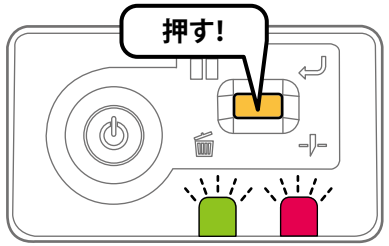
2 重障害エラーの内容を、MSM で確認してください。

☞「エマージェンシーモード状態の障害内容を確認する」P.236

- 確認できた場合は、[5] に進みます。
- ステータスモニターが見られない場合は、[3] に進みます。

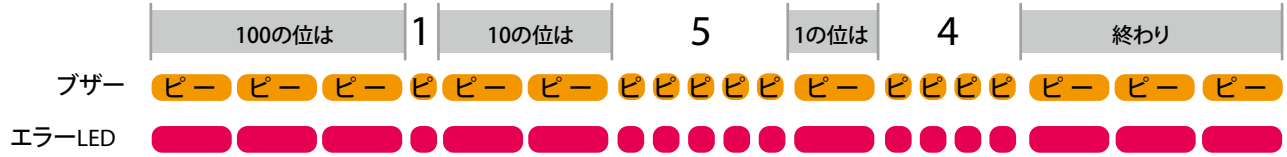
3 ステータスモニターが見られない場合は、もう一度操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- LED とブザーが規則的なパターンで点滅・鳴ります。このパターンはエラーの番号を示しています。



4 ブザーの短く鳴る回数（または、LED の短く点滅する回数）を数えます。

- エラー番号は 3 桁です。
- 長く鳴るブザーがエラー番号の桁を示し、その後に短く鳴るブザーがエラー番号を示します。
- 例えば、154 番のエラーは、次のパターンになります。
- 長く 3 回、短く 1 回、長く 2 回、短く 5 回、長く 1 回、短く 4 回、長く 3 回



Note

- パターンは繰り返しません。もう一度確認するときは操作パネルのオペレーションキーを短押ししてください。
- ある桁のエラー番号が「0」のときは、長いブザー（桁数を示すブザー）だけが鳴り、一定時間の無音の後に、次の桁を示す長いブザーが鳴ります。LED も長い点滅のみで、短い点滅をせずに次の長い点滅に移ります。

5 以下を確認してください。

- フロントカバーを開けて、メディアが詰まっている場合は、取り除いてください。
- 交換した部品があれば、正しく取り付けられているか確認してください。

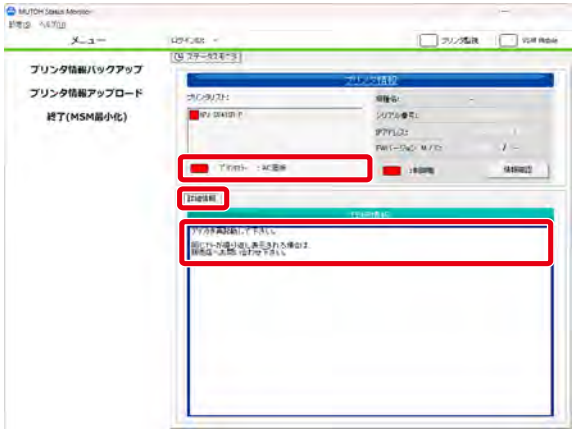
6 本製品の電源をオフにして、10 秒以上たってから電源をオンにします。
再起動後に同じエラーが起きる場合は、MUTOH カスタマーサポートまでご連絡ください。
☞「お問い合わせ先」P.264

エマージェンシーモード状態の障害内容を確認する

1 MSM を起動します。
☞「MSM の起動方法」P.27

2 ［プリンタ情報］と［詳細情報］を確認します。

- 重障害エラーの内容と対処方法が表示されます。



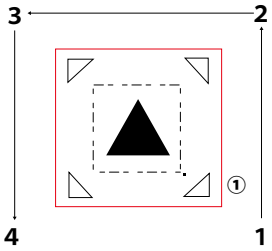
エラー表示と対処方法

本製品の動作中に、エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

エラーが発生した場合、本製品は MSM にエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。

表示	内容
カバーオープン	フロントカバーが開いています。 フロントカバーを閉じてください。
レバーアップ	メディア固定ハンドルのロックが解除されています。 メディア固定ハンドルをロックしてください。
インクなし No.＊＊＊＊	インクがなくなりました。(動作を停止します) 新しいインクカートリッジに交換してください。 ☞「インクの交換」P.172
S/C カードエラー No.＊＊＊＊	S/C カードが認識できませんでした。 S/C カードを正しく装着してください。
カートリッジなし No.＊＊＊＊	インクカートリッジが挿入されていません。(動作を停止します) インクカートリッジを挿入してください。
廃液タンク満タン	廃液タンクが満タンになりました。(動作を停止します) ただちに廃液を容器に移してください。廃液を排出後、MSM で廃液カウントをゼロにしてください。 ☞「廃液タンクを空にする」P.177
非対応のカートリッジサイズ No.＊＊＊＊	本製品で使用できないカートリッジが使用されています。 本製品用のカートリッジを使用してください
カートリッジを確認してください No.＊＊＊＊	● インクカートリッジの場合 インクカートリッジを正しく認識できませんでした。インクカートリッジを挿入し直してください。復帰しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。 ● 大容量パックアダプターの場合 スマートチップカードのみ交換してインクパックを交換し忘れている可能性があります。スマートチップカードとインクパックはセットで交換してください。

正しい色か確認してください No. ＊＊＊＊	インクカートリッジが、間違ったインクカートリッジスロットに取り付けられています。 正しいインクカートリッジスロットに取り付けてください。
S/C カード認識エラー No. ＊＊＊＊	☞「スマートチップリカバリー」P.241
ピンチローラー位置確認（R）：メディアエッジ ピンチローラー位置確認（L）：メディアエッジ	ピンチローラーが適切な位置にセットされていません。 • メディアに対して、ピンチローラーを適切な位置にセットしてください。 ☞「3. 本製品にメディアをセットする」P.54
ピンチローラー位置確認（R）：グリットローラー突起部 ピンチローラー位置確認（L）：グリットローラー突起部	ピンチローラーが適切な位置にセットされていません。 • メディアとピンチローラーがグリットローラー突起部分の上部にあるようにセットしてください。 ☞「3. 本製品にメディアをセットする」P.54 • 本製品で使用できないサイズのメディアの場合、ピンチローラーを正しい位置にセットできません。メディアサイズを確認してください。 ☞「使用できるメディアの条件」P.40
ピンチローラー位置エラー（R）：メディアエッジ ピンチローラー位置エラー（L）：メディアエッジ	ピンチローラーの位置が正しくありません。（動作を停止します） • ピンチローラーのゴム部分がメディアからはみ出していないことを確認してください。ピンチローラーとグリットローラーの突起部分が接触した状態でメディアフィードを行うと、ピンチローラーが破損する可能性があります。 ☞「3. 本製品にメディアをセットする」P.54
メディア認識エラー	メディア認識に失敗しました。（動作を停止します） メディアをセットし直してください。
メディア斜行エラー	メディアが斜行しました。（動作を停止します） メディアをセットし直してください。
ロール紙エンド	メディアがなくなりました。（動作を停止します） 新しいメディアをセットしてください。 ☞「メディアをセットする」P.52

ロール紙エンド (作画停止)	メディアがなくなりました。(動作を停止します) 新しいメディアをセットしてください。 ☞「メディアをセットする」P.52
クロップマーク読み取りエラー (メディアセットエラー)	クロップマークのセット位置がずれていると正常に読み取ることができない場合があります。 カッティングマット上に、手前側2つのマークの底辺が水平にのるようにセットしてください。 ☞「Step2. カット」P.149
クロップマーク読み取りエラー (メディア傾きエラー)	クロップマークが5度以上傾いていると正常に読み取ることができない場合があります。適切にセットしてください。 ☞「Step2. カット」P.149
クロップマーク読み取りエラー (マーク＊読み取りエラー)	エラー対象のマークが汚れていたり、かすれていないか確認してください。エラー対象のマーク番号 (＊) は、クロップマークの検出順番に対応します。  ☞「マークの検出順番」P.141
メディアなし	待機中。(メディアはセットされていません。)
インク未充填	インクが充てんされていません。 初期充てんを実行してインクを充てんしてください。
CR モータ寿命	CR モーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
PF モータ寿命	PF モーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

ポンプ寿命	ポンプモーターの寿命が近づいています。(動作を継続します。) お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
プラグを交換してください No. ＊＊＊＊	大容量パックアダプターを一定回数使用しました。 プラグを交換してください。
巻き取り装置が有効のため、輪郭カットはできません	輪郭カットを行う場合は、巻き取り装置からメディアを取り外し、排紙モードを「巻き取り」以外に設定して使用してください。
メディア固定ハンドルのロックを解除し、メディアも取り外してください	メディア固定ハンドルのロックを解除してください。メディアをセットしている場合は、メディアも必ず取り外してください。 本製品を使用しないときは、メディア固定ハンドルのロックを解除しておいてください。 ☞「メディア固定ハンドル」P.20

スマートチップリカバリー

MSM に以下のメッセージが表示された場合、インクカートリッジのスマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

以下のメッセージが表示された場合、正しいインクカートリッジが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行することで正常に印刷できるようになります。

スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、操作を行ってください。

表示	内容
S/C カード認識エラー　No. : ****	スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。 対象のインクカートリッジを挿し直してください。 それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジを挿入してください。 • インクカートリッジを挿し直して、新たに「正しい色か確認してください　No. : ****」が表示された場合は、「正しい色か確認してください　No. : ****」の内容に従って操作してください。
正しい色か確認してください　No. : ****	スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。 正しいインクカートリッジが挿入されているか、ご確認ください。 • 間違ったインクカートリッジが挿入されている場合、正しいインクカートリッジを挿入し直してください。 • 正しいインクカートリッジが挿入されている場合、Enter キーを押してください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続します。 • MSM の「ステータス解除」からもスマートチップリカバリーを実行できます。 ☞ **MUTOH Satus Monitor 取扱説明書**

Note

スマートチップリカバリー実行中は、MSM の S/C 情報において、対象のカートリッジ No. が黄色く表示されます。

トラブルシューティング

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

Note

- プリンターの状態やエラー情報は MSM のステータス情報から確認できます。
  プリンターが正常に動かない場合は、MSM をご確認ください。
- MSM は最新のバージョンをお使いください。
  MSM のヘルプのバージョン情報で、お使いの MSM より新しいバージョンがあるかを確認できます。
  最新バージョンがある場合は、MUTOH Club からダウンロードしてください。
  ☞ スタートアップガイド「ソフトウェアのダウンロード」

設置・導入時のトラブル

症状	要因と対策
インクの初期充てんができない	**フロントカバーが開いていませんか？** • フロントカバーを閉じてください。
	メディア固定ハンドルのロックが解除されていませんか？ • メディア固定ハンドルをロックしてください。
	インクカートリッジは奥まで確実に差し込まれていますか？ • インクカートリッジを奥まで確実に差し込んでください。 ☞「インクの交換」P.172
初期充てんしてもインクが出ない	**インクカートリッジは冷えていませんか？** • 最低でも常温で 3 時間以上放置した後、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ☞「ヘッドクリーニング」P.180
	初期充てん中に電源をオフしませんでしたか？ • 再度電源をオンにし、初期充てんをやりなおしてください。

症状	要因と対策
初期充てん後にノズルの目詰まりが発生する	クリーニングを行ってみましたか？ • クリーニングを行ってから、印刷結果を確認してください。 ☞「ヘッドクリーニング」P.180 • クリーニングを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。 • それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。 ☞「お問い合わせ先」P.264
MSM や RIP からプリンターに接続できない	イーサネットケーブルはきちんと接続していますか？ • イーサネットケーブルをきちんと接続してください。
	ネットワーク設定は正しく設定されていますか？ • ネットワーク設定を正しく設定してください。
	プリンターのネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせていますか？ • 製品のネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせてください。 ☞「コンピューターとの接続」P.24 、「IP アドレスの変更方法」P.29

動作に関するトラブル

症状	要因と対策
電源投入後まったく動かない / メディアをセットしても動かない	**電源コードはつながっていますか?** • 電源コードをつないでください。
	AC 電源は規定の電圧になっていますか? • 他のコンセントに接続してください。
	フロントカバーが開いていませんか? • フロントカバーを閉じてください。
	メディア固定ハンドルのロックが解除されていませんか? • メディア固定ハンドルをロックしてください。
	メディアを正しくセットしていますか? • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアをセットする」P.52
	インクカートリッジは挿入されていますか? • インクカートリッジを挿入してください。
	プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか? • プリンターの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。 ☞**スタートアップガイド「設置場所の確認」**
	MSM にエラーが表示されていませんか? • MSM のステータス情報を確認してください。 ☞「メッセージ／エラー／ワーニングを確認する」P.233
電源をオフにできない	**メディア固定ハンドルがロックされていませんか?** • メディア固定ハンドルのロックを解除してください。
	MSM にエラーが表示されていませんか? • MSM のステータス情報を確認してください。 ☞「メッセージ／エラー／ワーニングを確認する」P.233

メディアに関するトラブル

症状	要因と対策
メディアイニシャル中にメディアが外れる、破れる、シワになる	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアをセットする」P.52
	加圧アームにメディアの切れ端等の異物が付着していませんか？ • 加圧アームを清掃してください。 ☞「内部の清掃」P.202
	プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？ • プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。 ☞**スタートアップガイド「設置前の確認」**
	メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？ • メディアの両端にエッジホルダーをセットしてください。 • 吸着ファンの設定を確認してください。
	折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアを使用していませんか？ • メディアを交換してください。
メディア詰まりが頻発する	**プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？** • プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。 ☞**スタートアップガイド「設置前の確認」**
	メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？ • メディアの両端にエッジホルダーをセットしてください。 • 吸着ファンの設定を確認してください。
	折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用していませんか？ • メディアを交換してください。

症状	要因と対策
メディアイニシャルでメディアを正しく認識できない	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアをセットする」P.52
	メディアを斜めにセットしていませんか？ • メディアを真っ直ぐにセットしてください。 ☞「メディアをセットする」P.52
	プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？ • プリンターの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。 ☞**スタートアップガイド「設置前の確認」**
	一度印刷したメディアを再度使用していませんか？ • 新品のメディアを使用してください。
	メディアの特性（反射性や黒色など）によって、メディアを読み取るセンサーがメディアを認識できないことがあります。そのような場合は、以下の対処法をお試しください。 1. センサーを調整する（調整に失敗した、調整してもうまくいかない場合は次に進んでください）。 ☞「リア・エッジセンサー調整」P.113 2.「エンド検出」を [オフ] にする。 ☞「エンド検出」P.116

Note

詰まったり、破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」P.255 に従って取り除いてください。

症状	要因と対策
印刷中にメディアが斜行する	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアをセットする」P.52

症状	要因と対策
クロップマークの読み取りができない	**クロップマークのセット位置がずれていませんか？** • カッティングマット上に、手前側 2 つのマークの底辺が水平にのるようにセットしてください。 ☞「Step2. カット」P.149
	メディアが斜めにセットされていませんか？ • プリントとカットを個別に行う場合、クロップマークが 5 度以上傾いていると、正常に読み取ることができない場合があります。適切にセットしてください。 ☞「Step2. カット」P.149
	読み取りが可能なクロップマークですか？ • カラーセンサーが検知できない条件があります。確認してください。 ☞「Step2. カット」P.149 **の Important !** • エラー対象のクロップマークが汚れていたり、かすれたりしていないか確認してください。エラー対象のマーク番号は、クロップマークの検出順番に対応します。 ☞「マークの検出順番」P.141
	カラーセンサーが汚れていませんか？ • カラーセンサーを清掃してください。 ☞「カラーセンサーの清掃」P.197

印刷に関するトラブル

症状	要因と対策
データを送っても印刷されない	**イーサネットケーブルはきちんと接続していますか？** • イーサネットケーブルをきちんと接続してください。 ☞「コンピューターとの接続」P.24
	MSM にエラーが表示されていませんか？ • MSM のステータス情報を確認してください。
印刷中、キャリッジが右端または左端で一時的に停止する	**お使いのコンピューターのスペックは以下の通りですか？** • OS：Windows 11、Windows 10 • CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上 • メモリ：16GB 以上 • ネットワーク：イーサネットに対応したネットワークポート **Note** • 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。 • RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。
部分的に印刷が汚れたり、抜けたりする	**メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？** • メディアの両端にメディアストッパーをセットしてください。 • 吸着ファンの設定を確認してください。 ☞「メディアをセットする」P.52 、「吸着ファンの設定」P.100
	メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？ • 新しいメディアに交換してください。
	プリントヘッド外周が汚れていませんか？ • プリントヘッド外周を清掃してください。 ☞「プリントヘッド外周の清掃」P.190

症状	要因と対策
印刷はするが、描く位置がおかしい / 描けないところがある	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアをセットする」P.52
印刷した線がにじむ	**メディアの印刷面に印刷していますか？** • メディアの印刷面を確認して正しくセットしてください。
	画質調整を行ってみましたか？ • 画質調整を行ってください。 ☞「画質調整（調整印刷）」P.64
	メディア送り補正を行ってみましたか？ • メディア送り補正を行ってください。 ☞「メディア送り補正」P.72
印刷に白スジや黒スジが出る	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞「メディアをセットする」P.52
	メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？ • 新しいメディアに交換してください。
	ノズルの状態は良好ですか？ • ノズルチェックを行ってください。 • ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.58
	画質調整を行ってみましたか？ • 画質調整を行ってください。 ☞「画質調整（調整印刷）」P.64
	メディア送り補正を行ってみましたか？ • メディア送り補正を行ってください。 ☞「メディア送り補正」P.72

症状	要因と対策
印刷線がつながらない / 二重になる、印刷結果がかすれる	**ノズルの状態は良好ですか?** • ノズルチェックを行ってください。 • ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.58
	画質調整を行ってみましたか? • 画質調整を行ってください。 ☞「画質調整（調整印刷）」P.64
	メディア送り補正を行ってみましたか? • メディア送り補正を行ってください。 ☞「メディア送り補正」P.72
	インクは有効期限内ですか? • 有効期限内のインクを使用してください。
印刷結果の色がおかしい	**ノズルの状態は良好ですか?** • ノズルチェックを行ってください。 • ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.58
	大容量パックアダプターをご使用の場合に、正しい組み合わせでインクパックとスマートチップカードが取り付けてありますか? • インクパックとスマートチップカードの組み合わせを確認してください。 • 組み合わせが間違っている場合、インク排出を行ったあとで、初期充てんを行ってください。
	インクは有効期限内ですか? • 有効期限内のインクを使用してください。
印刷後のインクが乾きづらい	**ヒーターを使用していますか?** • ヒーターの設定を確認してください。 ☞「ヒーターの設定」P.102

Note

- インクを多く使う印刷を行う場合、印刷後のインクが乾きづらくなるおそれがあります。
- お使いのメディアによっては、インクが乾きづらい場合があります。

症状	要因と対策
クリーニングを行っても、ノズルの目詰まりが解消しない	**クリーニングワイパーやプリントヘッド外周が汚れていませんか？** • クリーニングワイパー、プリントヘッド外周の清掃を行ってください。 ☞「クリーニングワイパーの清掃」P.193 、「プリントヘッド外周の清掃」P.190
	クリーニングの設定は適切ですか？ ☞「ヘッドクリーニング」P.180 • クリーニングモード選択：通常クリーニングまたは強力クリーニングを 2 ～ 3 回行ってもノズルの目詰まりが解消しない場合は、微量充てんを行ってください。 • ノズル選択：微量充てんを行ってもノズルの目詰まりが解消しない場合は、ノズル選択で目詰まりがないノズルだけを選択して使用してください。 ☞ MUTOH Status Monitor 取扱説明書
	クリーニングワイパーやフラッシングボックス用吸収材の交換時期ではありませんか？ • クリーニングワイパーとフラッシングボックス用吸収材の状態を確認してください。 • 交換条件に該当している場合は、交換してください。 ☞「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.205 、「クリーニングワイパーの交換」P.218

カッティングに関するトラブル

症状	要因と対策
カッティングができない	**カッターホルダーにカッター刃は取り付いていますか？** • カッター刃を取り付けてください。 ☞「カッター刃をカッターホルダーにセットする」P.119
	カッターホルダーからカッター刃の先端が出ていますか？ • 刃先突出し量を調整してください。 ☞「刃先突き出し量の調整」P.121
	カット圧は適切ですか？ • カット圧が低すぎると、正常にカッティングできない場合があります。カット圧を調整してください。 ☞「カットテスト」P.126
カッティングが安定しない	**印刷直後にカッティングを行っていませんか？** • メディアが高温状態だと、カッティングが安定しない場合があります。下記を設定してください。 ☞「クールダウン設定」P.104
	カッターホルダーがプリンターに適切にとりつけられていますか？ • カッターホルダーにガタつきがないか確認してください。 ☞「カッターホルダーをプリンターにセットする」P.123
	メディア種類を変更していませんか？ • メディア種類を変更した場合は、刃先突出し量を調整してください。 ☞「刃先突き出し量の調整」P.121
	刃先突出し量は適切ですか？ • 刃先突出し量を調整してください。 ☞「刃先突き出し量の調整」P.121
	カット圧は適切ですか？ • カットテストでカット圧を調整してください。 ☞「カットテスト」P.126
	カット速度は適切ですか？ • メディアの種類によっては、カット速度を下げた方がカッティングが安定する場合があります。カット速度を変更してみてください。 ☞「カットテスト」P.126

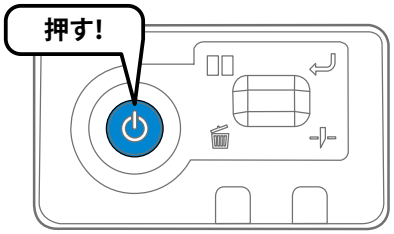
症状	要因と対策
（前ページからの続き） カッティングが安定しない	**オフセット量は適切ですか？** • オフセット量を調整してください。 ☞「カットテスト」P.126
	カッター刃が摩耗もしくは破損していませんか？ • 摩耗の場合は、カット圧を最初に設定した値から 50gf 程度上げると改善する場合があります。目視で先端が破損している場合は、カッター刃の交換してください。 ☞「刃先突き出し量の調整」P.121 、「カットテスト」P.126 、「輪郭カット用カッター刃の交換」P.216
	カッターホルダーに紙粉や切りくずなどが付着してませんか？ • カッターホルダを清掃してください。掃除をしてもすぐに大量の紙粉などが付着する場合は、カッターホルダーの交換してください。 ☞「カッターホルダーの清掃」P.199 、「カッターホルダーの交換」P.217
	カッティングマットの表面が削れている、もしくは破損していませんか？ • カッティングマットの交換してください。 ☞「カッティングマットの交換」P.214
最初に調整したが、徐々にカッティングが安定しなくなる	**カッター刃が摩耗もしくは破損していませんか？** • 摩耗の場合は、カット圧を最初に設定した値から 50gf 程度上げると改善する場合があります。目視で先端が破損している場合は、カッター刃の交換してください。 ☞「刃先突き出し量の調整」P.121 、「カットテスト」P.126 、「輪郭カット用カッター刃の交換」P.216
	カッターホルダーに紙粉や切りくずなどが付着してませんか？ • カッターホルダの清掃を行ってください。掃除をしてもすぐに大量の紙粉などが付着する場合は、カッターホルダーの交換してください。 ☞「カッターホルダーの清掃」P.199 、「カッターホルダーの交換」P.217

症状	要因と対策
カッティング位置が合わない	**メディアが斜めにセットされていませんか？** • プリントとカットを個別に行う場合、クロップマークが 5 度以上傾いていると、正常に読み取ることができない場合があります。適切にセットしてください。 ☞「Step2. カット」P.149
	クロップマークが汚れていませんか？ • プリントとカットを個別に行う場合、クロップマークが汚れていると、正常に読み取ることができない場合があります。 ☞「Step2. カット」P.149
	白色以外のメディアを使用していませんか？ • プリントとカットを個別に行う場合、白色以外のメディアだと、クロップマークを正常に読み取ることができない場合があります。 ☞「Step2. カット」P.149
	メディアをグリットローラーの突起部以外の場所で押さえていませんか？ • グリットローラーの突起部とピンチローラーの位置を確認してください。 ☞「3. 本製品にメディアをセットする」P.54
	輪郭カット位置の調整は適切ですか？ • 輪郭カット位置を調整してください。 ☞「輪郭カット位置の調整」P.134
	カラーセンサーの下面は汚れていませんか？ • カラーセンサーを清掃してください。 ☞「カラーセンサーの清掃」P.197
	出力の長さが長すぎませんか？ • 出力データが長すぎると、カッティング位置がずれやすくなります。長さが 1 m を超える場合は、セグメントカットを選択すると精度が向上します。 ☞「セグメントカット」P.140
カッティングマットに深い傷がつく	刃先突出し量を減らしてください。 ☞「刃先突き出し量の調整」P.121

メディアが詰まった場合

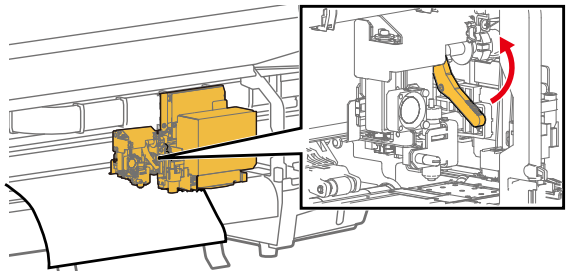
1 本製品の電源ボタンをオフします。

- 青色のランプが消灯します。
- 本製品が電源オフ動作を開始します。

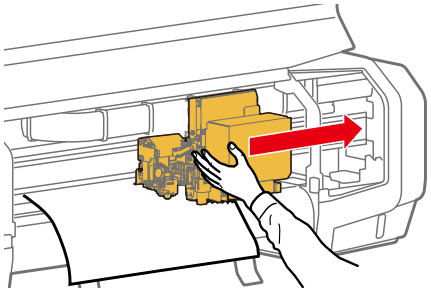


2 フロントカバーを開きます。

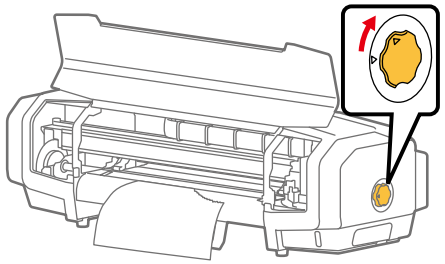
3 レバーを上げて、プリントヘッドの高さを高くします。



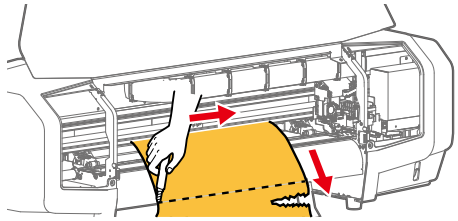
4 キャリッジをメディア上から右へ移動します。



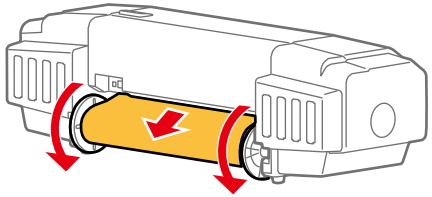
5 メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。



6 メディアを引き出して、破れた部分をカッターでカットします。



7 スクローラーの両端を持って、メディアを手で巻き戻します。



8 本製品の内部にちぎれたメディアや異物が残っている場合は、取り除きます。

付録

本製品の仕様 258

オプション・サプライ品リスト 260

改訂履歴 263

お問い合わせ先 264

本製品の仕様

項目		説明
機種名		XPJ-C641SR-P
印刷方式		オンデマンドピエゾ方式
駆動方式		ファームウェアサーボ / DC モータ駆動
給紙方式		水平搬送、ロール紙、本製品後方からのセット、給紙操作で前方排紙、外巻き限定
メディア固定		メディア固定ハンドルによる加圧ローラダウン方式
使用できるメディア	ロール紙外径	150 mm 以下
	紙管径	2 インチまたは 3 インチ
	ロール紙重量	9 kg 以下
	幅 *1	• 198 ～ 228mm • 283 ～ 313mm • 344 ～ 374mm • 394 ～ 424mm • 444 ～ 474mm • 494 ～ 524mm • 602 ～ 630*2mm *1 カットメディア、ロール紙共通 *2 最大幅（ロール紙の場合、紙管>メディア幅なら紙管幅 ）
	最大用紙厚さ	ヘッド高さ「Low」設定時：最大 0.4 mm （通紙可能最大厚さ：0.8 mm）
印刷 / カッティング 幅		最大 590 mm（印刷のみ、最大 620mm *3） *3 VerteLith で [レイアウト] ー [余白] を最小値（5mm）に設定した場合。
メディアカット方式		オートカットまたはマニュアルカット
ヒーター		メディアガイド下に設置、オフ /30℃～ 45℃
ヘッド高さ調整		「低い」/「高い」の 2 段階
CPU		64bit RISC CPU
メモリ		256MB
インターフェース		Ethernet (10BASE-T / 100BAST-TX)

項目		説明
インク	色	4 色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）
	種類	220 ml カートリッジ / 1,000 ml インクパック（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）
廃液タンク		本体固定式、容量 1,400 ml、ユーザーによる廃液排出
環境条件	動作環境	温度：20℃～ 32℃、湿度：40% ～ 60%（結露なきこと）
	印刷精度保証範囲	温度：22℃～ 30℃、湿度：40% ～ 60%（結露なきこと）
	変化率	温度：1 時間あたり 2℃以内 湿度：1 時間あたり 5% 以内（結露なきこと）
	保存環境	インク未充てん保存：6 ヶ月以内 温度：-20℃～ 60℃、湿度：20% ～ 80%（結露なきこと） インク充てん保存：1 週間以内 * *32 ℃以上の場合、4 日間以内 温度：-10℃ ～ 40℃、湿度：20% ～ 80%（結露なきこと）
電源	電圧	AC 100V ～ 120V ± 10% または 200V ～ 240V ± 10%
	周波数	50Hz / 60Hz ± 1Hz
	容量	6.5 A 以上
	電圧切り替え	115V / 230V セレクタースイッチによる手動切り替え 出荷時の設定は 230V
消費電力	電源オフ	AC100V ～ 120V、1 W 以下 AC200V ～ 240V、1.1 W 以下
	オペレーション	215W (ピーク 800W 以下）
消費電流	100V ～ 120V	6.5 A 以下
	200V ～ 240V	3.5 A 以下
外形寸法	高さ	366 mm（専用スタンド装着時：1,166 mm）
	幅	1,190 mm
	奥行き	438 mm（専用スタンド装着時：590 mm）
質量	本体	34 kg
	脚部	8.7 kg（VJ628-STD）、10.2kg（IJ-STDX-01）

オプション・サプライ品リスト

インク

型番	名称	販売単位
VJ-MS31-BK220U	インクカートリッジ K（ブラック：220ml）	1 箱（1個入り）
VJ-MS31-CY220U	インクカートリッジ C（シアン：220ml）	1 箱（1個入り）
VJ-MS31-MA220U	インクカートリッジ M（マゼンタ：220ml）	1 箱（1個入り）
VJ-MS31-YE220U	インクカートリッジ Y（イエロー：220ml）	1 箱（1個入り）
VJ-MS31-BK1000U	インクバッグ K（ブラック：1,000ml）	1 箱（1個入り）
VJ-MS31-CY1000U	インクバッグ C（シアン：1,000ml）	1 箱（1個入り）
VJ-MS31-MA1000U	インクバッグ M（マゼンタ：1,000ml）	1 箱（1個入り）
VJ-MS31-YE1000U	インクバッグ Y（イエロー：1,000ml）	1 箱（1個入り）
VJ-MS31-CL220U	洗浄カートリッジ（220ml）	1 箱（1個入り）

Important !!

インクは純正品を使用してください。本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能をフルに発揮できるよう製造されています。非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響が出る場合があります。
異なる種類のインクへの入れ替えには対応しておりません。

サプライ品

型式	名称	販売単位	備考
RH2 クリーンスティック	クリーンスティック	1 箱 (100 本入り)	—
POLYNITW2	ポリニットワイパー	1 箱 (300 枚入り)	—
VJ-CB	VJ用カッター替え刃	1 箱 (1 個入り)	メディア裁断用
VJ-MF-3G610*30	マーキングフィルム	1 箱 (1 個入り、幅 610mm × 30m)	—
IJ-WIP-02	交換用ワイパーセット	1 箱 (2 個入り)	—
VJ-1608-FB-SO20	フラッシングボックス吸収材	1 箱 (20 個入り)	—
VJ-HCIPAR	VJ用アダプタープラグ	1 箱 (20 個入り)	—
IJ-RLCLNK-01	レールクリーナーキット	1 箱 (1 個入り)	—
DROPPER 6PACK SET	スポイト 6 パックセット	1 箱 (6 個入り)	—
IJ-CHD-01	P&C 用カッターホルダ	1 箱 (1 個入り)	—
IJ-CBL-01	P&C 用カッター替え刃 _55 度	1 箱 (1 個入り)	輪郭カット用
IJ-CMAT-01	P&C 用カッターマット	1 箱 (2 本入り)	
ULVA1-ML500U	メンテナンス液	1 箱 (1 本入り)	

オプション品

型番	名称	販売単位
IJ-STDX-01	スタンド X	1 箱（1 個入り）
VJ628-STD	専用スタンド	1 箱（1 個入り）
VJ-HCIPADPT	大容量インクパックアダプター	1 箱（4 個入り）
IJ-SCRHT-01	スクローラー（ハイトルク）	1 箱（1 個入り）
VJ06-TUP10	10kg 対応巻取り装置＊	1 箱（1 個入り）
IJ-CEAJ-01	C641SR 用刃先調整治具	1 箱（1 個入り）
VJ-AC15SJ	電源ケーブル（日本国内安全規格対応品）	1 箱（1 個入り）

＊ 10kg 対応巻き取り装置を使用するメディアへのカッティングには対応していません。

Note

詳細については、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

☞「お問い合わせ先」P.264

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	対応ファームウェア
2024.10	00	XPJC641SRPJ-A-00	V 1.00
2025.1	01	XPJC641SRPJ-A-01	V 1.03
2025.2	02	XPJC641SRPJ-A-02	V 1.04
2025.4	03	XPJC641SRPJ-A-03	V 1.05
2025.6	04	XPJC641SRPJ-A-04	V 1.05
2025.7	05	XPJC641SRPJ-A-05	V 1.06
2025.9	06	XPJC641SRPJ-A-06	V 1.06 以降

お問い合わせ先

本製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL: 0120-174911

FAX: 0120-184711

E-mail: gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00